

教育なよろ

平成29年度



ウインタースポーツコンソーシアム事業ローラースキー競技会
(10月14～16日) 名寄市
駅前商店街特設会場(16日開催)での競技より

名寄市教育委員会



市章

名寄市の英頭文字「N」をモチーフに、合併する風連町と名寄市の住民が、溢れる自然の恵みに天を仰ぎ感謝し、北の都をみんなで力を合わせ創り上げ発展していく様子を表現しています
(平成18年3月27日制定)

名寄市民憲

私たちは、秀峰ピヤシリを望み、天塩川の恵みに育まれた美しい緑と樹氷きらめくまち、名寄の市民です。厳しい風雪に耐え抜いた開拓者精神を受けつぎ、郷土を愛する心を大切にしながら明るく、生き生きとした名寄市の発展に努めます。

じぶん ほこ せきにな
自分のまちに誇りと責任をもち、

はな あ
みんなで話し合いながら、
す
住みよいまちをつくります。

けんこう たいせつ
からだところの健康を大切にし、

たが あたた おも
互いに温かい思いやりをもって、
あんしん く
安心して暮らせるまちをつくります。

ゆた しぜん まも そだ
豊かな自然を守り育て、

しぜん ちょうわ く かんきょう
自然と調和した暮らしの環境をととのえ、
かいてき
快適でうるおいのあるまちをつくります。

たの はたら そうぞうりよく はつき
楽しく働き、創造力を発揮し、

ゆた く ほこ
豊かな暮らしを誇れる
かつりよく み
活力に満ちたまちをつくります。

ちせい かんせい
知性と感性をみがき、

ゆた ひと かお たか ぶんか はぐく
こころ豊かな人と薫り高い文化を育み、
きぼう かがや
希望に輝くまちをつくります。

(平成19年2月26日制定)

【名寄市のシンボル】(平成18年7月25日制定)

市の木

「シラカバ」



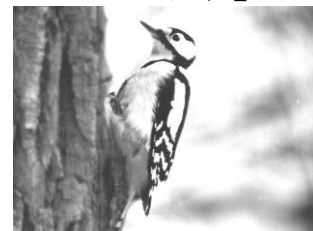
市の花

「オオバナノエンレイソウ」



市の鳥

「アカゲラ」



目次

名寄市の概況	
I 教育行財政	
1 名寄市教育目標	1
2 教育委員会	2
3 名寄市の教育財政	5
II 学校教育	
1 平成 29 年度名寄市学校教育推進計画	8
2 市内小中学校の概要	16
3 幼稚園教育	18
4 学校給食センター	19
5 名寄市立大学・名寄市立大学短期大学部	22
6 就学の助成	28
7 各種助成制度	31
8 名寄市教育研究所	32
9 その他学校一覧	35
III 社会教育	
1 平成 29 年度名寄市社会教育推進の重点	36
2 生涯学習課・名寄市公民館の事業計画	38
3 風連生涯学習担当・ 名寄市風連公民館の事業計画	45
4 名寄市智恵文公民館の事業計画	49
5 スポーツ振興事業計画	51
6 市内体育施設	57
7 名寄市児童センター	61
8 名寄市青少年センター	65
9 名寄市教育相談センター	66
10 名寄市北国博物館	67
11 市立名寄図書館	71
12 なよろ市立天文台	73
IV 資料	
1 審議会・委員会	75
2 旧名寄市教育の沿革	79
3 旧風連町教育の沿革	86
4 名寄市教育の沿革	90

名寄市の概況

1 位置・地勢

名寄市は、北・北海道の長流天塩川が形成する名寄盆地のほぼ中央に位置し、東は雄武町と下川町、西は幌加内町、南は士別市、北は美深町と接しています。その市域は、東西に約30km、南北に35kmの四角形に近い形となっており、535.20km²の行政面積を有しています。

道路は南北に国道40号、東側に国道239号が通り、また鉄道は南北に宗谷本線が走っており、古くから交通の要衝として幅広い生活圏域を形成した本市は、道北圏の中心都市として発展してきました。

気候は、日本海気象の影響を受ける内陸部に属していることから寒暖の差が激しく、夏冬の温度差は60℃にも及びます。夏季は昼夜の温度差が大きく、冬季は寒気が厳しく降雪量も多い気象条件を有しています。



2 沿革

風連地域は、明治32年、旧村名「多寄町」の名称のもとに剣淵村外3カ村戸長役場の管轄に入ったことにはじまり、風連村を経て昭和28年の町制施行で風連町になりました。

名寄地域は、明治33年、山形県東田川郡東栄村（藤島町を経て鶴岡市）の有志により曙地区に開拓の鋤が下ろされて以来、上名寄村、名寄町を経て、昭和29年に旧智恵文村と合併後、昭和31年に北海道内21番目の市として市制を施行しています。

こうした中で、古くから地理的・人的つながりの深かった両市町は、人的・財政的基盤を強化する必要の高まりを背景に、平成18年3月27日に新設合併して「名寄市」が誕生しました。

3 人口と世帯数

平成29年5月末日現在 人口 28,071人 世帯数 14,349世帯

1 名寄市教育目標

天塩川にはぐくまれた実りある大地に生きる私たち名寄市民は 郷土の歴史と文化を継承し 国際化の時代をしなやかにたくましく生き ともに支え合
い うるおいと生きがいのある社会の実現をめざしてこの目標を定めます

- 1 北国の風土に生き たくましく成長する人をはぐくみます
- 2 自ら学び 創造的に生きる人をはぐくみます
- 3 ふれあいを大切にし 心豊かな人をはぐくみます
- 4 勤労と責任を尊び よりよい社会を築く人をはぐくみます
- 5 新しい時代を切り拓き 郷土の発展に尽くす人をはぐくみます

(制定 平成19年4月1日)

2 教 育 委 員 会

1 教育委員



委員長 梅野 博



委員長職務代理者 松田 潤子



委員 高橋 雅樹



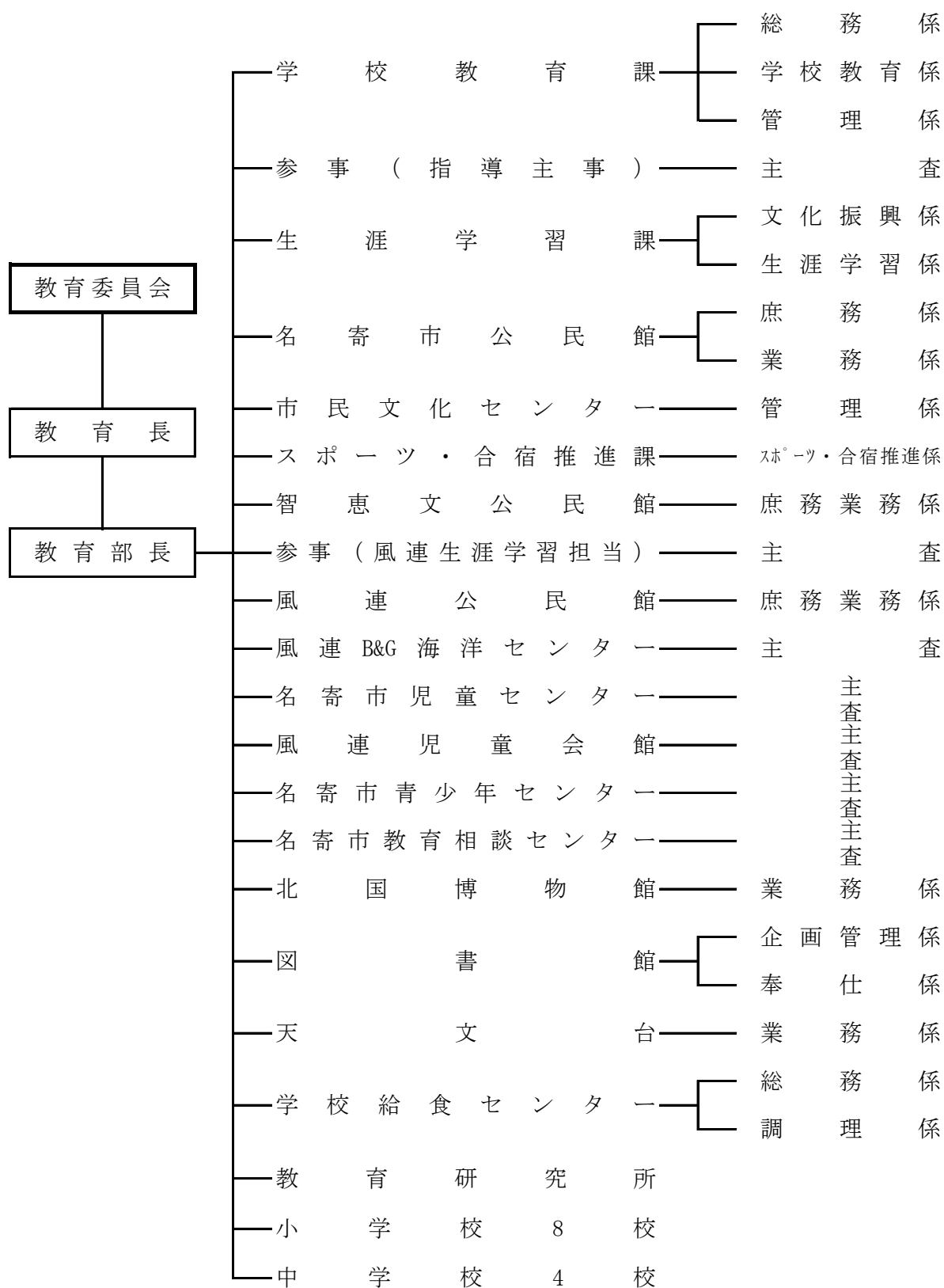
委員 中枝 範子



教育長 小野 浩一

	氏 名	委員就任年月日	住 所
委員長	梅 野 博	平成12年10月1日	名 寄 市 西 1 条 北 1 丁 目
委 員	松 田 潤 子	平成20年5月16日	名 寄 市 風 連 町 字 中 央 553 番 地 1
委 員	高 橋 雅 樹	平成25年4月1日	名 寄 市 西 1 条 南 3 丁 目
委 員	中 枝 範 子	平成29年5月16日	名 寄 市 西 3 条 南 6 丁 目
教育長	小 野 浩 一	平成23年7月1日	名 寄 市 西 10 条 南 10 丁 目 53 番 地 48

2 行政組織



3 名寄市教育委員会職員数

	教 育 部 長	台 課 長・ 館 長・ 参 事・ 所 長 事・	社 教 主 事	係 長 ・ 主 査	主 任	事 務 職 員	特 別 参 与	栄 養 士	教 育 職 員	外 国 語 指 導 助 手	嘱 託 臨 時	計
	1											1
学 校 教 育 課		1		3	1	4				2	49	60
参事（指導主事）		1		1								2
生 涯 学 習 課		1		3		4					3	11
名 寄 市 公 民 館		(1)		(4)		(5)						(10)
市民文化センター		(1)		(2)		(2)						(5)
スポーツ・合宿推進課		1		2(2)			1				1	5(2)
智 恵 文 公 民 館		(1)		(1)							1	1(2)
参事（生涯学習担当）		1		1							4	6
風 連 公 民 館		(1)		(1)							(4)	(6)
風連B&G海洋センター		(1)		(1)							5	5(2)
児 童 セ ン タ ー		1		1							25	27
風 連 児 童 会 館		(1)		(1)							6	6(2)
青 少 年 セ ン タ ー		(1)		(1)							1	1(2)
教育相談センター		(1)		(1)							3	3(2)
北 国 博 物 館		1		(1)	1	1					6	9(1)
図 書 館		1		2							15	18
天 文 台		1		1		1					2	5
学校給食センター		1		1(1)				道(2)			32	34(3)
教 育 研 究 所									(223)			(223)
計	1	10(8)		15(16)	2	10(7)	1	道(2)	(223)	2	153(4)	194(260)

※（ ）＝併任・兼務者数

3 名寄市の教育財政（平成29年度）

1 一般会計予算

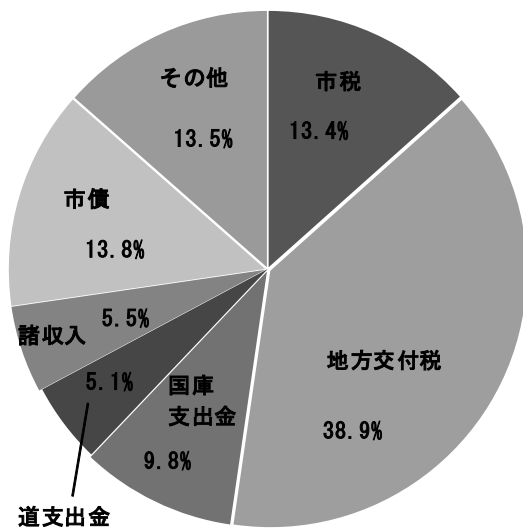
【歳入】 (単位：千円)

区 分	当初予算額	構成比
市 税	2,974,029	13.4%
地 方 交 付 税	8,605,000	38.9%
国 庫 支 出 金	2,177,819	9.8%
道 支 出 金	1,120,764	5.1%
諸 収 入	1,224,749	5.5%
市 債	3,051,700	13.8%
そ の 他	2,995,300	13.5%
計	22,149,361	100.0%

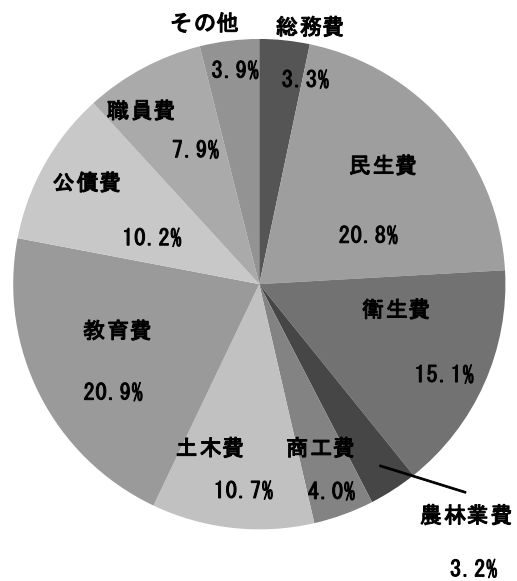
【歳出】 (単位：千円)

区 分	当初予算額	構成比
総 務 費	738,592	3.3%
民 生 費	4,601,627	20.8%
衛 生 費	3,347,817	15.1%
農 林 業 費	698,270	3.2%
商 工 費	888,779	4.0%
土 木 費	2,376,934	10.7%
教 育 費	4,620,774	20.9%
公 債 費	2,246,390	10.2%
職 員 費	1,763,953	7.9%
そ の 他	866,225	3.9%
計	22,149,361	100.0%

※歳入グラフ



※歳出グラフ



2 教育費の内訳

【歳入】

(単位：千円)

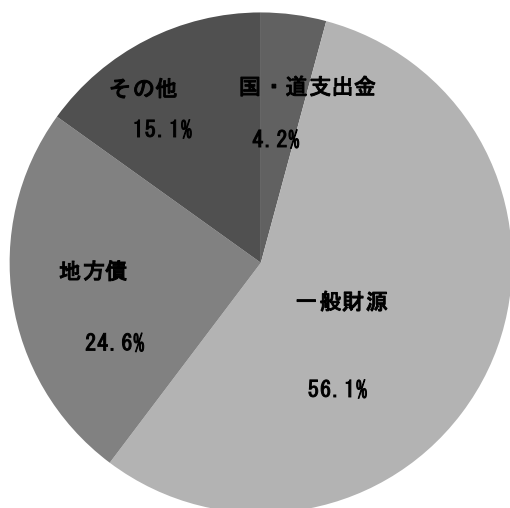
区 分	当初予算額	構成比
国・道支出金	194,254	4.2%
一 般 財 源	2,592,467	56.1%
地 方 債	1,137,200	24.6%
そ の 他	696,853	15.1%
計	4,620,774	100.0%

【歳出】

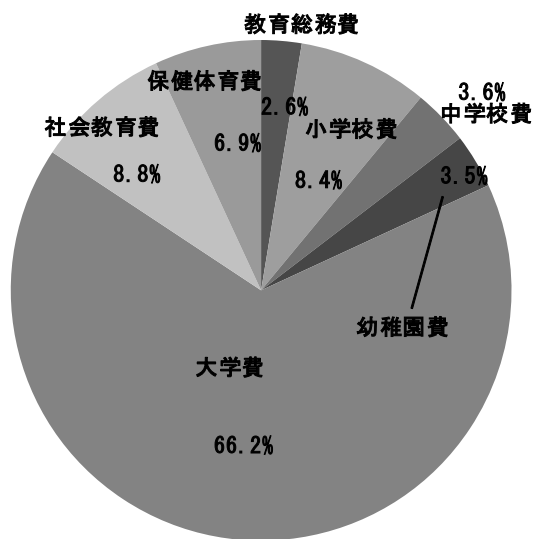
(単位：千円)

区 分	当初予算額	構成比
教 育 総 務 費	119,291	2.6%
小 学 校 費	388,326	8.4%
中 学 校 費	165,091	3.6%
幼 稚 園 費	163,939	3.5%
大 学 費	3,059,319	66.2%
社 会 教 育 費	404,334	8.8%
保 健 体 育 費	320,474	6.9%
計	4,620,774	100.0%

※歳入グラフ



※歳出グラフ



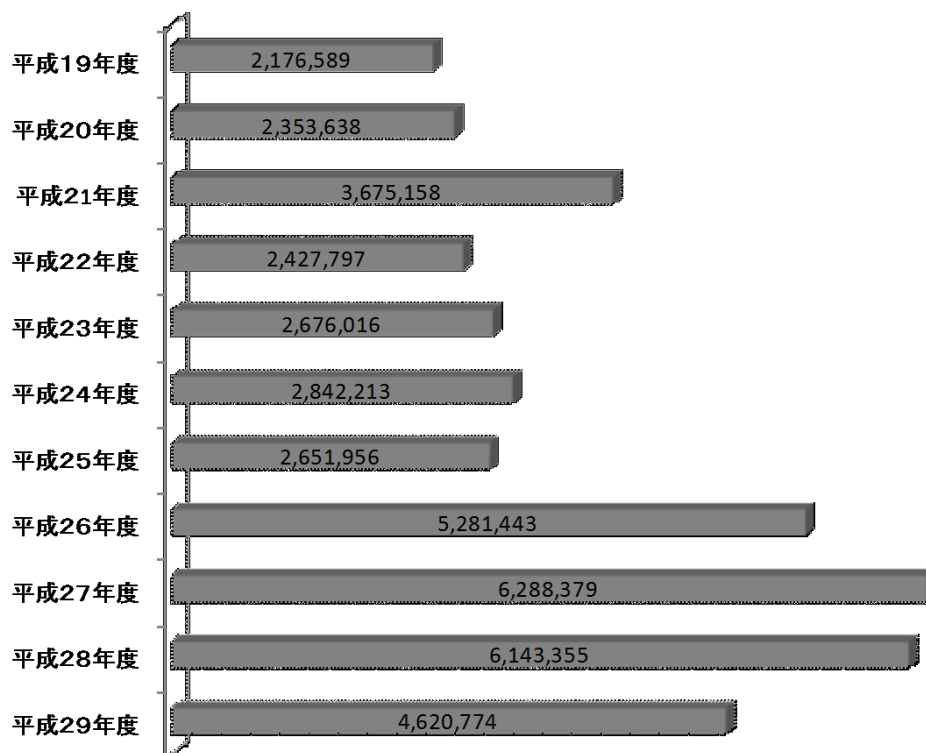
3 教育費予算

(単位：千円)

科 目	(a) 平成 29 年度	(b) 平成 28 年度	(c) 比較増減	(d) 対前年比
	当初予算額	当初予算額	(a)-(b)	(c) ÷ (b) × 100
教 育 費	4,620,774	6,143,355	△ 1,522,581	△ 24.8
教育総務費	119,291	111,700	7,591	6.8
小学校費	388,326	795,376	△ 407,050	△ 51.2
中学校費	165,091	161,867	3,224	2.0
幼稚園費	163,939	231,194	△ 67,255	△ 29.1
大学費	3,059,319	4,082,759	△ 1,023,440	△ 25.1
社会教育費	404,334	408,699	△ 4,365	△ 1.1
保健体育費	320,474	351,760	△ 31,286	△ 8.9

4 教育費の推移（大学費以外の職員費を除く）

(単位：千円)



名寄市教育目標

天塩川にはぐくまれた実りある大地に生きる私たち名寄市民は郷土の歴史と文化を継承し 国際の時代をしなやかにたくましく生き、ともに支え合い うるおいと生きがいのある社会の実現をめざしてこの目標を定めます。

- 1 北国の風土に生き たくましく成長する人をはぐくみます
- 2 自ら学び 創造的に生きる人をはぐくみます
- 3 ふれあいを大切にし 心豊かな人をはぐくみます
- 4 勤労と責任を尊び よりよい社会を築く人をはぐくみます
- 5 新しい時代を切り拓き 郷土の発展に尽くす人をはぐくみます

平成19年4月1日 制定

平成29年度名寄市学校教育推進計画

【基本理念】

生命に畏敬の念をもち、他人を思いやる心豊かな児童生徒の育成を期するとともに、自主・自律の精神をもち、しなやかにたくましく生きぬくことのできる人間の育成に努める。

【学校経営の方針】

1 学校の自主性・自律性の確立

- (1) 学校の自主性・自律性を発揮し、時代の要請に応える創意に富む学校経営の充実に努める。
- (2) 本市の自然環境や人材などの教育資源を生かしながら、特色のある多様な教育活動を展開し、児童生徒が意欲的に学校生活に取り組むことができる、特色ある学校づくりの推進に努める。

2 確かな学力を育てる教育の推進

- (1) 基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力を育成する言語活動の充実に努める。
- (2) 豊かなコミュニケーション能力を育てるために相手の考えや意見を正しく理解し、自らの考えや意見を適切に伝える教育活動の充実に努める。

3 豊かな心を育てる教育の推進

- (1) 基本的な倫理観を身に付けさせるとともに、本市が有する自然環境や歴史、伝統、文化などの特性を生かしながら、自らの生き方を支える人間尊重の精神や生命への畏敬、思いやりの心や美しいものに感動する心など豊かな心を育成する道徳教育の

充実に努める。

- (2) 社会性や豊かな人間性を育み、社会の一員としての自覚を促すため、学校と地域社会との連携の下で、自然環境など本市が有する優れた教育資源を生かした多様な体験活動やボランティア活動等の充実に努める。

4 健やかな体を育てる教育の推進

- (1) 生涯にわたって運動等に親しむ資質や能力を育成するため、学校と家庭、地域社会が連携を深めながら、運動する機会の拡充に努める。
- (2) 日常生活において自己の健康の保持増進を図るために必要な実践力を身に付け、生涯を通じて健康で生き生きとした生活を送ることができるよう、学校と家庭、地域社会が相互に連携を深めながら、健康教育の推進に努める。

5 学校評価・学校職員評価の工夫

- (1) 年度の重点教育目標の達成状況等について評価する自己評価の実施とその公表や保護者・地域住民等による学校関係者評価の充実に努める。
- (2) 学校評価を効果的に生かすことで今日的な教育課題を的確に受け止め、その課題解決を図り、活力ある学校経営の充実に努める。
- (3) 教職員の特質や経験を生かす校務分掌を組織し、学校職員評価を機能させながら教育目標を効果的に達成する学校経営の推進に努める。

6 危機管理体制の確立

- (1) 生命の尊さを自覚し、校内外の事故や交通事故から自らを守る能力や態度を身に付けさせる安全指導の充実に努めるとともに、家庭や地域社会と一体となった事故の未然防止体制の確立に努める。
- (2) 教職員の危機管理意識を高めるとともに組織体制の確立と機能の充実に努め、危機管理マニュアルや安全マップの充実に努め、登下校時の通学路における児童生徒の安全確保などに努める。
- (3) 校内研修等において服務規律ハンドブック等を活用し、教職員の服務規律の保持の徹底に努める。

7 開かれた学校づくりの推進

- (1) 学校の教育活動その他の学校運営の状況について保護者等に積極的に情報提供する取組の充実に努める。
- (2) 学校評議員制度の充実に努めるなど、学校と家庭、地域社会との連携をより深め、期待と信頼に応える開かれた学校づくりの推進に努める。

8 学校間の連携・接続の推進

- (1) 「小・中連携チェックリスト」等を活用するなどして、幼稚園、保育所、小・中学校間、高等学校との滑らかな接続に配慮した教育計画を作成し、実施に努める。

【学校教育活動の重点】

1 教育課程

- (1) 新学習指導要領の内容を視野にいれながら、知・徳・体の調和のとれた児童生徒の育成を目指し、地域や学校の実態及び児童生徒の心身の発達段階や特性を十分考慮して、適切な教育課程を編成、実施し、不断の評価、改善に努める。
- (2) 創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開する中で、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力を育むとともに、主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を生かす教育の充実に努める。
- (3) 教育課程全体のバランスを図りながら、地域や学校及び児童生徒の実態等を考慮し、学習指導要領に基づいて各教科等の教育活動を適切に実施するための授業時数を具体的に定め、指導に必要な時間の実質的な確保に努める。
- (4) 学校がその目的を達成するため、地域や学校の実態等に応じ、家庭や地域の人々の協力を得るなど家庭や地域社会との連携を深めることに努める。また、学校相互の連携や交流を図るとともに、障害のある幼児児童生徒との交流及び共同学習や高齢者などとの交流の機会の設定に努める。

2 学習指導

- (1) 授業を効率的に進め、児童生徒の自ら学ぶ態度を養うよう、全小中学校で一貫して取り組む学習規律や学校として必要な学習規律の徹底に努める。
- (2) 国語科における指導はもとより、その他の教科等においても、児童生徒による発表や討議、ノート記述、レポート作成などの言語活動を適切に位置付け、豊かな言語能力を育成する指導の充実に努める。
- (3) 児童生徒が日常生活における言語の役割や機能などについて意識や関心をもって正しい国語を用いるよう指導することが必要であり、また、教師自身が児童生徒より一層言語に対する意識と関心をもって指導に当たるとともに、学校生活全体における言語環境の整備に努める。
- (4) 体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習を重視するとともに、児童生徒の興味・関心を生かし、自主的、自発的な学習の促進に努める。
- (5) 自主的に学ぶ態度を育てるために、児童生徒が学習の見通しを立てたり学習したことを振り返ったりする活動を計画的に取り入れた指導の充実に努める。
- (6) 児童生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、学校や児童生徒の実態に応じ、個別指導やグループ別指導、繰り返し指導、学習内容の習熟の程度に応じた指導、児童生徒の興味・関心等に応じた課題学習、補充的な学習や発展的な学習などの学習活動を取り入れた指導、教師間の協力的な指導など指導方法や指導体制を工夫改善し、個に応じた指導の充実に努める。
- (7) 児童生徒のよい点や進歩の状況などを積極的に評価するとともに、指導の過程や成果を評価し、指導の改善を行い学習意欲の向上に生かす評価の工夫に努める。
- (8) 家庭との連携を図りながら、授業の内容と関連付けた宿題を与え、予習－授業－復習のサイクルに基づく学習習慣の確立や学習内容の定着を図る指導の充実に努める。
- (9) 海外から帰国した児童生徒については、学校生活への適応に配慮するとともに、外国における生活経験を生かすなどの適切な指導に努める。

- (10) 児童生徒にコンピュータ等の操作の仕方や情報モラルを身に付けさせ、情報手段を効果的に活用できるようにするための学習活動の充実に努める。
- (11) 図書館を計画的に利用しその機能の活用を図り、児童生徒の主体的、意欲的な学習活動や読書活動の充実に努める。
- (12) 外国語を通じて、言語や文化について体験的に理解を深めたり、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる指導の充実に努める。

3 道徳教育

- (1) 校長や教頭などの参加、他の教師との協力的な指導などについて工夫し、道徳教育推進教師を中心とした指導体制の充実に努める。
- (2) 道徳科が学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育の要としての役割を果たすことができるよう、計画的・発展的な指導に努める。
- (3) 児童生徒自ら道徳性を養う中で、自らを振り返って成長を実感したり、これからの課題や目標を見付けたりすることができるような工夫に努める。
- (4) 児童生徒が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができるよう、自分の考えを基に話し合ったり書いたりするなどの言語活動の充実に努める。
- (5) 児童生徒の発達段階や特性等を考慮し、指導のねらいに即して、問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的な学習等を適切に取り入れるなど、指導方法の工夫に努める。
- (6) 児童生徒の発達段階や特性等を考慮し、情報モラルに関する指導の充実に努める。
- (7) 道徳科の授業を公開したり、授業の実施や地域教材の開発や活用などに家庭や地域の人々、各分野の専門家等の積極的な参加や協力を得たりするなど、家庭や地域社会との共通理解を深め、相互の連携に努める。
- (8) 児童生徒の学習状況や道徳性に係る成長の様子を継続的に把握し、指導に生かすよう努める。

4 特別活動

- (1) 各教科、道徳、外国語活動及び総合的な学習の時間などの指導との関連を図るとともに、家庭や地域の人々との連携、市民文化センターE N-R A Yホール等の社会教育施設の活用などを工夫した全体計画や年間指導計画を作成、実施し、不断の評価、改善に努める。
- (2) 学校や児童生徒の実態に即して指導のねらいを明確にした題材を設定し、諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度や健全な生活態度を育てる学級活動の充実に努める。
- (3) 自発的、自治的な活動を促す児童会・生徒会活動、クラブ活動や部活動、その他の教科外活動において児童生徒自らが意欲的に参加する効果的な指導体制の確立に努める。
- (4) 全校または学年を単位として、学校生活に秩序と変化を与え、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養う学校行事の工夫に努める。

5 総合的な学習の時間

- (1) 学校における全教育活動との関連の下に、目標及び内容、育てようとする資質や能力及び態度、学習活動、指導方法や指導体制、学習の評価計画などを示した全体計画及び年間指導計画を作成、実施し、不断の評価、改善に努める。

- (2) 各教科、道徳、外国語活動及び特別活動で身に付けた知識や技能等を相互に関連付け、学習に生かすとともに、「課題の設定」「情報の収集」「整理・分析」「まとめ・表現」の探究的な学習過程を確立し、それが発展的に繰り返される学習活動の工夫に努める。
- (3) 互いの発見の共通点と相違点を考えたり、異なる視点から意見を交換したりするなど、他者と協同して課題を解決しようとする学習活動の展開に努める。
- (4) 学校図書館の活用、他の学校との連携、各地区の公民館、市立図書館、市立天文台、北国博物館等の社会教育施設や社会教育関係団体等との連携、地域の教材や学習環境の積極的な活用などの工夫に努める。

6 生徒指導

- (1) 児童生徒の自己実現を図るため、学習指導を含む日常の学校生活において、児童生徒の発達段階に応じた自己選択や自己決定の場や機会を設定し、自己指導能力を育成する取組の充実に努める。
- (2) 児童生徒理解のねらいを明確にし、資料収集や研修などを通して多面的・総合的な理解に努めるとともに、児童生徒の悩みや困難の解決を援助する教育相談の充実に努める。
- (3) いじめや不登校、薬物乱用、ネット上のいじめや出会い系サイト等による福祉犯被害などの未然防止を図り、早期発見・早期指導を行うため、校内の協力体制を確立するとともに、家庭や地域社会、生徒指導連絡協議会や教育相談センター、名寄市立大学等の関係機関との連携強化に努める。
- (4) 学校いじめ防止基本方針に基づき、校長の強力なリーダーシップの下、教職員の一致協力体制を確立し、名寄市教育委員会と適切な連携を図りながら、「名寄市小中学校いじめ防止サミット」など児童生徒が主体的に取り組むいじめ防止等のための対策を総合的かつ効果的に推進する。
- (5) 日ごろから学級経営の充実に努め、教師と児童生徒の信頼関係及び児童生徒相互の好ましい人間関係を育てるとともに生徒理解を深め、生徒指導の充実に努める。

7 へき地・複式教育

- (1) 小規模校の特性を生かし、地域社会と一体となった特色ある教育活動の推進を図る指導計画を作成、実施し、不断の評価、改善に努める。
- (2) 地域の自然や文化などの教育資源を活用し、体験的・問題解決的な活動を取り入れた指導の工夫に努める。
- (3) 児童生徒に学び方を身に付けさせ、主体的な学習を促す「直接指導」や「間接指導」の充実に努める。
- (4) 児童生徒の社会性や創造性の伸長を図るため、集合学習や交流学习等の促進に努める。また、集合学習や交流学习等の計画、実施を通して、授業実践交流や研修の共同化に努める。

8 キャリア教育

- (1) 各学校において定めるキャリア教育の目標や内容、育成すべき能力や態度、各教科等との関連、指導方法や指導体制、評価の観点などを示した全体計画及び年間指導計画を作成、実施し、不断の評価、改善に努める。
- (2) 社会見学や職場体験活動等を効果的に実施し、児童生徒の望ましい勤労観や職業観を育てる指導の充実に努める。
- (3) 児童生徒が自分のよさに気づき、将来の夢や目標の実現に向かって学び続けるこ

とができるよう、教育相談や進路指導等の充実に努める。

9 健康・安全教育

- (1) 生涯スポーツの観点に立ち、スキー、カーリングなど地域の教育資源を生かした活動や縄跳びなど各学校の特色を生かした体力づくりの「1校1実践」の取組等の充実に努める。
- (2) 全国体力・運動能力、生活習慣等調査の結果を踏まえ、児童生徒一人一人の運動経験や技能の程度などに応じた指導や児童生徒自らが体力・運動能力の課題の解決に取り組む活動の工夫に努める。
- (3) 学校における適切な環境衛生を保持するとともに、疾病や感染症予防などに対する意識を高め、児童生徒の健康の保持増進を図る指導の充実に努める。
- (4) 児童生徒の発達段階に応じた指導内容を明確にし、性や大麻等の薬物乱用防止など健康に関する指導の徹底に努める。
- (5) 家庭と連携して「早寝・早起き・朝ご飯」運動の実施や給食指導等を通して正しい食生活の習慣化を図るなど食育の充実に努める。
- (6) 食物アレルギーを有する児童生徒が安全に学校給食を楽しむことができるよう、児童生徒の実態等を踏まえた適切な対応に努める。
- (7) 児童の口の健康と虫歯予防のため、全小学校でフッ化物洗口の適切な実施に努める。
- (8) 学校・家庭・地域が連携した防犯教室や避難訓練の実施など、事件や事故、非常災害時に児童生徒が自ら安全に行動できる力を育てる指導の充実に努める。

10 特別支援教育

- (1) 教育支援委員会の効果的な運営を推進するとともに関係機関と緊密な連携を図り、就学指導及び中学校における進路指導の充実に努める。
- (2) 児童生徒一人一人の教育的ニーズに適切に対応するため、校内における全校的な支援体制を確立し、特別支援教育コーディネーターを中心とした教育支援委員会の機能の充実に努める。
- (3) LDやADHD、高機能自閉症など困り感のある児童生徒への教育支援の充実に向け、特別支援学校や特別支援教育専門家チーム等による教育相談を活用しつつ家庭や医療・福祉等の関係機関と連携して、個に応じた指導目標や内容、指導方法、指導体制の工夫に努める。

11 国際理解教育

- (1) 姉妹都市や近隣諸国との国際交流の促進、ALTやネイティブ・スピーカーの活用を図るなどして、国際理解と豊かな地域文化の創造を促す教育活動の推進に努める。

12 研修活動

- (1) 今日的な教育課題の解決に向けて、名寄市教育研究所の研究班活動や教育改善プロジェクト委員会の取組等との連携を図り、小中学校が一体となった研修の推進に努める。
- (2) 学校の教育課題の解決に向けて、教職員一人一人の参画意識を高め、専門性・創造性を発揮させる校内研修の推進に努める。
- (3) 教職員の専門性や指導力を高めるため、各種研修会への参加など教職経験に応じた研修の充実に努める。

13 通学区域の弾力化

- (1) 小規模校における通学区域外の就学制度(バリアフリースクール)を設け、豊かな自然環境に恵まれた本市の校外小規模においては、児童生徒の豊かな心とたくましい体を育成するため、基幹産業を活用した特色ある学習活動の工夫に努める。

中名寄小学校：各学年 8名以内(通常に通学区域内通学者を含む)

智恵文小学校：各学年10名以内(")

智恵文中学校：各学年20名以内(")

風連下多寄小：各学年 8名以内(")

14 教育関係機関等との連携

- (1) 名寄市教育委員会及び教育関係機関と緊密に連携し、情報を共有することにより学校の諸課題の解決を図るとともに、効果的な運営の推進に努める。
- (2) 少年団活動、学校支援地域本部事業、部活動など課外の諸活動・事業の効果的な取組に向けて、関係機関・団体との連携に努める。

平成29年度名寄市学校教育推進計画全体構造図

【市民憲章】

- ・自分のまちに誇りと責任をもち、みんなで話し合いながら、住みよいまちをつくります。
- ・からだところの健康を大切に、互いに温かい思いやりをもって、安心して暮らせるまちをつくります。
- ・豊かな自然を守り育て、自然と調和した暮らしの環境をととのえ、快適でうるおいのあるまちをつくります。
- ・楽しく働き、創造力を発揮し、豊かな暮らしを誇れる活力に満ちたまちをつくります。
- ・知性と感性をみがき、こころ豊かな人と薫り高い文化を育み、希望に輝くまちをつくります。

【基本理念】

生命に畏敬の念をもち、他人を思いやる心豊かな児童生徒の育成を期するとともに、自主・自律の精神をもち、しなやかにたくましく生きぬくことのできる人間の育成に努める。

- 【学校経営の方針】**
- | | |
|------------------|------------------|
| 1 学校の自主性・自律性の確立 | 5 学校評価・学校職員評価の工夫 |
| 2 確かな学力を育てる教育の推進 | 6 危機管理体制の確立 |
| 3 豊かな心を育てる教育の推進 | 7 開かれた学校づくり |
| 4 健やかな体を育てる教育の推進 | 8 学校間の連携・接続の推進 |

- 【名寄市教育目標】**
- 1 北国の風土に生き たくましく成長する人をはぐくみます
 - 2 自ら学び 創造的に生きる人をはぐくみます
 - 3 ふれあいを大切にし 心豊かな人をはぐくみます
 - 4 勤労と責任を尊び よりよい社会を築く人をはぐくみます
 - 5 新しい時代を切り拓き 郷土の発展に尽くす人をはぐくみます

【学校教育活動の重点】

教育課程	学習指導	道徳教育	特別活動	総合的な学習の時間	生徒指導	へき地・複式教育	キャリア教育	健康・安全教育	特別支援教育	国際理解教育	研修活動	通学区域の弾力化
<input type="checkbox"/> 新学習指導要領の内容を視野に入れた適切な編成、実施、不断の評価、改善 <input type="checkbox"/> 基礎的・基本的な知識・技能を習得させる指導の充実 <input type="checkbox"/> 思考力、判断力、表現力等を育成する指導の充実 <input type="checkbox"/> 授業時数の実質的な確保 <input type="checkbox"/> 幼、小、中、高、大など相互の連携や交流	<input type="checkbox"/> 学習規律の徹底 <input type="checkbox"/> 言語活動の充実、言語環境の整備 <input type="checkbox"/> 自主的、自発的な学習の促進 <input type="checkbox"/> 個に応じた指導の充実 <input type="checkbox"/> 学習意欲の向上に生かす評価の工夫 <input type="checkbox"/> 学習習慣の確立を図る指導の充実 <input type="checkbox"/> 海外から帰国した児童生徒への適切な指導の充実 <input type="checkbox"/> 情報教育の充実	<input type="checkbox"/> 道徳教育推進教師を中心とした指導体制の充実 <input type="checkbox"/> 道徳科を要とした計画的・発展的な指導の充実 <input type="checkbox"/> 自らを振り返って成長を実感したり、これからの課題や目標を見付けたりする指導の工夫 <input type="checkbox"/> 自分の考えを基に話し合ったり書いたりするなどの言語活動の充実 <input type="checkbox"/> 問題解決的な学習など指導方法の工夫 <input type="checkbox"/> 情報モラルに関する指導の充実 <input type="checkbox"/> 道徳科の授業公開、地域教材の開発や活用など、家庭や地域社会との共通理解と相互の連携の推進 <input type="checkbox"/> 指導に生かす評価の工夫	<input type="checkbox"/> 各教科等との関連や市民文化センターEN-RAYホール等の活用を工夫した全体計画等の作成、実施、不断の評価、改善 <input type="checkbox"/> 探究的な学習過程の確立 <input type="checkbox"/> 他者と協同して課題を解決する学習活動の展開 <input type="checkbox"/> 市立天文台や北国博物館等の施設や地域の学習環境等の積極的な活用	<input type="checkbox"/> 目標や内容を育成する資質や能力等を示した全体計画等の作成、実施、不断の評価、改善 <input type="checkbox"/> 探究的な学習過程の確立 <input type="checkbox"/> 他者と協同して課題を解決する学習活動の展開 <input type="checkbox"/> 市立天文台や北国博物館等の施設や地域の学習環境等の積極的な活用	<input type="checkbox"/> 自己指導能力を育成する取組の充実 <input type="checkbox"/> 望ましい人格を形成する教育相談の充実 <input type="checkbox"/> 問題行動の未然防止・早期指導 <input type="checkbox"/> 生徒指導連絡協議会や教育相談センター等の関係機関との連携 <input type="checkbox"/> 学校いじめ防止基本方針に基づくいじめ防止等の対策の推進 <input type="checkbox"/> 教師と児童生徒との信頼関係を深める生徒指導の充実	<input type="checkbox"/> 地域社会と一体となった特色ある教育活動の推進 <input type="checkbox"/> 体験的・問題解決的な活動を取り入れた指導の工夫 <input type="checkbox"/> 学び方を身に付けさせる直接指導や間接指導の充実 <input type="checkbox"/> 集合学習や交流学習等の促進、授業実践交流や研修の共同化	<input type="checkbox"/> 目標や内容を育成する資質や能力等を示した全体計画等の作成、実施、不断の評価、改善 <input type="checkbox"/> 社会見学や職場体験活動等の効果的な実施、望ましい勤労観や職業観を育てる指導の充実 <input type="checkbox"/> 将来の夢や目標の実現に向かって学び続ける態度を育てる進路指導等の充実	<input type="checkbox"/> 地域や各学校の特色を生かした体づくりの「1校1実践」等の充実 <input type="checkbox"/> 個の運動経験や技能に応じた指導の充実 <input type="checkbox"/> 性や薬物乱用防止など健康に関する指導の徹底 <input type="checkbox"/> 「早寝・早起き・朝ご飯」運動など食育の充実 <input type="checkbox"/> 食物アレルギーを有する児童生徒への適切な対応 <input type="checkbox"/> 自ら安全に行動できる力を育てる指導の充実	<input type="checkbox"/> 教育支援委員会の効果的な運営、就学指導、進路指導の充実 <input type="checkbox"/> 特別支援教育コーディネーターを中心とした教育支援委員会の機能の充実 <input type="checkbox"/> 特別支援学校や特別支援教育専門家チーム等による教育相談の活用	<input type="checkbox"/> 国際交流の促進 <input type="checkbox"/> ALTなどの効果的な活用	<input type="checkbox"/> 名寄市教育研究所の班研究活動や教育改善プロジェクト委員会の取組との連携 <input type="checkbox"/> 学校の教育課題の解決を図る校内研修の推進 <input type="checkbox"/> 教職経験に応じた研修の充実	<input type="checkbox"/> 郊外小規模校における通学区域外就学制度の設定 <input type="checkbox"/> 基幹産業を活用した特色ある学習活動の工夫

教育関係機関等との連携

2 市内小中学校の概要

1 市内小学校一覧

(平成29年5月1日現在) ※ 教員数等には休職者を含む

学校名	校長名	所在地	電話・FAX番号	児童数		学級数	教員数	養護	栄養	事務
				特学	普通					
名寄小学校	池田 卓平	西1条南1丁目2番地	01654-3-3304 01654-3-3305	11	212	4 8	5 18	1	1	2
名寄南小学校	三浦 礼子	西6条南12丁目55番地2	01654-2-4164 01654-2-4165	8	458	5 15	6 27	1		1
名寄東小学校	福田 孝夫	東3条南3丁目11番地	01654-2-2041 01654-2-4179	15	121	5 6	7 12	1		1
名寄西小学校	堀江 充	西7条南1丁目18番地	01654-2-4177 01654-2-4178	10	264	4 12	5 20	1		1
中名寄小学校	伊端 俊紀	字日彰285番地	01654-2-3889 01654-9-5640		19		6	1		1
智恵文小学校	川崎 直人	字智恵文12線南3番地	01654-8-2241 01654-9-3550	2	28	2 3	2 6		1	1
風連下多寄小学校	村上比呂人	風連町字瑞生1558番地	01655-3-3932 01655-3-3940	1	7	1 2	1 3		0	0
風連中央小学校	赤澤 静恵	風連町西町201番地	01655-3-2031 01655-3-2569	7	138	4 6	5 11		1	1
計 小学校 8校				54	1,247	25	31		7	2
				特学						
				普通		55	103			8

2 市内中学校一覧

(平成29年5月1日現在) ※ 教員数等には休職者を含む

学校名	校長名	所在地	電話・FAX番号	生徒数		学級数	教員数	養護	事務	
				特学	普通					
名寄中学校	江口 貴彦	字豊栄101番地1	01654-2-2147 01654-2-2148	15	293	5 9	6 18	1	1	
名寄東中学校	那須 隆哉	西2条北8丁目1番地3	01654-2-3174 01654-2-3175	12	249	5 8	6 17	1	1	
智恵文中学校	向山 浩	字智恵文11線北2番地	01654-9-3010 01654-9-3011	8	13	2 3	4 10	1	1	
風連中学校	土肥 哲哉	風連町新生町167番地1	01655-3-2026 01655-3-2266	9	76	3 3	4 10	1	1	
計 中学校 4校				44	631	15	20		4	4
				特学						
				普通		23	55			

※小・中学校とも電話・FAX番号欄は上段が電話番号、下段がFAX番号

3 小中学校児童生徒数の推移

(1) 小学校

年次	区分	学校数	1年	2年	3年	4年	5年	6年	児童数
平成27年度	風連地区	3	23	22	38	23	24	23	153
	名寄地区	7	210	201	220	179	197	205	1,212
	計	10	233	223	258	202	221	228	1,365
平成28年度	風連地区	2	29	22	21	36	22	24	154
	名寄地区	6	198	205	192	220	176	194	1,185
	計	8	227	227	213	256	198	218	1,339
平成29年度	風連地区	2	23	27	22	22	37	22	153
	名寄地区	6	187	187	204	191	206	173	1,148
	計	8	210	214	226	213	243	195	1,301

(2) 中学校

年次	区分	学校数	1年	2年	3年	生徒数
平成27年度	風連地区	1	36	30	27	93
	名寄地区	3	218	206	190	614
	計	4	254	236	217	707
平成28年度	風連地区	1	23	34	29	86
	名寄地区	3	192	210	202	604
	計	4	215	244	231	690
平成29年度	風連地区	1	25	23	37	85
	名寄地区	3	189	191	210	590
	計	4	214	214	247	675

4 中学校卒業生の進路状況

年次	区分	卒業生数	進学者		就職者		その他	
			人数	率(%)	人数	率(%)	人数	率(%)
平成27年 3月	風連地区	33	33	100.0				
	名寄地区	165	165	100.0				
	計	198	198	100.0				
平成28年 3月	風連地区	27	27	100.0				
	名寄地区	190	188	99.0	1	0.5	1	0.5
	計	217	215	99.0	1	0.5	1	0.5
平成29年 3月	風連地区	29	29	100.0				
	名寄地区	201	201	100.0				
	計	230	230	100.0				

3 幼稚園教育

本市には、認定こども園が2園、私立幼稚園が3園あり、それぞれの園において認定こども園教育・保育要領又は幼稚園教育要領に基づき教育課程を編成し、特色ある教育活動を行っています。これまでの私立幼稚園振興補助並びに幼稚園就園奨励費補助による助成・支援を行っていた制度から、全ての園が平成27年度施行の子ども・子育て支援法に基づく施設型給付費による施設運営に移行しています。

また、小学校との日常的な連携を密にし、小学校教育への円滑な接続・移行が図られるよう努めます。

1 名寄市内の認定こども園・幼稚園

(平成29年5月1日現在)

幼稚園名	住 所	電 話	代表者	設立年月日	就園状況			合 計
					3歳児	4歳児	5歳児	
学校法人 山崎学園 光名幼稚園	西2条南10丁目 1番地	01654- 2-4741	園長 山崎 博信	S33. 6. 10	20	28	22	70
学校法人 北海道キリスト教学園 認定こども園名寄幼稚園	東1条南2丁目 1番地	01654- 3-0280	園長 中川 貞恵	S25. 9. 1	33	49	38	120
学校法人 名寄大谷学園 名寄大谷認定こども園	西5条南2丁目 10番地	01654- 2-2668	園長 白井 慶子	S33. 5. 6	31	38	35	104
学校法人 旭川カトリック学園 名寄カトリック幼稚園	西3条南4丁目 17番地	01654- 2-2632	園長 長尾 俊宏	S25. 9. 13	27	32	35	94
学校法人 風連学園 風連幼稚園	風連町西町284 番地	01655- 3-2133	園長 加藤 紀子	S29. 5. 10	12	14	19	45

2 子ども・子育て支援運営事業

- ・施設型給付費負担（認定こども園・幼稚園が保護者の代理で給付を受け、サービスを提供）

※ 平成22年度より幼稚園教育振興事業の担当窓口は、こども未来課に変更になっています。

4 学校給食センター

1 施設の概要等

- ・名称 名寄市学校給食センター
TEL 01654-2-4307 (FAX 2-4308)
- ・位置 〒096-0035
北海道名寄市西5条北10丁目54番地6
- ・開設年月 平成3年12月改築 (平成4年1月供給開始)
- ・改修工事 平成18年12月 (風連町合併に伴う改修工事)
- ・敷地面積 3,257.75㎡
- ・建物面積 997.163㎡ (建築基準法1,104.789㎡)
- ・構造 鉄筋コンクリート造一部2階建
- ・排水処理施設 80㎡ (回転円板方式)



2 名寄市学校給食センターの概要

名寄の学校給食は、戦後混乱期の昭和22年(1947年)に名寄小学校で始まりました。

この給食は、父母が食材を持ち寄って行われたボランティアによるものであったと記録に残ってこの給食は、父母が食材を持ち寄って行われたボランティアによるものであったと記録に残っております。

本格的に学校給食が開始したのは昭和41年(1966年)になってからであり、現名寄小学校の敷地に学校給食センターが開設され各小中学校に給食が提供されるようになりました。

当時は児童生徒数も多く、1日約6,300食を供給しておりました。

その後、このセンターは26年間使用いたしましたが、施設の老朽化に伴い、平成4年1月より最新設備の整った現在の学校給食センターに移転し、現在に至っております。

3 名寄市の学校給食の沿革

昭和22年	名寄小学校で学校給食開始
昭和23年	名寄南小学校で学校給食開始
昭和40年9月	センター建設着工（名寄市西1条南1丁目）
昭和40年12月	センター完成（鉄筋ブロック造一部2階建・470.55㎡）
昭和41年4月	センター方式で全小中学校へ学校給食開始（6,254食）
昭和45年8月	食缶・食器の配送を廃止し、パック方式に
昭和49年6月	使い捨て容器を廃止し、回収食器に
昭和52年9月	米飯給食開始
昭和61年6月	パック方式を廃止し、食缶方式に
昭和63年1月	もち給食開始
昭和63年4月	赤飯給食開始
平成3年5月	現センター建設着工
平成3年12月	現センター完成
平成4年1月	供給開始
平成5年4月	アレルギー給食開始
平成6年5月	会食型高齢者給食開始（随時）
平成7年7月	宅配型高齢者給食開始（毎週 金曜日）
平成9年5月	サテライト型デイサービス給食開始（毎週 月・水・金曜日）
平成15年2月	国体給食
平成18年12月	風連町・名寄市合併に伴う改修工事
平成19年2月	学校給食センターの部分的民営化に向けて検討
平成19年4月	風連町・名寄市合併に伴う学校給食センターの統合
平成19年4月	会食型・宅配型高齢給食の民営化
平成20年4月	風連町・名寄市合併に伴う学校給食会の統合
平成20年4月	栄養教諭制度の導入 2名配置（名寄小学校1名 風連中央小学校1名）
平成23年3月	HACCP評価取得

4 学校給食センターの状況

- 平成29年度事業計画

小中学校 全校2,199名 (児童生徒1,976名+教員223名)	小学校8校 1,301名+教員141名 中学校 4校 675名+教員82名	282,600食/年 148,400食/年
幼稚園、保育所（僻地）、試食等		25,000食/年
年間稼働日数（207日）		456,000食/年
1日当たり平均食数		2,214食/日

- 平成29年度学校給食センター稼働日 207日

1学期	4月6日～7月27日	77日間
2学期	8月22日～12月22日	84日間
3学期	1月17日～3月23日	46日間
合 計		207日間

・給食費

		一食単価	H 27 年 度 改 正
小 学 校	低学年（1・2年生）	250円	
	中学年（3・4年生）	252円	
	高学年（5・6年生）	254円	
中 学 校		297円	

・給食の内容

米 飯	週3.5回
パ ン	週0.5回（2週間に1回）
麺 類	週 1回

・職員構成

(36名)

(平成29年4月1日現在)

市職員			道職員	嘱託職員	臨時職員		
所長	総務係長	調理師	栄養教諭	配送・ボイラー	栄養士	調理職員	調理パート
1	1	0	2	6	2	2	22

・特色

- ① 平成5年4月より、食物アレルギーを持つ児童・生徒が健康な生活を営めるよう、家庭の食事療法に協力するという立場でアレルギー給食を実施しています。
 - ・アレルギー給食（平成29年5月1日現在31名の児童生徒へ供給）
 - 小学校（児童） 24名
 - 中学校（生徒） 7名
- ② 米飯、魚を基本にした日本型給食です。使用する食材料は地場産のものを活用することで安全性を図りながら、栄養バランスにも配慮した献立メニューを専門の栄養士が立案します。
- ③ 季節の行事食を提供。（各 節句かしわもち、さくらもち、大好きパン、クリスマスケーキ等）学校給食の献立に地域の郷土料理や伝統料理を取り入れることは、国や地域の伝統文化を継承していくための関心や意欲を高める上で大きな教育効果が期待できます。
- ④ 地場産品の活用

地場産業の育成に繋がるということで、地場産食材を積極的に取り入れています。地元米粉・もち米粉を使用したパンの提供も行い、地場産米の消費拡大を図っています。地場産もち米による赤飯給食も実施しています。

学校給食において地場産物を使用することにより、児童生徒が学校給食の食材を「生きた教材」として、地場産物の活用の意味や地域の産業、働く人々について学ぶとともに、地域社会に対する誇りや愛情を育てることができます。

平成28年度の地場産使用率 63.4%

5 名寄市立大学

名寄市立大学短期大学部

1 名寄市立大学・名寄市立大学短期大学部の理念・目的・教育目標

(1) 名寄市立大学

①理念

名寄市立大学は、ケアの未来をひらき、小さくてもきらりと光る大学を目指す。

②目的

◎名寄市立大学は、高度な知識と技術および高い倫理性を有し、保健・医療・福祉の連携と協働を支えうる専門職を育成する。

◎名寄市立大学は、地域が抱える種々の課題について研究し、それらを解決することによって新しい未来をひらく。

③教育の目標

◎多様でかけがえのない存在である「ひと」への理解を深めるとともに、自らの人間性と能力を高める力を育む。

◎専門領域の知識や技術を高めるとともに、自らが課題を発見し、課題解決に主体的に取り組む力を育む。

◎関連する諸領域を幅広く理解し、支援サービスの連携・協働においてパートナーシップを発揮できる力を育む。

◎幅広い理解力・判断力を養う教養や社会問題への関心を持ち続ける心を育む。

◎地域社会はもとより、人類が抱える諸問題と異文化にも関心を持ち、広く世界の中で自己の存在を位置づけ行動する意欲を育む。

(2) 名寄市立大学短期大学部

①理念

名寄市立大学短期大学部は、ケアの未来をひらき、小さくてもきらりと光る大学を目指す。

②目的

◎名寄市立大学短期大学部は、幅広い教養とともに保育学に関する専門的知識、技能を身につけた専門職者を育成する。

◎名寄市立大学短期大学部は、地域社会の生活・福祉・教育の向上と文化の進展に貢献する。

③教育目標

◎多様な子ども・ひとに関する理解を深めるとともに、自らの人間性と専門的能力を高める力を育む。

◎社会的視野から保育を見据え、子どものより良き生活や発達支援に携わる基礎となるヒューマニズムを育む。

◎たくましくしなやかな心身とともに、地域社会に貢献できる主体性を育む。

2 名寄市立大学・名寄市立大学短期大学部の現況

(1) 学生の在籍状況 (単位：人)

(平成29年5月1日現在)

学科等 学年	保健福祉学部															短期大学部			合計		
	栄養学科			看護学科			社会福祉学科			社会保育学科			学部計			児童学科					
	男	女	小計	男	女	計	男	女	小計	男	女	小計	男	女	計	男	女	小計	男	女	計
1年	7	34	41	5	47	52	18	34	52	4	46	50	34	161	195	0	0	0			
2年	4	36	40	2	53	55	20	32	52	3	49	52	29	170	199	0	1	1			
3年	4	40	44	4	46	50	18	38	56				26	124	150						
4年	3	39	42	7	45	52	17	37	54				27	121	148						
計	18	149	167	18	191	209	73	141	214	7	95	102	116	576	692	0	1	1	116	577	693

(2) 教員組織 (単位：人)

(平成29年5月1日現在)

	学科名	学長	専任教員数					助手	専任教員1人 当たり学生数
			教授	准教授	講師	助教	計		
保健福祉学部	栄養学科	1	5	4	4	5	18	1	9.3人
	看護学科		8	5	4	8	25	2	8.4人
	社会福祉学科		8	5	4	1	18	0	11.9人
	社会保育学科		8	4	2	1	15	0	—
	教養教育部		4	3	1	0	8	0	—
	小計		1	33	21	15	15	84	3
短大部	児童学科	1(兼)	8(兼)	4(兼)	2(兼)	1(兼)	15(兼)	0	—
	小計	1(兼)	8(兼)	4(兼)	2(兼)	1(兼)	15(兼)	0	—
合計		1	33	21	15	15	84	3	

(3) 事務組織 (単位：人)

(平成29年5月1日現在)

事務局長	次長	課	課長	係長	係	事務補助	図書業務	就職支援	計
1	1	総務課	(1)	2	2	7	8	—	
		参事	1	—	—	—	—	—	
		教務課	1	3	4	2	—	—	
		学生課	(1)	2	2	—	—	2	
1	1		2	7	8	9	8	2	38

(4) 平成29年度入試結果 (単位:人)

(平成29年5月1日現在)

区分	栄養学科 (入学定員40人)					看護学科 (入学定員50人)					社会福祉学科 (入学定員50人)				
	募集人員	志願者数	受験者数 A	合格者数 B	倍率 A/B	募集人員	志願者数	受験者数 A	合格者数 B	倍率 A/B	募集人員	志願者数	受験者数 A	合格者数 B	倍率 A/B
推薦	15	55	55	15	3.7	20	70	70	20	3.5	20	32	32	20	1.6
社会人	若干名	0	0	0	—	若干名	3	3	1	—	若干名	0	0	0	—
一般前期	21	65	60	25	2.4	25	143	124	33	3.8	25	90	81	34	2.4
一般後期	4	69	26	7	3.7	5	65	16	7	2.3	5	61	12	9	1.3
入試	社会保育学科 (入学定員50人)														
区分	募集人員	志願者数	受験者数 A	合格者数 B	倍率 A/B										
推薦	20	35	35	20	1.8										
社会人	若干名	0	0	0	—										
一般前期	25	44	41	31	1.3										
一般後期	5	38	11	8	1.4										

(5) 平成28年度卒業者の就職進学等状況 (単位:人) (平成29年5月1日現在)

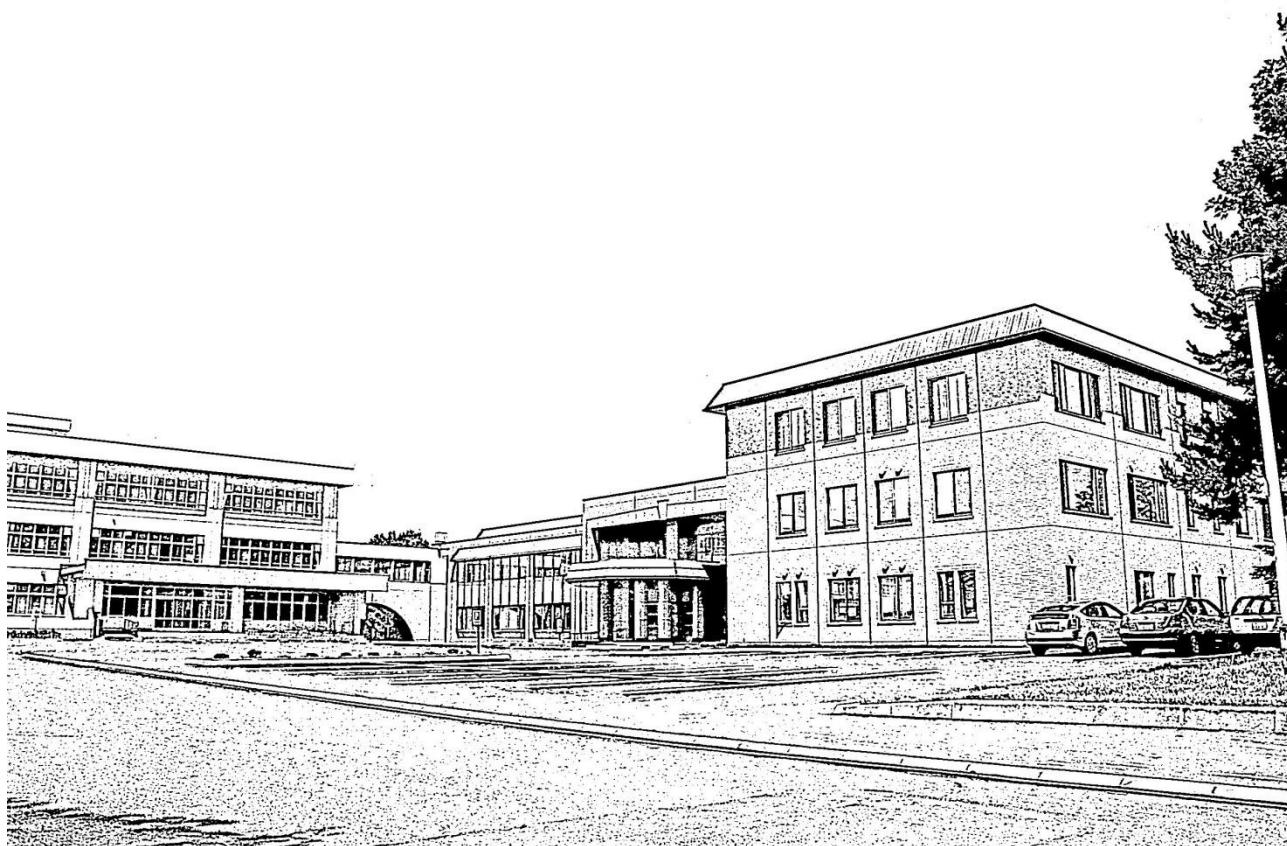
学部	学科	卒業者数	就職決定者数		就職率	進学 者数	その 他	備考
			市内	道内 道外				
保健福祉学部	栄養学科	44	市内	5	92.7%	1	5	
			道内	21				
			道外	12				
			小計	38				
保健福祉学部	看護学科	52	市内	11	100.0%	2	0	看護師就業 38人(市内9人) 保健師就業 8人(市内1人)
			道内	32				
			道外	7				
			小計	50				
保健福祉学部	社会福祉学科	55	市内	4	98.0%	0	3	
			道内	28				
			道外	20				
			小計	52				
短期大学部	児童学科	49	市内	4	100.0%	2	2	保育士就業 26人 幼稚園教諭就業 4人 保育教諭就業 8人
			道内	39				
			道外	2				
			小計	45				
合計		200		185		5	10	

(6) 平成28年度卒業者の国家資格取得状況 (単位: 人)

学科名	国家資格	受験者数 (人)	合格者数 (人)	合格率(%)	全国新卒 合格率(%)
栄養学科	管理栄養士	38	29	76.3%	85.1%
看護学科	看護師	51	50	98.0%	94.9%
	保健師	20	20	100.0%	92.6%
社会福祉学科	社会福祉士	49	30	61.2%	47.0%

(7) 平成28年度卒業者の教員免許取得状況 (単位: 人)

保健福祉学部	中学校教諭 1 種	社会	9
	高等学校教諭 1 種	公民	7
		福祉	1
	特別支援学校教諭	知的・肢体不自由・病弱	5
	栄養教諭 1 種		9
短期大学部	幼稚園教諭 2 種		48



3 図書館の概要

(1) 施設の概要

区分	面積		閲覧席数	収納可能冊数
図書館3階	1,074.58㎡	4,455.45㎡	200席	約140,000冊
図書館2階	1,440.56㎡			
図書館1階	1,940.31㎡			

※面積には、大講義室、コミュニティケア教育研究センター等を含む。

(2) 図書、学術雑誌、視聴覚資料、電子情報等の整備状況

○蔵書数（単位：冊）

年度	本館		分館		総和書数	総洋書数	総蔵書数
	和書	洋書	和書	洋書			
2015	54,945	2,338	31,021	1,246	85,966	3,584	89,550
2016	56,286	2,768	31,872	1,239	88,158	4,007	92,165

○逐次刊行物（単位：冊）

年度	和雑誌						洋雑誌						雑誌 総数
	栄養	看護	社会 福祉	社保 児童	共通	総数	栄養	看護	社会 福祉	社保 児童	共通	総数	
2015	19	67	38	19	23	166	15	7	2	0	0	24	190
2016	16	65	48	19	23	171	15	7	2	0	0	24	195

○視聴覚資料数

年度	CD	DVD	ビデオ	カセット テープ	紙芝居	CD-	総数
						ROM	
2015	135	656	872	0	57	15	1,735
2016	134	676	873	0	58	68	1,809

○電子ジャーナル・データベース利用（平成29年1月31日現在）（単位：ダウンロード数）

メディカル オンライン	CiNii		医中誌		聞蔵Ⅱ	EBSCO	
	アクセス数	検索数	アクセス数	検索数		アクセス 数	検索数
DL数	アクセス数	検索数	アクセス数	検索数	アクセス数	アクセス 数	検索数
519	5,512	24,770	1,698	5,945	75	397	2,640

○図書受入（平成29年1月31日現在）（単位：冊）

種類	図書	雑誌
冊数・誌数	2,498(1,823)	386(230)
全国平均	2,211(2,470)	501(203)

※平均は、平成28年度学術情報基盤実態調査-単科公立大学（括弧内は前年度のデータ）

(3) 図書館利用状況

○図書貸出状況（平成29年1月31日現在）

	貸出冊数		貸出人数	
	冊	冊/日	人	人/日
総計	17,706	87.7	7,196	35.6
	(16,395)	(68.0)	(6,183)	(25.7)
学生	14,792	73.2	6,039	29.9
	(13,945)	(57.9)	(5,253)	(21.8)
教職員	2,180	10.8	824	4.1
	(1,707)	(7.1)	(699)	(2.9)
学外者	695	3.4	313	1.5
	(715)	(3.0)	(303)	(1.3)
団体等	39	0.2	20	0.1
	(28)	(0.1)	(8)	(0.0)

※括弧内は前年度のデータ（開館日数 202日）

○学科別貸出状況（平成29年1月31日現在）

	貸出冊数		貸出人数	
	冊	冊/日	人	人/日
栄養	3,504	17.3	1,376	6.8
	(3,810)	(15.8)	(1,390)	(5.8)
看護	4,186	20.7	1,710	8.5
	(4,051)	(16.8)	(1,493)	(6.2)
社会福祉	3,588	17.8	1,546	7.7
	(3,243)	(13.5)	(1,346)	(5.6)
社会保育	2,953	14.6	1,201	5.9
	-	-	-	-
児童	561	2.8	206	1.0
	(2,841)	(11.8)	(1,024)	(4.2)

※括弧内は昨年度のデータ

4 施設の概要

施設	摘要		面積
校地等	校舎敷地		42,400㎡
	運動場(グラウンド)		29,633㎡
	計		72,073㎡
校舎	本館(看護学科・児童学科・図書館)	RC造 3階建(一部2階建)	8,652㎡
	新館(管理、情報処理・栄養実習室)	RC造 3階建(一部2階建)	3,712㎡
	恵陵館(社会福祉学科・栄養学科)	RC造 3階建	6,932㎡
体育館等	①体育館(本館)②多目的ホール(恵陵館)	鉄骨造 平屋建	2,229㎡
学生会館	学生食堂・サークル室・同窓会室等	RC造 2階建	511㎡
学生寮	収容定員39人	RC造 3階建	1,090㎡

6 就学の助成

1 就学援助

経済的理由によって就学困難と認められる児童生徒の保護者に対して、その就学に必要な援助を行います。

(1) 平成29年度就学援助費の内訳（ただし、※は平成28年度実績の平均支給額）

区 分		小 学 校	中 学 校	支 給 内 容
新入学児童生徒 学用品費等	1年	円 40,600	円 47,400	小学校又は中学校に入学する児童生徒が通常必要とする学用品及び通学用品
学 用 品 費	1～6年	11,420	—	各教科及び特別活動の学習に必要なとされる学用品
	1～3年	—	22,320	
通 学 用 品 費	2～6年	2,230	—	通学用靴、雨傘等の通学用品に係る経費
	2～3年	—	2,230	
体育実技用具費	スキー	※ 27,450	※ 37,487	体育授業の参加に必要な体育実技用具
	柔道着	—	4,536	
宿 泊 校 外 活 動 費		※ 50	※ 3,342	学校行事として宿泊を伴う校外活動に参加するために必要な交通費及び見学科料などの経費
修 学 旅 行 費		※ 22,385	※ 56,455	修学旅行に必要な交通費、宿泊費、見学科料などの経費
学 校 給 食 費	1～6年	※ 47,499	—	学校給食に要する食費の金額
	1～3年	—	※ 54,271	
医 療 費		※ 7,894	※ 6,257	伝染病又は学習に影響のある疾病（学校病）にかかり、学校から治療の指示を受けた場合、その治療に要する費用（※学校病とは、トラコーマ及び結膜炎、白癬、疥癬及び濃痂疹、中耳炎、慢性副鼻腔炎及びアデノイド、う歯、寄生虫病をいう。）
ク ラ ブ 活 動 費		—	14,800	部活動加入者に対し、部活動の実施に必要な用具に係る経費（部活動支援費・後援会費などは除く）
生 徒 会 費		—	(上限) 5,450	生徒会費として一律に負担すべきこととなる経費
P T A 会 費		(上限) 3,380	(上限) 4,190	P T A活動に要する費用として一律に負担すべきこととなる経費

(2) 平成26・27・28年度就学援助の状況

(単位：千円)

区 分		平成26年度	平成27年度	平成28年度
小学校	実施人員	230	215	207
	決算額	16,701	15,829	15,848
中学校	実施人員	112	116	116
	決算額	12,824	13,944	12,791
計	実施人員	342	331	323
	決算額	29,525	29,773	28,639

2 特別支援教育就学奨励費

小学校及び中学校の特別支援学級に在籍し、就学援助の対象とならない児童生徒の保護者の経済的負担を軽減するための援助を行うことにより、特別支援教育の振興を図ります。

(1) 平成29年度就学奨励費の内訳（ただし、※は平成28年度実績の平均支給額）

区 分		小 学 校	中 学 校
新入学児童生徒 学用品費等	1年	円 10,235	円 11,775
学用品費等購入費	2～6年	5,710	—
	2～3年	—	11,160
体育実技用具費	スキー	(上限) 13,010	(上限) 18,670
	柔道	—	(上限) 3,755
宿泊校外活動費		※ 25	※ 1,675
修学旅行費		※ 11,425	※ 29,936
学校給食費	1～6年	※ 22,615	—
	1～3年	—	※ 27,063
通学費	通級指導 教室	※ 4,845	—
	特別支援 学級	※ 4,915	※ 19,704

(2) 平成26・27・28年度特別支援教育就学奨励費の状況

(単位：千円)

区 分		平成26年度	平成27年度	平成28年度
小学校	実施人員	40	40	34
	決算額	1,256	1,256	1,228
中学校	実施人員	18	18	23
	決算額	893	893	1,433
計	実施人員	58	58	57
	決算額	2,149	2,149	2,661

3 育英資金利子補給制度

名寄市では、学業成績が優秀であって経済的に就学が困難な学生及び生徒に対して、他機関から貸付けを受けた奨学金並びに修学資金にかかる利子の一部を補給する制度を次により実施しています。

(1) 奨学生の資格

- ① 親又はこれに代わるべき者が名寄市民であること。
- ② 大学院、大学、専修学校（専門課程）、各種学校、高等専門学校及び高等学校に在学していること。
- ③ 学業成績優秀、性行善良であること。
- ④ 学資の支弁が困難であること。

(2) 対象者

上記の資格を有した者で、独立行政法人日本学生支援機構奨学生として有利子奨学金の貸付けを受けた者又は㈱日本政策金融公庫の修学資金、民間金融機関等の修学制度資金の貸付けを受けた者。

(3) 申込期間 毎年10月末日まで

(4) 利子補給額

下記基準額（貸付けを受けた額が基準額に満たない場合は、貸付けを受けた額）に対し、

- ① 独立行政法人日本学生支援機構奨学生・・・基準額にその貸付利率を乗じて得た額
- ② 上記以外・・・所得金額によって、基準額に利率3%を限度として補給。

※利子補給基準額：月額

区 分	補給基準額（月額）
大 学 ・ 大 学 院	40,000円
専 門 学 校	30,000円
高 等 専 門 学 校	15,000円
高 等 学 校	10,000円

4 育英金貸付事業（風連地区特例区事業）

合併に伴い、平成18年度から5年間の特例区事業として、要件を満たす者に対し教育資金の貸付制度（無利子）を実施していましたが、平成22年度をもって終了しました。

貸付けを行った育英金については、今後も引続き返還していただきます。

7 各種助成制度（学校教育課所管）

1 名寄市教育振興補助事業

名寄市における文化・スポーツの振興を図るため、名寄市教育振興基金を活用し、全道・全国大会に出場する小中学校児童生徒及び全国大会に出場する高等学校生徒に対し、大会出場に要する費用の一部を助成します。

平成26・27・28年度事業の実績

(単位：千円)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
申請事業数	45	46	39
補助金交付額	3,150	4,872	4,570
うち小学生	990	1,755	1,672
うち中学生	2,053	2,798	2,716
うち高校生	107	319	182

2 特色ある教育活動助成金交付事業

市内児童生徒の健全育成を目的として、特色ある教育活動を行う者に対し、その活動に要する費用の一部を助成します。

平成26・27・28年度事業の実績

(単位：千円)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
申請事業数	4	4	1
補助金交付額	127	119	30
うち小学生	77	69	17
うち中学生	0	0	0
うち高校生	0	0	0
うちその他	50	50	13

8 名寄市教育研究所

1 研究主題

「心豊かに、たくましく生きぬく児童生徒の育成」

2 研究主題設定の理由

今日、学校教育においては、保護者や地域住民の期待に応えるため、子ども一人一人に「生きる力」を確実に育むことが求められている。このため各学校では、学習指導要領の趣旨を踏まえ、児童生徒の人間としての調和のとれた育成を目指し、地域や学校の実態、児童生徒の発達段階や特性等を考慮して、適切な教育課程を編成、実施することが大切である。

このような課題を受け止め、名寄市教育研究所においては、上川管内教育研究会と連携し、小・中学校における教育の内容、方法、制度等に関する調査研究などに取り組み、児童生徒の基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させ、よりよく問題を解決する資質・能力や他人を思いやる豊かな心、たくましく生きるための健やかな体などの育成に努めている。

そこで、今後も、これまでの研究の流れを継続し、各部・各班・教育改善プロジェクト委員会の取組を一層充実させることにより、知・徳・体の調和のとれた児童生徒を育成することが重要と考え、本研究主題を設定した。

3 運営の基本方針

「名寄市教育研究所条例」に基づき、各種の提言、事業、研究活動等を推進する。また、北海道教育研究所連盟（道研連）や上川管内の市町村教育研究会で構成されている上川管内教育研究会（上教研）と連携を図りながら事業を推進する。

- (1) 研究主題の解明にあたっては、具体的かつ実践的な研究活動の推進に努める。
- (2) 上川管内教育研究会、上川教育研修センター等と連携し、研究推進体制の充実に努める。
- (3) 授業公開による研究交流や日常実践の交流、外部講師・施設の活用等を図り、班研修の活性化と研修内容の充実に努める。
- (4) 名寄市教育改善プロジェクト委員会の成果と課題を踏まえ、各種事業等の推進に努める。

4 事業推進の基本方針

- (1) 所報（名寄市教育・研究紀要含む）の発行については、研究体制や研究内容・活動内容等の情報の共有化が図られるよう努める。
- (2) 名寄市教育研究大会については、公開授業、研究協議等を通して、具体的かつ実践的な研究活動を推進する。研究委託校（名寄南小・名寄東中）は、「学校力向上に関する総合実践事業」等の取組を踏まえ、研究の成果を公開する。
- (3) 名寄市教育研究発表集会については、名寄市教育改善プロジェクト委員会や調査研究部の発表、講演等を通して、研究の成果と課題についての共通理解を深める。
- (4) 研究班の一斉研修や上川管内教育研究会北部地区研究大会については、上川管内地区研究大会研究推進の手引等を活用し、研修活動の充実に努める。
- (5) 名寄市小中学校音楽発表会や各種児童生徒作品展等については、音楽科や図画工作科等の学習の成果の交流に努める。
- (6) その他、必要に応じて専門委員会を設置し、調査報告、提言等を行う。

5 各部・教育改善プロジェクト委員会の事業

(1) 総務部

- ① 各部と連携を図った各種事業の企画・運営
- ② 道研連、上教研など、関係団体との連携協力
- ③ 年3回（6月、11月、3月）の所報の発行
- ④ 効果的で適正な会計業務の推進

(2) 調査研究部

- ① 名寄市教育改善プロジェクト委員会の3つの研究グループと連携した調査・分析の推進

(3) 教育研究部

- ① 研究班活動の推進
年3回（4月、6月、8月）の開催
- ② 名寄市小中学校音楽発表会の開催
平成29年9月28日（木）
会場 名寄市民文化センターE N-R A Yホール
- ③ 名寄市教育研究大会の開催
平成29年11月14日（火）
会場 名寄南小学校・名寄東中学校
- ④ 名寄市教育研究集会の開催
平成30年1月23日（火）
会場 名寄市民文化センターE N-R A Yホール
- ⑤ 各種児童生徒作品展等の開催・協力
・上教研北部地区Bブロック巡回作品展
・市民文化祭小中学校児童生徒作品展
・書道紙上作品展
・読書感想文コンクール

(4) 第2次名寄市教育改善プロジェクト委員会

- ① 推進のテーマ
児童生徒に「生きる力」を育み、夢と希望を拓く名寄市教育の創造
～全小・中学校が一体となった効果的・効率的・継続的な学校改善を図る取組を通して～
- ② 推進の重点
 - 「生きる力」を育成する教育の推進
 - 「地域とともにある学校づくり」の推進
 - インクルーシブ教育システムの構築を目指す特別支援教育の推進

③ 今年度の主な取組

■教育経営の充実に関する研究グループ

□学校経営の充実

- ・名寄市共通のモデル的な学校経営計画の作成
- ・社会に開かれた教育課程の編成に係る研修
- ・コミュニティ・スクール、小中一貫教育の取組状況の交流、導入の促進
- ・各種指定事業に基づく実践交流
- ・先進校視察等ミドルリーダー育成研修の実施

□学級経営の充実

- ・学級経営プログラム等の作成と到達状況の把握

■教育研究（研修）の充実に関する研究グループ

□「特別の教科道徳」の年間指導計画作成と授業研究

□外国語活動、外国語の年間指導計画の作成、時間割編成の工夫、アクティビティ等の研究

□体力・運動能力調査の結果・分析を踏まえた研究

■教育指導の充実に関する研究グループ

□主体的・対話的で深い学びの理解と各学校の授業研究

- ・アクティブ・ラーニングのイメージの共有
- ・アクティブ・ラーニングの授業づくり
- ・ICTを効果的に活用するための工夫（先進事例の研究）

□問題行動の理解、いじめ・不登校への対応の交流・研修

- ・楽しい学校生活を送るためのアンケートQ-Uの効果的な使い方に関する研究
- ・困り感のある全ての児童生徒の指導の充実に関する研究

9 その他学校一覧

(平成29年5月1日現在)

	学 校 名	校長名	課 程	学級数	生徒数	所在地	電 話 (F A X)	
高 等 学 校	道立	名寄高等学校	鈴木 聡	普通科	11	396	徳田204-1 (事務室TEL・FAX) 3-6841 (職員室TEL) 3-6842	
				計	11			
	道立	名寄産業高等学校 (光凌キャンパス)	杉田 良二	電子機械科	3	70	西5北5 (事務室TEL・FAX) 2-3066 (職員室TEL) 2-3067	
				建築システム科	3			59
				生活文化科	3			77
	道立	名寄産業高等学校 (名農キャンパス)		酪農科学科	3	48	緑丘3-3 (TEL) 2-4191 (FAX) 2-4192	
				計	12			254
	各種 学校	私立	上川北部医師会 附属准看護学院	吉田 肇	准看護師科	2	40	西5北2 (TEL) 2-5311 (FAX) 2-5621
					計	2		

1 平成 29 年度名寄市社会教育推進の重点

生涯学習とは、一人ひとりが自分に適した方法で、生涯を通じて自発的に行う学習のことであり、幅の広いものです。このように主体的にはじめた学習活動によって、個々が豊かになり、その個人が集まって社会に還元することにより社会が豊かになっていく、これが生涯学習型社会です。

社会教育行政はこのような生涯学習を推進するため様々な方法により、市民自らが主体的に活動していくことを支援し、援助する役割を担っています。

教育委員会では、平成 19 年度に策定しました「名寄市社会教育中期計画」を検証しながら発展的に継承し、名寄市における社会教育の推進方策を示すものとして、平成 25 年度から平成 29 年度までの 5 年間の「第 2 次名寄市社会教育中期計画」を策定しました。

社会教育中期計画に基づき、本年度は次のとおり推進方策を進めてまいります。

主要施策 1 生涯学習機会の提供

(1) 文化活動拠点施設整備

地域における社会教育活動の拠点として、各社会教育施設の充実と有効活用に努め、各種社会教育事業の実施や施設の管理運営等について、市民との協力・協働による効率的な運営に努めます。老朽化してきた社会教育施設の機能を維持管理するため、年次計画により営繕・補修に努めます。

(2) 生涯学習プログラムの整備と学習への支援

市民が学びたいときに学び、効率的な学習活動を実践していくために、情報提供や相談体制の整備に努め、また、市民の学習ニーズの把握に努めながら学習機会の提供に努めます。

乳幼児から高齢者まで生涯にわたり読書を通し学習ができる環境整備として、図書資料の収集とレファレンスサービスの充実を図るとともに、幼児施設や小・中学校に読書活動へつながる環境整備や支援を進めます。

(3) 天体観測を活かしたまちづくり事業

天文台の機能の充実を図るとともに、来館者の利便性の向上に努めます。また、国立天文台との交流協定に基づいた対策を進めるとともに、移動式天文台車を活用するなど、学校教育との連携や社会教育における活動の推進を図ります。

主要施策 2 豊かな地域文化の継承と創造

(1) 市民ホールの活用

平成 27 年 5 月開館の EN-RAY ホールを文化芸術の拠点及びコミュニティ醸成の場として、活性化に努めます。

(2) 芸術文化振興事業

芸術・文化の継承、地域文化の創造と振興を図ることを目的に策定した文化芸術振興条例に基づき、文化芸術振興に向けた方針を策定します。

各種団体やサークルの自主的な取り組みを支援するとともに、市民が体験や発表する場の充実にも努めます。また、優れた芸術文化にふれる機会として、鑑賞・参加型事業とともに文化芸術鑑賞バスツアーの充実にも努めます。

地域の文化活動を次世代に継承するための普及活動や発表の場の充実にも努めるとともに

に、郷土の遺産や史跡などの文化財の保護、普及・啓発活動に努めます。

主要施策3 家庭教育の推進

(1) 家庭と地域の教育力の向上

様々な機会を利用して家庭教育に関する学習機会を提供するとともに、親子が絆を深め、親同士がコミュニケーションを図れるような場の提供に努めます。

地域社会や企業等が家庭教育について理解し、子育てを見守る環境が作られるよう働きかけます。

(2) 関係機関・団体とのネットワークづくり

家庭教育に関する総合的なネットワークの構築を目指し、情報の収集に努めるとともに、家庭、学校、地域の関係する機関・団体などとの連携に努めます。

主要施策4 生涯スポーツの振興

(1) スポーツ施設の整備

既存施設の老朽化が進み、より適正な管理・運営が求められていますが、計画的な整備・改修を進めながら施設の延命化を図り、多様化する市民ニーズに応えられるようスポーツ環境を提供してまいります。

また、障がいのある方にも、スポーツをする機会を増やしていくために、これらにかかわる環境整備を行ってまいります。

(2) スポーツ振興事業

ライフステージに応じたスポーツ活動の推進をするために体育協会、各競技団体等と連携を図りながら、スポーツフェスティバルやスポーツ講演会等の市民参加型の各種スポーツイベントを開催します。

また、地域が連携してジュニア選手・指導者育成ができるシステムを構築し、競技力の向上を図りながらスポーツの力で地域を明るく元気にするとともに、地域が一体となったスポーツ合宿を推進することで交流人口の拡大を図り、スポーツによる地域振興を実現してまいります。

主要施策5 青少年の健全育成

(1) 青少年健全育成事業

豊かな人間性や社会性などを培うために様々な体験学習や都市との交流事業などの機会を提供するとともに、子ども会育成連合会と協力し、青少年の健全育成や育成環境の整備に努めます。

青少年を取り巻く社会環境の変化が、子ども達の健全な育成に大きな影響を及ぼすことから、関係する様々な情報を収集し、共有化を図るとともに、非行防止活動や環境浄化に努めます。

児童生徒や保護者等からの悩みについて、相談体制の充実を図るとともに、各学校や関係機関と連携や情報提供の協力を努め対応します。

子どもの安全で健やかな居場所を確保するため、安全安心な施設運営に努め放課後児童対策の充実を図ります。

2 生涯学習課・名寄市公民館の事業計画

I 生涯学習社会の形成

◆文化活動拠点施設整備事業

◇市民文化センターの利用促進

文化センター大ホールを中心とした施設の利用促進とともにソフト面の充実にも努め、市民の学習の成果の発表の場や交流が生まれる環境づくりに努めます。

【施設概要】

1 所在地 名寄市西13条南4丁目2番地 (TEL 01654-2-2218)

2 開設年月日 昭和58年8月11日 (西館：平成27年5月9日開館)

3 主要施設 ○東館 (既存棟)

・多目的ホール	353.2 m ²
・大会議室 A	80.0 m ²
・大会議室 B	80.0 m ²
・小会議室	32.0 m ²
・会議室	48.0 m ²
・市民工芸室	97.6 m ²
・生活研修室 A	23.0 m ²
・生活研修室 B	77.0 m ²
・調理実習室	104.0 m ²
・営農研修室	72.0 m ²
・視聴覚研修室	108.0 m ²
・展示ホール	294.8 m ²

○西館 (新築棟)

・大ホール (EN-RAY)	896.15 m ²		
固定席	639 席	車椅子補助者席	8 席
		計	647 席
・音楽スタジオ 1	39.69 m ²		
・音楽スタジオ 2	116.53 m ²		
・楽屋 1	52.29 m ²		
・楽屋 2	18.99 m ²		
・楽屋 3	18.99 m ²		
・展示ギャラリー	67.40 m ²		
・常設展示室	19.12 m ²		

4 利用案内

・開館時間 午前9時～午後10時

・休館日 毎月末日 (ただし、その日が土・日曜日又は国民の休日にあたる時はその前日)
年末年始 (12月30日～1月5日)



◆生涯学習プログラムの整備と学習への支援

1 趣味、教養、課題解決へ向けた学習活動の促進

(1) 平成29年度市民講座

趣味や教養、実生活での課題を解決するような学習活動の場を市民に提供することで、豊かな人間性と創造性を養い、地域の連帯感を醸成し、健康で安全な住みよい生活の場を主体的につくりあげる学びを支えることを目的に開設します。

①市民講座「バイオリン体験教室」

4月29日(土)、5月3日(水)、5月14日(日)、5月27日(土)、6月11日(日) 6月24日(土)、7月9日(日)

名寄市民文化センター EN-RAY ホールほか

②市民講座「なよろ入門」

5月18日(木)、6月22日(木)、7月20日(木)、8月24日(木)
9月21日(木)、10月12日(木)、11月9日(木)、12月7日(木)
1月25日(木)、2月15日(木)、3月1日(木)

名寄市民文化センター 大会議室ほか

③市民講座「陶芸教室」

5月17日(水)、18日(木)、6月14日(水)、15日(木)、7月13日(木)

名寄市民文化センター 市民工芸室

④市民講座「豆腐・みそ作り教室」

6月5日(月)、6日(火)、7日(水)

名寄市農産物簡易加工処理施設「あぐりん館」

⑤市民講座「プリザーブドフラワー教室」

9月12日(火)、11月14日(火)、12月3日(日)

名寄市民文化センター 市民工芸室

(2) ジャックの豆事業（自主的学習グループ・サークル活動促進事業）

市民の自主的な学習グループ・サークル活動を組織化・活性化させるために必要な助成を行い、市民の生涯学習活動を促進します。

2 高齢者学級「名寄ピヤシリ大学」の開設

60歳以上の市民を対象に、一般教養やまちづくりに関する講座、社会見学、奉仕活動、体育祭、遠足、大学祭、クラブ活動、自治会活動など幅広い学習機会を提供します。

(1) 開設期間 4月18日～2月20日（毎月第2・4火曜日を原則として計20回開設）

(2) 公開講座の開設

ピヤシリ大学生、大学院生に加えて広く市民の参加を募るとともに、「道民カレッジ」（北海道教育委員会主催）の連携講座として年5回開講します。

(3) 自由研究・文集の発行

①大学4年生による自由研究

②文集「風雪」の発行

(4) 指導者養成・交流活動

①上川管内高齢者学びのつどいへの参加

②小学生との交流授業の実施

3 生涯学習啓発事業の実施

生涯学習フェスティバルの開催

・地域住民が学び習得している技術や、地域の特色ある諸活動などを紹介し、まちづくりを考え、実践する場として、生涯学習フェスティバルを開催します。

・10月開催予定

4 公民館分館事業の支援

名寄地区に6分館（中名寄、曙、共和、瑞穂、弥生、日進）を設置し、地域独自の分館事業を支援します。

5 その他の生涯学習事業

(1) 生涯学習情報の提供、相談

(2) 生涯学習リーダーバンク事業

指導者登録制度「生涯学習リーダーバンク」の市民への周知と、指導者の登録促進と活用を推進を図ります。（平成29年6月1日現在登録者数 35名）

6 諸会議・研修会

(1) 社会教育委員の会会議

年3回（5月・11月・3月）開催予定

(2) 名寄市文化芸術審議会

年3回開催予定

(3) 名寄市公民館運営審議会

年2回（5月・11月）開催予定

(4) 名寄市公民館分館長・主事会議

年1回開催予定

(5) 名寄市民文化センター事業企画委員会

年2回開催予定

7 関係団体に対する負担金・補助金

(1) 上川管内社会教育委員連絡協議会負担金

30,000円

(2) 北海道社会教育委員連絡協議会負担金	54,000円
(3) 北海道公民館協会上川支部負担金	7,000円
(4) 北海道公民館協会負担金	52,000円
(5) 名寄市女性団体連絡協議会補助金	220,000円
(6) 名寄市PTA連合会補助金	300,000円
(7) 名寄東小学校コミュニティセンター運営補助金	500,000円
(8) 社会教育関係団体活動推進補助金	1,005,000円
(9) ジャックの豆事業助成金	100,000円
(10) 市民盆踊り大会実行委員会補助金	200,000円

II 地域文化の継承と創造

◆芸術文化振興事業

1 文化活動への参加機会と芸術鑑賞機会の充実

(1) 第60回市民文化祭

◇市民が行っている各種文化活動について全市的な規模で発表する場をつくることで、文化活動への参加意欲を高め、地域文化の発展及び市民生活の充実に資することを目的に開催します。

◇具体的には加盟団体をはじめとする各種団体実行委員会を組織し、開催します。

◇芸能発表 11月3日(金祝) 市民文化センターEN-RAY ホール

◇作品展示 11月1日(水)～3日(金祝) 市民文化センター

(2) 芸術文化鑑賞バスツアー

◇目的：優れた美術作品や公演を鑑賞し、豊かな情操を養い創造意欲を高め、芸術文化推進への意欲を育てる。

◇第1回 5月25日(木)～26日(金) 札幌市(1泊2日) 定員33名

「劇団四季 ライオンキング」観劇、「道立近代美術館」、「安田侃彫刻美術館アルテピアッツア美唄」観覧

◇第2回 7月12日(水) 小平・羽幌方面 定員33名

「おびら鯨番屋 旧花田家番屋」、「北海道海鳥センター」観覧

◇第3回 8月7日(月)～8日(火) 帯広方面 定員33名

「足寄動物化石博物館」「池田ブドウ・ブドウ酒研究所」、帯広美術館「放浪の天才画家『山下清展』」、「真鍋庭園」観覧

◇第4回 9月8日(金) 遠軽町 定員33名

「ちゃちゃワールド」、「太陽の丘えんがる公園」観覧

(3) であいの広場作品展示(名寄市公民館主催・共催事業)

◇写友「北彩」 4月7日(金)～18日(火)

◇小林白炎墨絵詩書作品展 4月22日(土)～5月14日(日)

◇切り絵あじさい会 5月19日(金)～26日(金)

◇写真道展巡回展 6月26日(月)～7月4日(火)

◇夏休み子ども写生会作品展 8月2日(水)～10日(木)

◇道北文化集会 8月30日(水)～9月3日(日)

◇高齢者を祝う会 9月12日(火)～19日(火)

◇朔人社美術協会 9月22日(金)～28日(木)

- ◇素敵写真同好会 10月 8日(日)～15日(日)
- ◇ピヤシリ大学祭作品展 10月17日(火)～25日(水)
- ◇写真集団「翔」写真展 11月13日(月)～22日(水)
- ◇こども書き初め広場作品展 1月12日(金)～22日(月)
- ◇冬休み児童生徒作品展 2月 6日(火)～19日(月)
- ◇へっちゃんLAND写真展 日程未定
- ◇小学生による「税の書道展」 日程未定
- ◇上川北部公民館ネットワーク主催高齢者作品巡回展 日程未定
- (4) EN-RAY ホール自主事業・教育委員会主催事業 等
- ◇東京スカパラダイスオーケストラ公演 5月30日(火)
- ◇延齡寄席 第3夜 7月22日(土)
- ◇ドラムストラック 8月6日(日)
- ◇劇団四季「ガンバの大冒険」 8月26日(土)
- ◇H Z E T T R I O公演 9月17日(日)
- ◇名寄市民劇場 11月12日(日)
- ◇北の星座音楽祭 11月頃予定
- ◇初心者向けクラシックコンサート 12月予定
- ◇名寄市少年少女オーケストラ定期演奏会 2月予定
- ◇あみゆぜ。のファミリーコンサート 冬頃予定

2 地域活動の拡充と参加促進

実行委員会を組織し、市民盆踊り大会を実施します。
実施予定日 8月14日(月)、15日(火)

3 関係団体に対する負担金・補助金

(1) 名寄市文化協会補助金	360,000円
(2) 名寄文化講演市民実行委員会負担金	500,000円
(3) 市民文化祭・生涯学習フェスティバル実行委員会補助金	350,000円
(4) 名寄太鼓補助金	100,000円
(5) なよろ舞台芸術劇場実行委員会補助金	10,000,000円
(6) 名寄市文化芸術振興助成金	2,000,000円

III 家庭教育の推進

◆家庭と地域の教育力の向上

1 家庭教育学級の開設

名寄地区に2学級(幼稚園)開設し、各学級で自主的に学習内容を企画し実施します。
交付金 100,000円(50,000円×2学級)

2 家庭教育支援講座の開設

家庭教育を行う上で必要な知識・技術の習得を目指した学習機会や、親子のコミュニケーションを深める機会を提供します。

3 企業への啓発

職場において親である社員が子育てに関われる環境がつくられるよう、企業等に対して「北海道家庭教育サポート企業制度」の啓発と企業へ情報提供を行います。

IV 青少年の健全育成

◆青少年健全育成事業

1 平成29年度野外体験学習事業「へっちゃLAND2017」

小学4年生から6年生の児童を対象に、実行委員会を組織して実施します。

実施予定日 7月28日（金）～7月31日（月）（3泊4日）

2 名寄市公民館主催事業

(1) 夏休み子ども写生会

8月2日（水） 浅江島公園（作品展示8月2日～10日 市民文化センター）

(2) 冬休み子ども料理教室

12月26日（火） 市民文化センター

(3) 第45回新春こども書き初め広場

平成30年1月12日（金） 市民文化センター

（作品展示1月12日～22日、表彰式1月22日）

(4) 第32回冬休み児童生徒作品展

平成30年2月6日（火）～16日（金） 市民文化センター

(5) 春休み子ども英語クラブ

平成30年3月26日（月）～28日（水） 市民文化センター

3 名寄市子ども会育成連合会との共催事業

(1) 「わくわく！体験交流会」

子ども達が様々な体験を通して、自主性や社会性を身に付けるとともに協調性や相手を思いやる心を育てることを目的として実施します。（年8回開催予定）

①6月17日（土）レクリエーション・飯ごう炊飯体験 市民文化センター

②7月1日（土）～2日（日）キャンプ なよろ健康の森

③8月19日（土）～20日（日）宿泊研修 ネイパル砂川

④10月7日（土）かるた体験 市民文化センター

⑤11月26日（日）上川管内子ども交流会室内レクリエーション 市民文化センター

⑥12月16日（土）冬季レクリエーション 市民文化センター

⑦1月下旬 ワカサギ釣り体験 朱鞠内湖

⑧2月24日（土）お別れ会・ふりかえり 市民文化センター

(2) 子ども会活動促進事業

スポーツ大会（スポーツ・レクリエーション等交流事業）

実施日 11月23日（木・祝） スポーツセンター

4 学習活動の支援

青少年の学習活動のために用具等を貸し出します。

5 成人式運営事業

実行委員会を組織して式典、交流会を開催します。

- (1) 開催予定日 平成30年1月7日(日) (毎年1月第2日曜日)
- (2) 場 所 市民文化センター EN-RAY ホール

6 指導者養成事業

- (1) 育成指導者研修会

名寄市子ども会育成連合会との共催で開催します。

- (2) 育成指導者交流会

名寄市子ども会育成連合会との共催で、子ども会育成指導者間の親睦と情報交換を目的に実施します。

7 北海道教育委員会・管内関連事業

- (1) 青少年体験活動推進事業

北海道教育委員会が主催する青少年活動リーダー養成事業「ジュニアリーダーコース」への参加を支援します。

- (2) 「少年の主張」上川地区大会

全道大会につながる中学生対象の弁論大会に発表者1名を派遣します。(名寄東中学校)

8 青少年育成団体に対する負担金・補助金

- | | |
|-----------------------|----------|
| (1) 名寄市子ども会育成連合会補助金 | 800,000円 |
| (2) へっちゃらLAND実行委員会補助金 | 400,000円 |
| (3) 名寄市成人式実行委員会負担金 | 550,000円 |

3 名寄市 風連生涯学習担当・ 風連公民館の事業計画

I 生涯学習機会の提供

◆文化活動拠点整備事業

【施設概要】

1 ふうれん地域交流センター〈風っ子ホール〉（指定管理者制度導入 平成25年4月1日～）

(1) 所在地 名寄市風連町本町6番地（指定管理者 TEL 01655-3-2531）

(2) 開設年月日 平成22年4月12日

(3) 利用案内

・開館時間 午前9時～午後10時（午後6時以降の利用ない時閉館） 休館日なし

≪風連公民館（TEL 01655-3-2620）≫

2 風連陶芸センター

(1) 所在地 名寄市風連町仲町8番地（TEL 01655-3-2743）

(2) 開設年月日 昭和54年9月1日

(3) 利用案内

・開館時間 午前8時45分～午後5時30分
～午後9時（夜間講座のみ）

・休館日 土・日曜日、国民の休日 ・年末年始（12月30日～1月5日）

◆生涯学習プログラムの整備と学習への支援

1 瑞生大学（高齢者事業）

講話、軽スポーツ、各種研修会、健康教室、農園づくり、クラブ活動等の講座で生涯学習を深める。

(1) 学生数	大学1年生	10人	大学2年生	8人
	大学院1年生	6人	大学院2年生	7人
	研究生	64人		

合 計 95人（男34人、女61人）

(2) 開設日 毎月7・17・27日を原則として開設

(3) 学習講座（年間30～35講座） 五つの風をテーマに学習
みのりの風・まなびの風・ふれあいの風・やすらぎの風・おもいでの風

(4) クラブ活動 書道・フォークダンス・カラダン・パソコン
陶芸・パークゴルフ・茶華道等

(5) 異世代間交流
風連中央小学校児童との交流会

2 風連陶芸センター事業

児童、生徒、一般対象の陶芸教室、サークル活動の支援

- ・各小学校の体験教室（随時）
- ・サークル活動（毎月2回）・一般陶芸教室（毎月2回）
- ・瑞生大学陶芸クラブ活動（毎月2～3回）・各団体等の体験研修会（随時）

3 風連公民館事業

（1）会議の開催

- ・名寄市風連公民館運営審議会（年2回開催予定）
第1回目 6月上旬～中旬 ・ 第2回目 2月中旬～下旬予定
- ・名寄市風連公民館分館長・主事会議（年2回開催予定）
第1回目 6月上旬～中旬 ・ 第2回目 2月中旬～下旬予定

（2）風連公民館講座

- ◇切り絵教室 平成29年9月(2回)
- ◇手作り豆腐教室 平成29年10月～11月頃
- ◇料理教室（手打ちそば） 平成29年12月10日(土)予定
- ◇書き初め・墨絵詩書教室 平成30年1月6日(土)予定
- ◇アウトドア体験講座 平成30年2月25日(日)予定

（3）ジャックの豆事業

市民5人以上で構成される自主的な学習グループ・サークルで、活動を組織化・活性化させるために必要な助成を行い、市民の生涯学習活動を促進する。

（4）花と緑のくらし事業

風連公民館分館施設や各小中学校への花の苗代補助（分館員活動拠点の美化）

（5）風連公民館分館活動の推進

（6）社会教育関係団体活動推進補助金（バス遠征費助成）

（7）関係団体に対する補助金

風連瑞生大学自治会（270,000円）

風連公民館各分館（5分館）

旭分館（102,000円）・下多寄分館（84,000円）

日進分館（78,000円）・東風連分館（114,000円）

西風連分館（96,000円）

II 豊かな地域文化の継承と創造

◆芸術文化振興事業

1 風連文化祭

市民が行っている各種文化活動について発表の場をつくることで、文化活動への参加意欲を高め、市民交流の中から文化の創造を促し、地域文化の発展及び市民生活の充実に資することを目的に開催する。

風連文化協会を中心とした実行委員会を組織して実施します。

◇芸能発表会 11月3日(文化の日 木曜日)

◇作品展示等 11月2日～3日

- 2 関係団体に対する負担金・補助金
 - ・風連文化祭実行委員会 (200,000 円)
 - ・風連文化協会 (276,000 円)
 - ・風連御料太鼓保存会 (59,000 円)

III 家庭教育の推進

◆家庭と地域の教育力の向上

- 1 親子の絆を深める場の提供
 - 親子で参加できる自然体験教室等の実施
- 2 企業等へ家庭教育に関する支援
 - 風連地区企業へ「北海道家庭教育サポート企業制度」への加入を奨励

IV 生涯スポーツの振興

◆スポーツ施設の整備

スポーツ施設の整備と改修を計画的に行い、スポーツ活動を通じた交流、健康維持、増進を図る

- 1 維持管理
 - ・風連地区（市直営）
名寄市風連 B&G 海洋センター、名寄市風連農村環境改善センター、名寄市風連東地区運動広場テニスコート、名寄市風連東地区運動広場パークゴルフ場（3 コース）、名寄市営風連球場、名寄市風連スキー場、風連サンシャインホールなど
- 2 施設整備
 - ・B&G 海洋センター・アリーナの床ワックス塗布
 - ・サンシャインホールの床ワックス塗布
 - ・東地区運動広場簡易パークゴルフ場コース整備（黒土・芝種散布）
 - ・風連球場 内野黒土整備・外野芝整備
 - ・旧日進小学校 地下タンク廃止、地上タンク設置
 - ・スキー場 圧雪車の保守点検整備

◆スポーツ振興事業（5 スポーツ振興事業計画に記載）

生涯を通じて年齢や体力に応じたスポーツ活動を楽しみ、相互の交流、健康維持、増進の促進を図るため、スポーツクラブ「ポポ」等のスポーツ団体と共催した事業の実施。

- 1 各種スポーツ教室及び大会の支援
 - 各種スポーツ教室の開催及び各種スポーツ大会に支援、協力します
- 2 関係団体に対する補助金等
 - スポーツ団体の育成・支援及び関係団体の経費を負担します
 - ・風連町体育協会補助金 (900,000 円)
 - ・風連町スポーツ少年団補助金 (240,000 円)
 - ・風連スポーツクラブ「ポポ」補助金 (650,000 円)

・社会教育関係団体活動推進補助金(バス遠征助成)

3 学校開放事業の推進

学校体育施設の開放事業を推進し、身近で多くのスポーツ活動の場を提供します。

小学校（2校） 風連中央小学校、風連下多寄小学校、
（旧東風連小学校、旧日進小学校）

中学校（1校） 風連中学校（グラウンドのみ）

4 総合型地域スポーツクラブの拡大

風連スポーツクラブ「ポポ」の活動を支援・協力し、組織の拡大を促進します。

V 青少年の健全育成

◆青少年健全育成事業

1 少年の学習体験活動

都会っ子体験交流事業の推進

名寄市と東京都杉並区の異なる環境を持つ子ども達が共同生活の交流を通して、人間性にあふれ意欲に満ちた子ども達の育成を図る。

小学生（4年生～6年生）杉並区25名、名寄市 25名

名寄会場 7月28日～31日（3泊4日）・杉並会場 8月5日～8日（3泊4日）

2 関係団体に対する補助金等

・都会っ子体験交流実行委員会 （2,086,000円）



都会っ子交流会 2016.7.29 「JR 風連駅」にて
「ローカル線の旅に出発～」

4 名寄市智恵文公民館の事業計画

I 生涯学習機会の提供（主要施策）

◆文化活動拠点施設整備事業

【施設概要】

智恵文公民館（智恵文多目的研修センター）

- 1 所在地 名寄市字智恵文 11 線北 2 番地（TEL 01654-8-2101）
- 2 開設年月日 昭和55年1月1日
- 3 主要施設
 - ・大集会室 264.0 m²
 - ・調理実習室 46.2 m²
 - ・研修室（老人室） 50.7 m²
 - ・和室 43.5 m²
 - ・図書閲覧室
 - ・研修室 43.5 m²
- 4 利用案内
 - ・開館時間 午前9時～午後10時
 - ・休館日 毎月末日（ただし、その日が土・日曜日又は国民の休日にあたる時はその前日）
年末年始（12月30日～1月5日）

◆生涯学習プログラムの整備と学習への支援

1 情報提供と相談体制の整備

◇広報誌「ちえぶん」の発行による情報提供

- ・毎月の地域情報、保育所・小学校・中学校の行事等を掲載し、地域へ発信

2 学習要求に応える公民館活動

（1）友朋学級（高齢者学級）の開講

地域の65歳以上の希望者を対象に、手工芸・講話・軽運動・地域の小中学校との交流などの講座を開催

（2）分館事業の支援

智北・八幡・智南の各分館において、主に農閑期に料理教室・手芸教室・レクリエーション大会などを実施（智西分館は平成29年度休館）

3 世代間交流の促進

◇オセロ・餅つき大会の実施

12月下旬予定

- ・地域の小中学生と高齢者がふれあい、日本の伝統文化を体験

II 地域文化の継承と創造（主要施策）

◆文化振興事業

◇各種講座の開設と地域文化の学習機会の提供

- ・地域文化を学習できる機会の提供
- 講座の開設、企画展示の実施

Ⅲ 家庭教育の推進（主要施策）

◆家庭と地域の教育力の向上

◇ 親子の絆を深める場の提供

・親子書き初めの実施

1月初旬予定

作品は一定期間智恵文多目的研修センターに展示

◆関係機関・団体とのネットワークづくり

◇家庭、学校、地域、関係機関、団体との事業連携

・趣味の作品展示会の開催

2月初旬予定

「ちえぶん健康まつり」の共催として、友朋学級や地域住民サークルなどが制作した手芸・書道・写真などを展示

Ⅳ 生涯スポーツの振興（主要施策）

◆スポーツ振興事業

◇各種スポーツ大会の支援

・智恵文・名寄 歩くスキー交流会

2月中旬予定

Ⅴ 青少年の健全育成（主要施策）

◆青少年健全育成事業

◇子ども会活動の促進援助

・智恵文子ども会雪中運動会の共催

12月中旬予定

地域の小中学生が、雪中でのゲーム・スポーツを通して交流

5 スポーツ振興事業計画

◆生涯スポーツの振興

市民皆スポーツを目指し、生涯を通じて年齢や体力に応じたスポーツ活動を楽しみ、相互の交流を深め、健康の維持・増進が図られるようスポーツ施設の整備・改修や管理運営の充実に努めます。

スポーツ団体の育成、指導者の育成・確保、スポーツ教室・各種スポーツ大会の支援・充実などを体育協会、地域スポーツクラブと協力して進めるとともに、スポーツ情報の収集・提供に努めます。

1 スポーツ施設の整備

スポーツ施設の整備と改修を計画的に行い、スポーツ活動を通じた交流、健康維持・増進ができるよう施設の整備や効率的な利用の促進を図るとともに有効な利用方法を検討します。

(1) 維持管理

・名寄地区（指定管理者制度）

① 一般財団法人名寄市体育協会（8施設）

名寄市スポーツセンター、名寄市営球場、名寄市営サブ球場、名寄市テニスコート、名寄公園テニスコート、名寄市営南水泳プール、名寄市営智恵文水泳プール、名寄市B&G海洋センター、

② 株式会社名寄振興公社（2施設）

体育センターピヤシリ・フォレスト、名寄市ピヤシリシャンツェ

※名寄市北体育館は、競技団体（名寄弓道会）の自主管理運営

(2) 施設整備

① ピヤシリシャンツェリフト修繕関係

② 市営球場配管清掃

③ 名寄 B&G 幼児プールすべり台購入

④ スポーツセンタートレーニング機器購入

⑤ ピヤシリシャンツェ競技システム借上

⑥ クロスカントリー・NC競技システム借上

2 スポーツ振興事業

(1) 各種スポーツ大会の開催及び支援

スポーツ大会の開催及び各種スポーツ大会を支援、協力します。

① なよろ憲法記念ハーフマラソン大会（主催）／5月14日	1,560千円
② 高円宮賜杯第37回全日本学童軟式野球大会／7月15日～17日	250千円
③ サンプラー国体開催記念サマージャンプ大会／7月30日	585千円
④ 市民水泳大会／8月下旬	50千円
⑤ 名寄あかげらロードレース／9月中旬	90千円
⑥ 名寄ピヤシリジャンプ大会（共催）／12月中旬	855千円
⑦ クロスカントリー名寄大会／12月下旬	225千円
⑧ 第35回日本カーリング選手権大会／1月下旬	100千円
⑨ 市民スキーの日（主催）／2月下旬～3月上旬	840千円
⑩ ピヤシリカップカーリング大会／3月下旬	50千円
⑪ JOCジュニアオリンピックカップ2018全日本ジュニアスキー選手権 兼全日本中学生選抜スキー大会（ノルディック種目）／3月16日～19日	2,000千円

合計 6,605千円

(2) 関係団体に対する補助金等

スポーツ団体の育成・支援及び関係団体の経費を負担します。

① 名寄市体育協会ジュニア競技力強化事業補助金	1,500 千円
② 名寄市体育協会運営事業補助金	1,500 千円
③ プールパトロール補助金	250 千円
④ 市営スケートリンク設置負担金	1,900 千円
⑤ B & G体験スポーツ大会参加負担金	348 千円
⑥ 北海道B & G海洋センター連絡協議会負担金	40 千円
⑦ 上川北部広域スポーツクラブ負担金	50 千円
⑧ 上川管内スポーツ推進委員協議会負担金	59 千円
⑨ 北体育館施設管理負担金	656 千円
⑩ 合宿受入組織運営事業負担金	9,668 千円
合計	15,971 千円

(3) 学校開放事業の推進

学校体育施設の開放事業を推進し、多くのスポーツ活動の場を提供します。

- ① 名寄地区小学校（5校）：名寄小学校、名寄南小学校、名寄東小学校、名寄西小学校、智恵文小学校
- ② 名寄地区中学校（3校）：名寄中学校、名寄東中学校、智恵文中学校

(4) スポーツフェスティバル等の開催

スポーツフェスティバル等を開催し、新しいスポーツや軽スポーツなどの紹介・体験等を通じ、市民にスポーツ情報とスポーツに親しむ場を提供します。

(5) 総合型地域スポーツクラブの拡大

上川北部広域スポーツクラブ(中川町、音威子府村、美深町、名寄市、下川町5市町村H21.12.21設立)の活動を通じて、冬季スポーツにおける子どものタレント発掘・育成と交流を図ります。

(6) 指導者の育成強化

スポーツ推進委員や体育協会等と協力し、スポーツ人口の拡大を図るとともに、「冬季スポーツの拠点化」を目指し、指導者の育成・確保を図ります。

(7) スポーツ合宿の誘致、受け入れ

合宿受け入れ組織を設立し、円滑な受け入れ体制を整備するとともに、地域一体となった交流人口の拡大を図り、地域の活性化につなげます。

3 スポーツ教室

○平成29年度スポーツ教室開催事業計画

【名寄地区】

教室名	参加対象	募集人数	開催回数
水泳教室（長期）	一般	180名	18回
ヨガ教室（長期）	一般	470名	47回
スローエアロビック教室（長期）	一般	440名	44回
ズンバ教室（長期）	一般	450名	45回
ストレッチ教室（長期）	一般	420名	42回
夜間アクアビクス教室（長期）	一般	160名	16回
幼児水慣れ教室（短期）	幼児	60名	3回
キッズ水泳教室（短期）	幼児	60名	3回
ちびっ子運動教室（短期）	幼児	100名	5回
キッズ運動教室（短期）	幼児	100名	5回
合 計		2,440名	228回

【風連スポーツクラブ『ポポ』】

教室名	対 象	開設日数	募集人数
ジョギングファン教室	小学～一般	60名	3回
スイミングスクール	小学生～一般	60名	1シーズン
美人塾(エアビ・ヒップホップ・水中歩行・他9事業)	幼児～一般	200名	12回
ジュニア水泳教室	小学生	60名	3回
親子水遊び教室	親子・幼児	15組	3回
大雪山登山	小学生～一般	20名	1回
クロスカントリー大会	幼児～一般	50名	1回
体力テスト	小学生～一般	100名	1回
ジュニアトランポリン教室	小学生	60名	3回
ジュニアスキー教室	幼児～小学生	150名	3回
幼児基礎運動教室	親子・幼児	15組	3回
スキー場まつり	幼児～一般	60名	1回
合 計		880名	80回

○平成28年度スポーツ教室開催事業実績

【名寄地区】

教室名	開設時期	開催回数	受講延人数	指導者延数
ボクササイズ教室（長期）	6月6日～3月13日	32	118名	32名
アクアビクス教室（長期）	6月1日～9月28日	17	123名	17名
夜間アクアビクス教室（長期）	6月1日～9月28日	17	259名	17名
スローエアロビック教室（長期）	10月19日～3月15日	20	171名	20名
ストレッチ教室（長期）	6月3日～3月17日	36	295名	36名
ズンバ教室（長期）	6月2日～3月16日	37	382名	37名
ヨーガ教室（長期）	6月7日～3月14日	38	241名	38名
幼児水慣れ教室（短期）	6月21日～7月1日	4	64名	4名
幼児水泳教室（短期）	7月5日～7月15日	4	66名	4名
ちびっ子運動教室（短期）	10月17日～11月21日	5	166名	5名
合 計		210回	1,885名	210名

【風連スポーツクラブ『ポポ』】

教室名	開設時期	開催回数	受講延人数	指導者延数
美人塾(ルティックハイキング・他8事業)	6月～2月	14回	196名	14名
親子水あそび教室	7月24・31日、8月7日	3回	40名	6名
ジュニア水泳教室	7月23・24・30・31日	4回	105名	20名
スイミングスクール	6月2日～10月6日(火・木)	35回	1,240名	140名
大雪山登山	9月4日	1回	13名	1名
体力テスト	10月10日	1回	67名	10名
ジュニアトランポリン教室	11月12・19・26日、12月3日	4回	30名	10名
ジュニアスキー教室	12月23・24・25日	3回	196名	30名
幼児基礎運動教室	2月11・25日、3月11・18日	4回	42名	8名
合 計		66回	1,929名	239名

4 平成28年度学校開放事業

○平成28年度学校体育施設開放事業利用状況

【名寄地区】

学校名	利用日数（日）			利用者数（人）			利用平均（人/1日）	
	28年度	27年度	前年比	28年度	27年度	前年比	28年度	27年度
名寄小学校	240	215	112%	5,644	4,871	116%	23.5	22.7
名寄南小学校	260	239	109%	10,035	5,143	195%	38.6	21.5
名寄東小学校	226	244	93%	2,485	2,373	105%	11.0	9.7
名寄西小学校	279	283	99%	4,409	4,138	107%	15.8	14.6
豊西小学校	0	128	0%	0	1,360	0%	-	10.6
智慧文小学校	0	0	-	0	0	-	-	-
名寄中学校	221	233	95%	2,091	1,746	120%	9.5	7.5
名寄東中学校	282	285	99%	6,490	5,702	114%	23.0	20.0
智慧文中学校	0	0	0%	0	0	0%	-	-
合計	1,508	1,627	93%	31,154	25,333	123%	20.7	15.6

【風連地区】

学校名	利用日数			利用人数			平均利用人数	
	28年度	27年度	前年比	28年度	27年度	前年比	28年度	27年度
風連中央小学校	236	233	101%	3,241	3,097	105%	13.7	13.3
風連下多寄小学校	9	4	225%	57	29	197%	6.3	7.3
東風連小学校	88	87	101%	1,008	762	132%	11.5	8.8
風連日進小学校	181	148	122%	1,833	1,442	127%	10.1	9.7
合計	514	472	109%	6,139	5,330	115%	11.9	11.3

5 平成29年度各種大会開催予定

(1) 名寄市（教育委員会）が主催・主管する大会

大会名	主催・主管 競技団体名	参加 予定数	開催 時期	会場
第65回なよろ憲法記念 ハーフマラソン大会	名寄市・名寄市教育委員会 道北陸上競技協会	800人	5月	なよろ健康の森 陸上競技場
第6回市民スキーの日	名寄市・名寄市教育委員会	250人	2月	ピヤシリスキー場

(2) 名寄市（教育委員会）と競技団体が共催する大会

大会名	主催・主管 競技団体名	参加 予定数	開催 時期	会場
第48回名寄ピヤシリ ジャンプ大会	名寄地方スキー連盟 北海道新聞社	120人	12月	ピヤシリシャンツェ
JOCジュニアオリンピックカップ2018 全日本ジュニアスキー選手権大会	全日本スキー連盟	800人	3月	ピヤシリシャンツェ なよろ健康の森

(3) 関係競技団体が主催・主管する大会

大会名	主催・主管 競技団体名	参加 予定数	開催 時期	会場
高田宮賜杯 第37回全日本学童軟式野球大会	北海道軟式野球連盟	250人	7月	名寄市営球場
サンピラー国体記念 第15回サマージャンプ大会	名寄地方スキー連盟	120人	7月	ピヤシリシャンツェ
平成29年度市民水泳大会	名寄水泳協会	80人	9月	市営南水泳プール
第33回あかげらロードレース	道北陸上競技協会名寄支部	120人	9月	なよろ健康の森 陸上競技場
第23回クロスカントリー 名寄大会	名寄地方スキー連盟	430人	12月	なよろ健康の森
第35回日本カーリング 選手権大会	名寄カーリング協会	100人	1月	サンピラー交流館 カーリングホール
第30回ピヤシリカップ カーリング大会	名寄カーリング協会	80人	3月	サンピラー交流館 カーリングホール

(4) 風連スポーツクラブ「ポポ」・スポーツ団体が主催する大会等

大会名	前 年 度 参 加 者 数	開催月	会場
ノルディックハイキング	16名	6月4日	風連駅前～日向温泉
水泳大会	初事業	9月3日	風連B&Gプール
クロスカントリー大会	37名	9月10日	風連緑町公園
スキー場まつり	50名	2月25日	風連スキー場(ski協会)

6 市内体育施設

1 名寄市スポーツセンター

(1) 所在地 名寄市西7条南12丁目55番地134 (TEL 3-6627・3-6628 FAX 3-8671)

(2) 開設年月日 昭和50年4月1日
(平成5年増築)

(3) 主要施設 敷地面積 17,270 m²
建物 4,297.95 m²
鉄筋コンクリート一部鉄骨造り2階建
1階 3,234.52 m² 2階 1,063.43 m²

アリーナ 1,484.40 m² (42m×35m)

第1体育室 237.60 m² ロビー 264.30 m²

幼児体育室 91.20 m² 第2体育室 511.20 m²

研修室 70.40 m² シャワー更衣室 76.16 m²

事務室 73.41 m²

観覧席 (固定席 300人、立見席 300人、移動席 2,300人)

駐車場 350台 (172m×55m)

(4) スポーツ設備

バスケットボール 2面 バドミントンコート 10面

バレーボール (9人制) 2面 卓球コート 20台

〃 (6人制) 3面 テニスコート 2面

柔道 50畳×2面 トランポリン等体操用具 1式

体力測定器具 各種 トレーニング器具 各種

(5) 利用案内

開館時間 日曜日及び国民の祝日 午前9時～午後5時

上記以外の日 午前9時～午後9時

休館日 ①年末年始 (12月30日～1月5日)

②毎月末日 (但し、末日が土曜日・休日にあたる月は、その直近の日)

利用料 個人使用の時間帯区分を

午前 (9:00～12:30)

午後 (13:30～17:00)

夜間 (18:00～21:00)

の3段階とし、使用料を徴する。

2 その他施設

(1) 名寄地区

施設名	所在地	開設年月日	構造及び規模	施設設備の概要	開設期間
名寄市北体育館	東1条 北6丁目	H元. 4. 1	木造モルタル一部2階建 1階 583.20㎡ 2階 87.48㎡ 670.68㎡	弓道場、研修室 更衣室、管理室	名寄弓道会 自主管理
名寄市B&G 海洋センター	西4条 北8丁目	H 2. 5. 31	上屋シート、夜間照明 プール（ステンレス製） 6コース 25m×13m 幼児用 10m×6m	事務室、医務室 更衣室、シャワー トイレ、機械室、 薬品室	5月中旬～ 10月下旬 有料
名寄市営 南水泳プール	西7条 南12丁目	S48. 8. 14 H19. 5. 19 (改修)	鉄筋コンクリート造 FRP製 6コース 25m×13m 幼児用 13m×4.5m	循環装置、更衣室 シャワー、事務室 ミーティングルーム 機械室、トイレ 照明施設、駐車場	5月中旬～ 10月下旬 有料
名寄市営 智恵水文泳プール	智恵文 11線 北2番地	S51. 10. 1 H 5. 6. 30 (改修) H24. 5. 15 (シート改修)	鉄筋コンクリート造 鋼鉄製上屋シート付 ビニールシート張 5コース 25m×11m (1コース幼児用)	管理棟、循環装置 更衣室、シャワー 管理人室、機械室 トイレ 照明施設 2基	6月中旬～ 9月下旬 有料
名寄市営球場	東2条 南11丁目	S42. 7. 1 S55. 11. 30 (改修) H 7. 11. 16 (改修)	敷地面積 17,216㎡ レフト・ライト 90m センター 110m メインスタンド 200人 内野スタンド 300人 外野芝生席 4,500人	バックネット 1基 ダッグアウト2カ所 スコアボード 1基 用具室 2カ所 役員室 1カ所 管理棟 1棟	5月上旬～ 10月下旬 有料
名寄市営サブ球場	緑丘	S50. 10. 1 S56. 11. 1 (改修)	敷地面積 13,200㎡ レフト・ライト 90m センター 110m	用具庫 1カ所	5月上旬～ 10月下旬
名寄公園 テニスコート	緑丘	S43. 11. 1 H 5. 9. 20 (改修)	グリーンサンドコート 2面	用具室、トイレ	5月上旬～ 11月上旬 有料
名寄市 テニスコート	西7条 南12丁目	S54. 10. 31 H16. 9. 1 H24. (改修)	グリーンサンドコート 4面 オムニコート 4面	管理棟、更衣室 トイレ 夜間照明施設 (H 3. 8. 15)	
ゲートボール場	西7条 南12丁目	H 2. 6. 28 H 8. (増設)	コート 18m×70m 6面		4月下旬～ 10月下旬
土俵	西7条 南12丁目	H 3. 8. 4	入母屋造り、銅板葺き		
カーリングリンク	日進 サピラー 交流館内	H18. 11. 11	シート 5面		11月上旬～ 3月下旬

施設名	所在地	開設年月日	構造及び規模	施設設備の概要	開設期間
名寄 ピヤシリスキー場 S63. 6. 24 FIS公認 2コース SAJ公認 2コース	日進	S48. 12. 29	面積 67.05ha 駐車場 1,000台収容 最高斜度 35度 平均斜度 18.3度 全長 2,000m	第1リフト 696m 第2リフト 406m 第3リフト 442m ロマスリフト 1,395m ロッジ 116人収容	12月上旬～ 4月上旬
体育センターピヤシ リ・フォレスト	日進	H 4. 2. 28	体育館 722㎡ 研修センター 558.54㎡ 水処理施設 59.4㎡	事務室、会議室 パトロール詰所 トレーニング室	有料
名寄市 ピヤシリシャンツェ ノーマルヒル K90 SAJ公認	日進91・ 97林班	H14. 10. 1	鉄筋コンクリート構造 アプローチ直線 斜度35度 ランディングバーン 最高斜度36.5度	ジャッジハウス 2 スノーメイキング システム 夏冬兼用シングル リフト 224m (H5. 11. 24) 管理棟、トイレ	夏期間 4月下旬～ 10月上旬 冬期間 12月上旬～ 3月末日
名寄市 ピヤシリシャンツェ ミディアムヒル K65 SAJ公認	日進91・ 97林班	H 6. 11. 30	施設総面積 32,444ha 鉄筋コンクリート構造 アプローチ直線 斜度30度 ランディングバーン 最高斜度35.5度 全長 212.5m アプローチ 62.0m ランディングバーン 114.8m アップヒル 52.8m	サマー設備 機械室 1棟 パイプライン 268m バイオトイレ 1棟	
名寄市営 スケートリンク	西13条 南4丁目	S46. 12. 1	スピードリンク 1周250m、幅10m	管理棟(事務室) 休憩室、夜間照明	12月下旬～ 2月中旬
天塩川緑地	天塩川 左岸 天塩川 右岸	S57、S58 S56、S61 S60、S61 H元 S63 S63 H14	野球場(A・B) 2面 サッカー場、ラグビー場 ソフトボール場 4面 グランドゴルフ場18ホール サイクリングロード2.2km ヘルスビートコース パークゴルフ場 18ホール		5月上旬～ 10月下旬
名寄川緑地	名寄川 左岸	S62 H 6	ゲートボールコート 2面 パークゴルフ場 18ホール		5月上旬～ 10月下旬
陸上競技場	日進 なよろ 健康の森	H 8. 5. 26	1周400mクレートラック	管理棟(事務室)	5月上旬～ 10月下旬
えんれい パークゴルフ場 NPGA公認	日進 なよろ 健康の森	H 8. 5. 24	18ホール 1.9ha		5月上旬～ 10月下旬
あかげら パークゴルフ場 NPGA公認	日進 なよろ 健康の森	H12. 5. 16	18ホール 1.9ha		有料
名寄公園 パークゴルフ場	緑丘17線	H14. 6. 8	18ホール 1.1ha	管理棟、トイレ 駐車場 35台 駐輪場 20台	

(2) 風連地区

施設名	所在地	開設年月日	構造及び規模	施設設備の概要	開設期間
名寄市風連スキー場	風連町 字西風連	S45 H09 H25	面積 77,146㎡ 最大斜度 17度 平均斜度 11度 照明設備	ヒュッテ ミニリフト 300m コン柱5基、26灯 ミニリフトモーター 交換	12月中旬 ～ 3月上旬
名寄市宮風連球場	風連町 字中央	S54 H11	球場面積 12,451㎡ レフト・ライト 90m センター 110m 収容人数 2,000人 外野芝張替・トイレ改修	バックネット1基 ダッグアウト2ヶ所 スコアボード1基 用具室4ヶ所 役員室1ヶ所 トイレ1ヶ所	5月上旬 ～ 10月下旬
名寄市風連東地区運動広場テニスコート	風連町 新生町	S62	ハードコート 4面	夜間照明施設 用具室	5月上旬 ～ 10月下旬
名寄市風連東地区運動広場パークゴルフ場	風連町 新生町	H13	9ホール 1.4ha		5月上旬 ～
名寄市風連東地区運動広場簡易パークゴルフ場	風連町 新生町	H11 H22 H24	18ホール 9ホール芝生化・散水設備設置 9ホール芝生化		10月下旬
名寄市風連B&G海洋センター	風連町 新生町	H元 H10 H14 H16	第1体育館 726.15㎡ 第2体育館 456.30㎡ プール 6コース 幼児用プール 69㎡ プール循環水加温設備・保温シェルター設置 上屋シート・照明更新 ろ過器ろ過材交換 69㎡	駐車場80台収容	
名寄市風連農村環境改善センター	風連町 新生町	S59	多目的ホール 382.90㎡		
海洋クラブ艇庫	風連町 字池の上	H2	カヌー 7艇 ペアカヌー 2艇 ローボート 2艇 ヨット 4艇		
名寄市風連サンシャインホール	風連町 字旭	H5	アリーナ 441.98㎡		

7 名寄市児童センター

市民のこころ豊かな人づくりを目的に、名寄市児童センター及び風連児童会館は、児童が放課後等、遊びやスポーツに親しみ、各行事や体験活動を通して健康を増進し、情操を豊かにする自由来館型の安全で安心な居場所として設置しています。

児童センターでは、季節の行事をはじめボランティアによる「読み聞かせ」や「一輪車教室」など各種企画行事内容の充実を図るとともに、施設機能を生かした遊びの場として利用増進を図っています。

風連児童会館では、遊びの充実や健康増進を目指すとともに、併館の図書館分館を活用した行事や特色ある企画行事の活動を風連児童クラブと連携し推進しています。

また、放課後児童対策として、保護者が就労等によって昼間家庭が留守になる環境にある児童の健全育成と子どもたちの安全安心な居場所を確保するため、名寄市南児童クラブ・東児童クラブ及び風連児童クラブを設置しています。

1 平成29年度基本目標

設置されている機関相互の特性を生かして、学校及び地域との連携を強化し、青少年の健全育成及び子育て支援として子育て親子の利用を促進し、社会教育施設としての充実と利用しやすい環境の醸成に努めます。

2 平成29年度運営方針

児童センター・児童会館は、幼児（保護者同伴）・児童生徒が遊びやスポーツ、各種行事や体験活動を通して心身の健康を増進し、情操を豊かにする安全な居場所となるよう努めます。

児童クラブは、保護者が就労等により、昼間家庭が留守となる環境にある小学児童の健全育成と安全な生活の場を確保し、保護者の仕事と子育ての両立を支援していきます。

3 平成29年度事業計画

児童センター	風連児童会館	南児童クラブ	東児童クラブ	風連児童クラブ
◎毎月の行事 本の読み聞かせ 工作教室 けん玉教室・検定 ほっとタイム (MD鑑賞) ◎季節の行事 進級おめでとう会 公園で遊ぼう 母の日プレゼント作り 一輪車教室 父の日プレゼント作り 七夕まつり 児童センターミニ運動会 児童センターまつり バス遠足 ハロウィン・秋の工作 児童将棋大会 おもちつき会 クリスマス会 まめまき 冬を楽しもう ひなまつり 表奏式・お楽しみ会	◎毎月の行事 みるぶっく(読書・読み聞かせ) せ なわとび検定 キャンディ (MD鑑賞) ◎季節の行事 歓迎会 工作教室 レクリエーション 七夕まつり 児童会館まつり バス遠足 クリスマス会 新年お楽しみ会 冬の講話会 豆まきのついで おひなまつり会 お別れ会	◎毎月の行事 折り紙教室・工作教室 絵本読み聞かせ 将棋教室 一輪車チャレンジ お誕生会 ◎季節の行事 新入生歓迎会 一輪車講習会 こどもの日お祝い会 社会見学 (北国博物館) 母の日プレゼント作り 父の日プレゼント作り 七夕会・水遊び 世世代代体験 バス遠足 秋の味覚祭り 勤労感謝のプレゼント作り クリスマス会 習字体験 節分行事 ひなまつり会 卒業・進級を祝う会	◎毎月の行事 折り紙教室・工作教室 絵本読み聞かせ 百人一首教室 けん玉検定 お誕生会 ◎季節の行事 新入生歓迎会 子どもの日工作 母の日プレゼント作り 父の日プレゼント作り ミニ運動会 環境整備 バス遠足 お楽しみ会 ハロウィンお楽しみ会 勤労感謝のプレゼント作り クリスマス会 雪中レク 習字体験 節分行事 ひなまつり 卒業・進級お祝い会	◎児童会館の各種行事と一緒に関連して行う ◎毎月の行事 お誕生日会 読み聞かせ ◎季節の行事 クラブ工作教室 バス遠足 野外活動 陶芸教室 文化祭作品展作品クラブ工作

4 施設概要

【児童センター (愛称「ほっと21」)】

(1) 所在地 名寄市西11条北2丁目12番地54 (TEL・FAX:01654-3-3465)

(2) 開設年月日 平成23年3月27日

経緯 ・旧青少年会館 昭和43年1月5日 ・旧児童センター 平成4年4月20日
 ・旧働く婦人の家 昭和48年1月20日 ・旧女性児童センター 平成16年4月1日
 ・両施設を廊下で結合 昭和52年8月 ※ (旧青少年会館一部解体平成23年8月10日)

(3) 主要施設 延床面積 915.24㎡

・1階	589.21㎡	・2階	326.03㎡
児童室(集会室)	32.2㎡	相談室	33.6㎡
図書室	46.2㎡	適心指導教室	33.6㎡
調理室	50.4㎡	適心指導教室(和室)	67.2㎡
ホール	84.62㎡	会議室	32.2㎡
体育室	236.52㎡	講習室	67.2㎡
事務室	50.4㎡	2階廊下他	92.23㎡
1階用具庫・トイレ他	88.87㎡		

(4) 利用案内

・開館時間 午前9時～午後5時

・休館日 日曜日・国民の祝日・年末年始(12月31日～1月5日)

(5) 利用状況

◎児童センター 一般利用状況

年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
開設日数(日)	294	294	293	294
延べ人数(人)	3,426	3,005	10,641	15,047

◎児童センター 放課後児童利用状況

年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
開設日数(日)	294	294	293	294
延べ人数(人)	5,099	3,574	4,265	4,684

【風連児童会館】

(1) 所在地 名寄市風連町南町84番地1

(2) 開設年月日 昭和50年12月1日

(3) 主要施設 延床面積 899.40㎡

・児童室 47.00㎡ ・プレイルーム 144.00㎡
 ・資料室 30.50㎡ ・事務室 30.00㎡
 ・1階用具庫・トイレ他 269.58㎡
 ・図書館風連分館 (1階) 155.52㎡ (2階) 222.8㎡

(4) 利用案内

{ ・開館時間(児童会館) 午前9時～午後5時
 ・休館日 日曜日・国民の祝日・年末年始(12月30日～1月5日)
 ・開館時間(図書館風連分館) 午前9時30分～午後5時(平日)、午前9時30分～午後4時(土曜日)
 ・休館日 日曜日・国民の祝日・毎月末日・年末年始(12月30日～1月5日)・特別整理日

(5) 利用状況

◎風連児童会館 放課後児童利用状況

年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
開設日数(日)	293	294	294	294
延べ人数(人)	12,660	10,096	9,223	9,481

【南児童クラブ】

(1) 所在地 名寄市西6条南12丁目55番地2(名寄市立名寄南小学校敷地内)

(2) 開設年月日 平成10年4月1日

(改築年月日) 平成28年4月1日

(3) 主要施設 延床面積 307.22 m²

- ・児童室(プレイルーム) 191.291 m²
- ・図書室 16.562 m²
- ・静養室 4.969 m²
- ・ホール 23.187 m²
- ・事務室 26.499 m²
- ・1階用具庫・トイレ他 44.712 m²

(4) 利用案内

- ・開館時間 平日 下校時～午後6時30分
土曜日・長期休業日 午前8時00分～午後6時30分
- ・休館日 日曜日・国民の祝日・年末年始(12月30日～1月5日)

(5) 利用状況

◎南児童クラブ(1年生) ※平成27年度まで1・2年生

年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
開設日数(日)	293	294	294	294
延べ人数(人)	7,205	8,519	10,637	9,579

◎南児童クラブ(2・3年生) ※平成27年度まで3～6年生

年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
開設日数(日)	293	294	294	294
延べ人数(人)	7,040	5,520	3,382	4,775

◎南児童クラブ(4・5・6年生)

年度	平成28年度
開設日数(日)	293
延べ人数(人)	3,592

【東児童クラブ】

(1) 所在地 名寄市東5条南3丁目63番地40

(2) 開設年月日 平成28年12月1日

(3) 主要施設 延床面積 115.83 m²

- ・1階 76.95 m²
- 児童室 54.27 m²
- トイレ他 22.68 m²
- ・2階(図書室) 38.88 m²

(4) 利用案内

- ・開館時間 平日 下校時～午後6時30分
土曜日・長期休業日 午前8時00分～午後6時30分
- ・休館日 日曜日・国民の祝日・年末年始(12月30日～1月5日)

(5) 利用状況

◎東児童クラブ

年度	平成28年度(12月～3月)
開設日数(日)	95
延べ人数(人)	1,574

【風連児童クラブ】

(1) 所在地 名寄市風連町南町 85 番地 2

(2) 開設年月日 平成 10 年 4 月 1 日

(改築年月日) 平成 23 年 1 月 21 日

(3) 主要施設 延床面積 142.80 m²

・児童室 46 m²

・遊戯室 46 m²

・トイレ他 50.8 m²

(4) 利用案内

・開館時間 平日 下校時～午後 6 時 30 分

土曜日・長期休業日 午前 8 時 00 分～午後 6 時 30 分

・休館日 日曜日・国民の祝日・年末年始 (12 月 30 日～1 月 5 日)

(5) 利用状況

◎風連児童クラブ

年 度	平成 28 年度	平成 27 年度	平成 26 年度	平成 25 年度
開設日数 (日)	2 9 3	2 9 4	2 9 4	2 9 4
延べ人数 (人)	9, 2 5 6	7, 5 0 5	6, 9 8 5	4, 7 7 5

5 放課後子ども教室

放課後等に、社会教育施設等を活用し、子どもたちの安全、安心な居場所となる活動拠点を設け、勉強やスポーツ、文化活動、地域住民との交流活動等の取組を実施することにより、自ら学ぶ姿勢を高め学習習慣の定着を図っています。

・平成 28 年度利用者数 (実人員)

名寄市児童センター教室 (毎週水曜日)・・・小学生 20 人

ふうれん地域交流センター教室 (毎週木曜日)・・・小学生 17 人

名寄市民文化センター教室 (毎週火曜日)・・・中学生 6 人

ふうれん地域交流センター教室 (毎週木曜日)・・・中学生 2 人

8 名寄市青少年センター（名寄市児童センター内）

1 平成 29 年度活動方針

名寄市内の青少年の健全育成を目指し、日常的には巡視・指導活動を通して子どもの理解と非行の未然防止に努めます。各学校・警察署・青少年健全育成諸団体と連携を図り、地域住民の協力を得ながら見守り、声かけを組織的・計画的に推進していきます。

2 平成 29 年度活動内容

- ① 指導及び巡視（一般巡視、夜間巡視、特別巡視、下校時に合わせた指導巡視）
- ② 広報活動と地域活動の推進（青少年健全育成標語の募集等、各校安心会議の参加）
- ③ 環境浄化運動（有害環境にかかる市内店舗立入調査・監視）
- ④ 指導員研修会の開催（情報交換等）、他機関の研修会への参加
- ⑤ 青少年表彰（市内在住の青少年で、顕著な功績があった団体、個人を表彰する）

3 平成 29 年度事業計画

月	事業	月	事業
4月	・一般巡視	10月	・一般巡視 ・青少年健全育成標語募集(小・中・高等学校)
5月	・一般巡視, ・名寄市青少年問題協議会	11月	・一般巡視 ・全国青少年健全育成強調月間に連動した活動 ・青少年健全育成標語選考委員会 ・青少年健全育成標語入選者表彰式、標語ポスター配布掲示
6月	・一般巡視 ・公園点検 ・名寄市青少年センター指導員研修会		
7月	・一般巡視 ・青少年表彰推薦依頼(高校・大学・企業団体) ・北海道青少年健全育成条例に基づく立入調査 ・社会を明るくする運動(キャラバン隊参加)	12月	・一般巡視
		1月	・一般巡視 ・冬休み特別巡視
8月	・一般巡視 ・夏休み特別巡視(名寄・風連地区祭典会場)	2月	・一般巡視 ・名寄市青少年問題協議会
9月	・一般巡視 ・青少年表彰選考委員会 ・青少年表彰式	3月	・一般巡視

9 名寄市教育相談センター（名寄市児童センター内）

名寄市教育相談センターは、教育上の諸問題に対する指導、助言等を行うために設置しています。電話等により児童生徒やその保護者の相談に対応する「ハートダイヤル」の運営や、不登校及びその傾向にある児童生徒に関して支援する「適応指導教室」を開設しています。

平成 23 年度からは、教育推進アドバイザー 1 名を配置して学校生活における問題への対応と教職員並びに関係機関との連携を図っています。

また、定期的（毎月第 2・第 4 木曜日）にセンターの夜間開放を行い、軽スポーツ・調理実習・季節の行事などでひきこもりの解消や日中の相談が困難な方に対応しています。

1 適応指導教室

不登校となった児童生徒に対し、適応指導教室への通室などにより、学校復帰や自立支援に向け、学習や多くの体験活動等の支援や指導を行っています。適応指導教室への通室は、学校への出席としてみなされます。

平成 28 年度入室者数（実人員）

小学生	中学生	合計
0 人	3 人	3 人

2 ハートダイヤル

「ハートダイヤル」は、いじめ・ひきこもり・不登校・落ち込み・イライラなど子供たちや保護者の多様化する悩みに対し、電話相談・面談を通して、その悩む心を和らげ自立する心を育むため開設しています。

【電話・面談集計詳細表】

（平成 28 年度末）

	相 談 者									相 談 区 分												合 計		
	保 護 者	小 学 生	中 学 生	高 校 生		一 般			合 計	不 登 校	復 帰 後			い じ め	学 業 ・ 進 路 問 題	親 子 関 係 （ 家 庭 環 境 ）	性 に か か わ る 問 題 （ 含 む 異 性 関 係 ）	生 活 一 般	学 校 の 対 応 （ 含 教 師 関 係 ）	健 康 問 題 ・ 発 達 障 が い	友 人 関 係		育 児 ・ 子 育 て ・ し つ け	そ の 他
在 学 中	他	学 校 関 係 者	関 連 機 関 職 員 等	そ の 他	学 習 支 援	気 力 回 復 ・ 気 分 転 換	家 族 支 援	学 習 支 援			学 習 支 援	学 習 支 援	学 習 支 援											
電 話	17	1	1	0	0	0	0	56	75	6	0	0	0	1	1	3	2	47	5	7	0	3	0	75
面 談	27	8	36	7	0	0	0	42	120	55	1	3	1	0	1	2	0	0	1	8	2	0	1	108
合 計	44	9	37	7	0	0	0	98	195	61	1	3	1	1	2	5	2	47	6	15	2	3	1	183

この他に電話・面談以外の相談活動や学校・家庭訪問等の活動が 102 件

3 教育推進アドバイザー

- (1) いじめ・不登校・非行事項等に係わる情報の共有に関すること
- (2) 必要に応じた教職員等の面談やケース検討会議のコーディネート、学校への定期的訪問に関すること
- (3) 家庭や地域との連携～必要に応じた訪問や相談等に関すること
- (4) 教職員並びに関係機関との連携に関すること

10 名寄市北国博物館

名寄市北国博物館は、北海道の北部に位置し、寒冷・多雪な冬と年間の気温差が60度を超える寒暖差がある名寄市の自然と歴史に学び、その知恵を発展させて今後の暮らしに生かしていく拠点として設置されました。厳しい自然の中で育まれてきた先人の知恵を体験しながら、学び傳承するとともに、マイナスイメージの強かった「北国」のイメージを楽しみや親しむ心を持って、プラス志向で新しい北国文化を創造していくことを運営の指針としています。

1 平成29年度重点目標

○博物館活動を通じた情報発信と地域に開かれた交流施設となる事業の推進

- ①「名寄の歴史、自然」をテーマとした普及事業を実施し、地域の理解をより深める。
- ②自然とのふれあいや体験活動、子ども同士や親子の交流を目的とした青少年事業の実施
- ③文化財や史跡の保全と普及啓発に関する事業の実施。

月	展示会	観察会	その他
4	「及川幸雄・中田豪之助二人展」		GW企画「博物館で遊ぼう」
5	「野外植物展」 「空のハンター」	・早春の森観察（観察クラブ） ・エンレイソウ観察会	
6	北国風景画同好会 「風花」15周年記念作品展	・空のハンター観察会 ・黒曜石さがし（観察クラブ）	
7	特別展「宗谷本線 ～名寄と歩んだ1世紀～」	・川遊び魚釣り（観察クラブ）	
8		・夏休み体験講座「コウモリ観察会」 ・夏休み体験講座 「ウチダザリガニバスターズ」	・南相馬夏季林間学校自然体験事業 ・天塩川流域史講座（全6回）
9	企画展「きのこ」	・たき火でバウムクーヘン作り（観察クラブ）	・アイヌ文化体験講座
10	企画展「松浦武四郎天塩川 踏査160年記念展」	・野外料理（観察クラブ） ・武四郎の足跡をたどる	
11	企画展「アイヌの山野草」	・スノードーム、マガジン作り（観察クラブ）	
12	企画展「なつかしの建物・街並み」	・もちつき（観察クラブ）	・杉並区・名寄自然体験交流
1	特別展 「名寄ゆかりの五輪選手と	・森のたんけん隊 2018冬 ・冬休み体験教室	・冬の室内遊び展
2	国体メモリアル展」		・雪あかりコンサート2018
3	ひな人形展／棚橋教室作品展 平成29年度新着資料展	・体験教室「雪と遊ぼう」	

3 常設展示内容（面積：570㎡）

<テーマ>

北海道の北部に位置し、多雪・寒冷そして明瞭な四季の変化のある「名寄」で繰り広げられてきた自然と歴史について学び、未来へその知恵を継承発展させる。

- 北国名寄・・・どうして多雪・寒冷なのか
- 北の先史・・・氷河期後の人間の暮らし
- カムイの森・・・冬の森を通してみたアイヌの自然感と文化
- さむさ・ひと・くらし・・・生活資料からたどる雪・寒さとの関わりあいの歴史
- 映像コーナー・・・3面マルチスクリーンによる上映
 - 「北交響」～北国名寄の四季の移ろい
 - 「北国・名寄の歴史」～開拓期から現代まで
 - 名寄市の花・鳥・木や指定文化財を紹介する情報検索など
- 郷土コーナー・・・国指定天然記念物「鈴石」「高師小僧」
アイヌの伝承者「北風磯吉」
名寄が生んだ名力士「名寄岩」
アイヌ文化の景勝地 名勝「九度山」

4 資料保有数

24年度末保有数	4,307	2,781	84,238	526	10,447	12,529	7,184	122,012
25年度末保有数	4,338	2,786	84,269	528	11,117	12,663	7,191	122,892
26年度末保有数	4,412	2,787	84,269	529	11,570	12,928	7,245	123,740
27年度末保有数	4,418	2,790	84,300	529	11,847	13,021	7,290	124,195
28年度末保有数	5,482	2,790	84,300	531	11,876	13,037	7,300	125,316

5 北国博物館施設概要

(1) 所在地 名寄市字緑丘 222 番地 (TEL 兼 FAX 3-2575)

(2) 開館年月日 平成 8 年 2 月 10 日

(3) 主要施設

延床面積 2,099 ㎡ (1 階 1,655 ㎡・2 階 444 ㎡)

1 階

エントランスホール	114㎡
ギャラリーホール	154㎡
第 1 収蔵庫	60㎡
第 2 収蔵庫	177㎡
常設展示室	570㎡

2 階

地域情報室	72㎡
講堂	107㎡
書庫	42㎡
研究室	130㎡

6 利用案内

開館時間 午前 9 時～午後 5 時

休館日 毎週月曜日・年末年始

観覧料

常設展	区分	小中学生	高校生以上	特別展	区分	小中学生	高校生以上
	個人	無料	200円		個人	その都度市長が定める額	
	団体		103円		団体		

※ 団体は 10 名以上

7 資料受入状況

年 度	寄 贈		採 集		収 集 (購入)		計 (点数)
	件 数	点 数	件 数	点 数	件 数	点 数	
24	26	160	0	0	0	0	160
25	40	878	0	0	0	0	878
26	48	848	0	0	0	0	848
27	33	455	0	0	0	0	455
28	19	1,121	0	0	0	0	1,121

8 施設利用状況

年度	個 人			団 体			行事、他	利用者
	幼小中	高校・ 一般	免 除	団 体	見学学 校等	視 察	人数	総 計
24	854	1,492	352	181	616	90	8,636	12,221
25	685	1,373	265	195	630	136	8,376	11,660
26	529	1,545	689	72	711	134	10,379	14,059
27	620	1,634	1,200	300	900	148	7,713	12,515
28	725	1,851	365	186	730	57	7,329	11,243

9 文化財一覧

(1) 国指定文化財

名称	所在地	指定面積	指定年月日	説明
天然記念物 名寄鈴石	緑丘109-4	40a	昭和14年 9月7日	核となる粘土などに鉄分が殻のように巻き付いてできた褐鉄鉱の一種。拳ほどの大きさで、振ると音がするので「鈴石」と呼ばれる。
天然記念物 名寄高師小僧	瑞穂	23a	昭和14年 9月7日	湿地に生育する植物の根などに鉄分が巻き付いてできた沼鉄鉱の一種。管状の形が多い。愛知県豊橋市高師ヶ原に多産。
名勝 九度山 (クツノツクリ)	日進・ 智恵文	522a	平成21年 7月23日	アイヌの人たちに祈りの山として伝承され、現在も市民に親しまれるアイヌ文化の景勝地。

(2) 市指定文化財

指定番号	名称	種別	所在地	指定年月日
第1号	風連獅子舞	無形文化財	瑞生下多寄神社	平成18年3月27日
説明	下多寄地区は明治36年頃より富山県からの移住者が多い。その関係で富山県東砺波郡井波町から獅子舞一式を持ち帰り、明治41年8月に神社創建新築落成を記念して奉納された。現在も「風連獅子舞保存会」により郷土芸能として受け継がれている。			
指定番号	名称	種別	所在地	指定年月日
第2号	グイマツ	天然記念物	東風連3395番地	平成18年3月27日
説明	大正2年頃、東風連の神野熊十郎が敷地内に植樹していたもので、大正9年水田への転換を記念して十数本を東風連小学校に寄贈した。うち1本が昭和8年の校舎改築記念樹として北玄関前に移植され大きく生育している。			

指定番号	名称	種別	所在地	指定年月日
第3号	名寄教会会堂	有形文化財	大通南2丁目	平成18年3月27日
説明	明治42年に建てられた現存する市内最古の洋風建築物である。会堂の建築は、小北木工場を運営していた小北・西田家をはじめとするキリスト教信徒の寄付が支えとなった。建物正面の直線的な切妻破風と上部が丸い縦長窓が、洋風の印象を与えている。内部の長椅子は材を丸ごと利用している。			
指定番号	名称	種別	所在地	指定年月日
第4号	ミズナラ林	記念物	名寄公園	平成18年3月27日
説明	名寄公園を中心としたミズナラ林は、周辺を含め約10haにわたり1200本あまりが生育する。平均直径は約50cmで、樹齢は100年～150年と推定され、ほぼ純林的な林相をなしている。			

名寄市風連歴史民俗資料館

1 常設展示内容

<テーマ>

北限の農業 ～未開の大地と寒冷地農業への挑戦～
天塩とフーレベツの流れのなかで

1 階

- エントランス・ロビーには樹齢400年以上のイタヤカエデの巨木（高さ16m太さ3m重さ6トン）が展示してあります。
- 一階展示室には風連の自然と人・古代の生活・未開の大地と寒冷地農業への挑戦・ふえる人口と町の発展・学校と子どもたち・便利になった毎日・今風連は、と7つのテーマがあり、各テーマにあった展示がされております。その他に風連獅子舞などの展示コーナーがあります。

2 階

- 収蔵展示室には昔のくらしを家の内・外観など昔の色々なものを展示しています。

2 入館者数

区分	開設日	小学生	中学生	高校生	一般	合計
24年度	35	130	0人	0人	140人	270人
25年度	18	32	0人	0人	80人	112人
26年度	24	20	0人	0人	119人	139人
27年度	29	18	0人	0人	190人	208人
28年度	16	24	0人	0人	52人	76人

3 風連歴史民俗資料館概要

(1) 所在地 名寄市風連町南町85番地2

(2) 開館年月日 平成2年4月1日

(3) 主要施設

延床面積 645.76 m² (1階 258.635 m² 2階 387.125 m²)

1 階

エントランス・ロビー 59.163 m²

常設展示室 176.750 m²

収蔵庫 55.980 m²

2 階

特別展示室 102.750 m²

収蔵展示室 78.006 m²

(4) 資料保有数 12,435点

4 利用案内

受付は風連図書館 TEL 01655-3-287 又は名寄市北国博物館

開館時間 : 午前10時～午後4時

休館日 : 土・日曜日、祝日、12月1日～3月31日

観覧料 : 無料

1 1 市立名寄図書館

1 平成29年度運営方針

市民の最も身近な学習活動を支援する教育施設として、利用者ニーズに即応した図書館機能の充実に努め、学習権の保障と資料並びに書誌情報の提供、子どもの読書活動の推進を図る。

2 平成29年度事業計画

(1) 図書館奉仕業務

事業区分	事業内容
蔵書の充実	蔵書の更新整備、資料の収集と迅速な提供、児童図書への充実によるサービスの向上
移動図書館	自動車文庫「やまゆり号」の巡回による市内全域へのサービスの充実 ・巡回：名寄地区 27・風連地区 2 合計 29 ステーション （名寄地区 27 の内 12 ステーションは月 2 回、4 月から 12 月運行） ・配本：名寄地区 4・風連地区 3 合計 7 ケ所（遠隔地の保育所他） ・遠隔地の小中学校巡回時に、「読み聞かせ」を実施：各学校年 1 回 （名寄本よみ聞かせ会、風連読み聞かせの会の協力）
障がい者支援	・録音図書：ボランティア団体「名寄声の図書会」との連携 ・録音データ「サピエ」による提供
情報の収集・提供	レファレンスサービス・相互貸借の充実 ・北海道立図書館や市町村立図書館と連携し、図書資料の相互貸借により、利用者へ広範な資料の提供をめざす。 ・インターネットや国立国会図書館、北海道立図書館のネットワークを活用する。 ・図書館ホームページや市広報、FM放送等へ利用情報を提供する。 発信情報内容：利用案内・蔵書検索・新着図書・雑誌案内・行事案内等

(2) 読書普及活動

① 子どもの読書普及

図書館ボランティア、幼児施設や学校等との連携推進を図り、子ども読書の推進を実施する。

- ・「子ども読書の日」や「こどもの読書週間」にちなんだ行事の開催
- ・名寄本館での行事開催
 幼児や児童、保護者を対象とした行事の定期開催（おはなしクラブ、ペンギンクラブ）
 夏休み、冬休みの行事や司書体験、図書館まつり等の開催
- ・風連分館での行事開催
 幼児、児童、保護者を対象とした行事の定期開催（おはなしポケット、おはなしタイム）
 季節毎のおはなし会、司書体験等の開催
- ・読み聞かせ研修会の開催
- ・学校専用図書の貸出
- ・読書感想文コンクールの実施
- ・名寄市内学校図書室、市立名寄図書館担当者会議の開催
- ・子ども読書活動推進計画に基づく普及促進（第3次計画の実施）

② 一般向け読書の普及

図書館ボランティア等との連携を図り、市民から好評を得ている行事の開催や、図書館利用の促進及び読書普及のため、事業を企画実施する。

- ・ミニ展示コーナー（季節や話題をテーマとした本の展示） 随時開催
- ・文学講座「北海道ゆかりの作家と作品」をテーマに8～9月に開催予定
- ・雑誌リサイクル 11月3日（文化の日）
- ・文学パネル展「ほっかいどうの短歌」

3 分類別蔵書冊数

(平成 29 年 3 月 31 日現在)

区 分	総 記	哲 学	歴 史	社会学	自然科学	技 術	産 業	芸 術
名寄本館	4,033	2,965	7,343	15,300	5,874	7,195	3,158	8,102
風連分館	624	568	1,447	2,443	843	1,498	583	1,344
合 計	4,657	3,533	8,790	17,743	6,717	8,693	3,741	9,446

区 分	言 語	文 学	参 考	大活字	児 童	大型絵本	紙芝居	合 計
名寄本館	1,168	37,222	5,400	490	34,798	90	954	134,092
風連分館	125	13,159	951	103	10,855	32	811	35,386
合 計	1,293	50,381	6,351	593	45,653	122	1,765	169,478

4 市立名寄図書館施設概要

(1) 所 在 地 名寄市大通南 2 丁目 (TEL 2-4751 FAX 2-4897)

(2) 開設年月日 昭和 45 年 8 月 1 日

(3) 各 室 案 内

延床面積 1,683㎡ (1階:591㎡ 2階:648㎡ 3階:379㎡ 4階:65㎡)

1 階	2 階	3 階	4 階
閱 覧 室	会 議 室	読 書 室	資料収納庫
新 聞 庫	北海道・名寄コーナー	休 憩 室	
児 童 室	保存用閉架書庫	国際親善メモリアルホール	

※ 風連分館の施設概要は「名寄市児童センター 施設概要【風連児童会館】」に掲載

5 利用案内

(1) 本 館 ①開 館 日 火曜日・金曜日 9 時 30 分～17 時 00 分
水曜日・木曜日 9 時 30 分～20 時 00 分
土曜日・日曜日 9 時 30 分～16 時 00 分

②特別開館日 11月3日(文化の日)

③休 館 日 月曜日・毎月月末日・祝日・年末年始・特別整理日

(2) 風連分館 ①開 館 日 月曜日～金曜日 9 時 30 分～17 時 00 分
土曜日 9 時 30 分～16 時 00 分

②特別開館日 11月3日(文化の日)

③休 館 日 日曜日・毎月月末日・祝日・年末年始・特別整理日

12 なよろ市立天文台

1 平成 29 年度運営方針

地域の天文同好者・天体観測関係機関との連携を深め、天体観測並びに研究活動を通じ、市民への天文知識の普及と青少年に対する理科学教育の振興を図る。

2 平成 29 年度事業計画

(1) 天文普及事業

- ・通常の直接観望（なよろ市立天文台）
- ・特別観望会（13回開催予定、その他新天体が出現時等に随時実施）
- ・天文教室（天文講座の開催、その他小中学校・一般団体の開催依頼は別途受付）
- ・移動式天文台車ポラリスⅡ号による出前観望会の実施
- ・インターネット「なよろ市立天文台ホームページ」による情報提供(<http://nayoro-star.jp>)
- ・twitter (@kitasubaru) 及びメルマガによる情報提供
- ・市内ボランティアによるインターネットTV「きたすばるどっとこむ」放送
- ・光害防止のための啓発事業

(2) プラネタリウム

- ・毎晩の星空解説
- ・プログラム番組の投影
- ・授業内容に合わせた学習・団体投影（学校・幼稚園・各団体）
- ・熟睡プラネタリウムなどの企画投影

(3) 調査・研究

- ・観測情報の収集（天体撮影・ビデオ収録）
- ・研究観測（太陽黒点・超新星の捜索・小惑星による恒星食等）
- ・北海道大学大学院と連携した研究・観測

名寄市と北海道大学大学院理学研究科は、平成 17 年度に相互協力協定を締結
平成 23 年に 160 cm 光学赤外望遠鏡（北大設置）一般公開

(4) その他企画

- ・きたすばる星と音楽の集い
- ・小学生による小惑星発見プロジェクト
- ・星と音楽の融合をテーマにした音楽イベントの開催

3 なよろ市立天文台施設概要

(1) 所在地 名寄市字日進 157 番地 1 (Tel 2-3956 FAX 2-0267)

e-mail kitasubaru@nayoro-star.jp URL <http://www.nayoro-star.jp>

(2) 開設年月日 平成 22 年 4 月 17 日

(3) 主要施設 建物延床面積 1036.75 m² 建築面積 775.66 m²

施設内容 プラネタリウム、屋上観測室、観測室、レクチャールーム、

企画展示コーナー、事務室、応接会議室、更衣休憩室
 機器 160 cm光学赤外望遠鏡（愛称ピリカ：北大設置）
 50 cmカセグレン望遠鏡（愛称：きたてらす）
 40 cmカセグレン望遠鏡 2台
 （愛称：美ら（ちゅら） 美麗（めいりい））
 40cm カセグレン望遠鏡搭載移動式天文台車

4 利用案内

- (1) 開館時間：火曜日～日曜日、祝日 13時～21時30分（4月～10月）
 13時～20時00分（11月～3月）
- (2) 休館日：月曜日・祝日直後の休館日でない日
- (3) 観覧料：高校生以下、障害者とその介助者、70歳以上は無料
 大人 410円 大学生 300円
 団体料金(10名以上) 大人 300円 大学生 200円
 年間パスポート 大人 1,230円 大学生 1,020円
- (4) 施設利用料：
 レクチャールーム Aタイプ（約100人収容） 1時間 411円
 Bタイプ（約50人収容） 1時間 206円
 プラネタリウム占有利用（常設席50席） 30分 206円

5 協定

- (1) 北海道大学 大学院理学研究院
 (2) 国立天文台 石垣島天文台
 (3) 台湾 台北市天文科学教育館

6 利用実績推移

(人)

	区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度
有料	一般	3,036	3,066	3,194
	大学生	127	159	131
	団体	545	451	401
	パスポート	114	117	88
無料	70歳以上	467	619	402
	障害者	213	161	195
	高校生以下	4,259	2,836	4,076
	パスポート	525	468	455
	その他	3,982	4,720	3,375
観覧者合計 (A)		13,268	12,597	12,317
施設外利用 (B)		1,550	2,659	3,356
利用者合計 (A+B)		14,818	15,256	15,673

1 審議会・委員会

◎会長、委員長 ○副会長、副委員長

(平成29年5月1日現在)

教育支援委員会 (任期 ~30.3.31)

室野晃一	(医師)	前川恵理也	(関係教育機関)
山崎由紀子	(学識経験者)	河口一葉	(")
◎糸田尚史	(")	齋藤俊浩	(")
安永啓司	(")	西沢江里	(")
濱田香澄	(")	池田雄二	(")
福田孝夫	(関係教育機関)	本松理絵	(")
伊端俊紀	(")	河野資子	(")
村上比呂人	(")	丁門正憲	(")
江口貴彦	(")	築瀬豊	(")
◎土肥哲哉	(")	安野健治	(")
重森哲夫	(")	加藤紀子	(")
中村文玲	(")	越智恭代	(")
本郷香織	(")	奥村澄子	(福祉関係)
安彦修	(")	高橋良子	(")
塚本英恵	(")	谷口恭子	(")
町田みどり	(")	齋藤七江	(行政機関)

学校給食センター運営委員会 (任期 ~30.3.31)

◎黒川清	(学識経験者)	村上比呂人	(学校長)
○坂田英子	(PTA)	那須隆哉	(")
村中弘美	(学識経験者)	赤澤静恵	(")
市川晶子	(")	島井綾香	(PTA)
西川剛弘	(")	松澤真由美	(")
五十嵐美奈子	(")	檜谷みゆき	(")
伊端俊紀	(学校長)	高木幸恵	(")
川崎直人	(")		

社会教育委員の会 (任期 ~30.3.31)

◎大坂祐二	(学識経験者)	早川正一	(学識経験者)
○宮本幸子	(社会教育)	中村洋子	(")
赤澤静恵	(学校教育)	秋山優香	(")
鈴木聡	(")	松本昇	(")
福田孝夫	(")	新井絹代	(")
岩槻五郎	(社会教育)	泊り雅幸	(")
高木慎一郎	(")	宮崎敬市	(")
栗山覚	(")	上口里美	(")
山崎巧繕	(")	吉田征子	(家庭教育)

生涯学習推進アドバイザー

中枝博美 又村靖子 蓑輪千恵

名寄市教育振興審議委員会

藤平 民世	(文化団体)	竹内 利行	(学識経験者)
佐藤 時男	(")	笠井 信一	(")
水島 寿昌	(スポーツ団体)	湯川 孝一	(")
菊地 弘美	(")		

名寄市公民館運営審議会及び市民文化センター運営委員会 (任期 ~30.3.31)

◎那須 隆哉	(学校教育)	山田 未来	(社会教育)
○吉原 敦子	(社会教育)	室資 祐子	(")
三浦 礼子	(学校教育)	堀口 貴恵子	(")
杉田 良二	(")	有田 昭宗	(学識経験者)
竹澤 清子	(社会教育)	山口 耕平	(")

名寄市風連公民館運営審議会及びふうれん地域交流センター運営委員会 (任期 ~30.3.31)

◎山下 則之	(学識経験者)	新田 司	(学識経験者)
○村上 比呂人	(学校教育)	又村 亨	(")
赤澤 静恵	(")	林 秀典	(")
松樹 恒史	(学識経験者)	松本 勲	(")

名寄市児童館運営委員会 (任期 ~31.3.31)

◎高見 勉	(学識経験者)	赤澤 静恵	(教育関係者)
○福田 孝夫	(教育関係者)	斎藤 七江	(利用保護者)
池野 梨加	(利用保護者)	栗山 覚	(学識経験者)
三浦 礼子	(教育関係者)	上山 千生	(利用保護者)
中島 美夕希	(利用保護者)	井上 千鶴	(利用団体)

名寄市児童クラブ運営委員 (任期 ~31.3.31)

◎高見 勉	(学識経験者)	赤澤 静恵	(教育関係者)
○福田 孝夫	(教育関係者)	斎藤 七江	(利用保護者)
池野 梨加	(利用保護者)	栗山 覚	(学識経験者)
三浦 礼子	(教育関係者)	上山 千生	(利用保護者)
中島 美夕希	(利用保護者)	井上 千鶴	(利用団体)

名寄市青少年問題協議会委員 (任期 ~30.3.31)

◎檜山 秀明	(学識経験者)	土肥 哲哉	(教育関係者)
○濱谷 則之	(")	川崎 直人	(")
○川原 夏子	(")	江口 貴彦	(")
栗山 覚	(")	三木 公	(")
遠藤 貴広	(")	池原 智宏	(")
宗万 広美	(")	高野 良子	(")
西村 陽子	(")	山口 朗生	(関係行政機関)

名寄市博物館協議会 (任期 ~30.3.31)

◎山中 政信	(学識経験者)	中島 真美	(学識経験者)
○佐藤 源嗣	(")	西尾 眞智子	(")
江口 貴彦	(学校教育)		
谷井 八重子	(学識経験者)		

名寄市文化財審議会（任期 ～30.3.31）

◎山中政信（学識経験者）
○佐藤源嗣（"）
江口貴彦（学校教育）
谷井八重子（学識経験者）

中島真美（学識経験者）
西尾眞智子（"）

名寄市図書館協議会（任期 ～30.3.31）

◎糸田尚史（学識経験者）
○田村悦子（"）
川崎直人（学校教育）
工藤久美子（学識経験者）

倉本邦子（学識経験者）
益塚代美子（"）
白井慶子（幼稚園代表）

名寄市スポーツ推進委員（任期 ～30.3.31）

◎安達啓治（学識経験者）
名越隆治（"）
山陰龍正（"）
○川村茂樹（"）
井元和正（"）
高橋浩一（"）
上野敬典（"）
杉野敦（"）

山田未来（学識経験者）
大野洋子（"）
藤野奈緒美（"）
渋谷明子（"）
杉本周子（"）
百武学（"）
平間大介（"）
山田由紀（"）

名寄市スポーツ推進審議会（任期 ～30.3.31）

◎熊谷守（学識経験者）
○関朋昭（"）
池田卓平（"）
遠藤光博（"）
明石裕（"）
安澤豊（"）
石原祥子（"）

藤井晶美（学識経験者）
三木常男（"）
和久朋行（"）
高橋克徳（"）
阿部雅俊（"）
藤井素子（"）

なよろ市立天文台運営委員会（任期 ～30.3.31）

◎播本雅津子（学識経験者）
○藤原忠（"）
大谷秀二（"）

中山極（社会教育）
堀江充（学校教育）
高谷恵美子（学識経験者）

文化芸術審議会（任期 ～30.3.24）

◎大坂祐二（学識経験者）
○宮本幸子（"）
若槻五郎（"）
山崎巧繕（"）
早川正一（"）

松本昇代（学識経験者）
新井田絹代（"）
宮崎敬市（"）
吉田征子（家庭教育）

名寄市民文化センター事業企画委員会（任期 ～31.3.31）

今井利憲（学識経験者）
扇谷茂幸（"）
小笠原志朗（"）
北村久仁子（"）
佐古和廣（"）

千々石奈緒美（学識経験者）
富田耕一郎（"）
中島純一（"）
長谷川まゆみ（"）
藤原雄司（"）

名寄市智恵文公民館運営審議会（任期 ～31. 3. 31）

◎大石勝美（社会教育）
○川崎直人（学校教育）
北野ひろみ（社会教育）

五十嵐雅美（学識経験者）
新井邦一（"）
松井文絵（"）

2 旧名寄市教育の沿革

年代	西暦	特記事項
寛政10. 7. *	1798	幕府の属僚3名天塩川を遡り見聞す
明治 5.10. 8	1872	上川地方(名寄)の実情調査さる。宗谷支庁佐藤正克技師
30. 6. 1	1897	上名寄村(現名寄市)の称号を得る。
35. 9. 1	1902	3村戸長役場庁舎新築落成開庁(大通1丁目)
9. 15		上名寄簡易教育所開設(M37 上名寄尋常小学校、M39 名寄尋常高等小学校、S16名寄国民学校、S22 名寄小学校 と改称)教育の嚆矢である
36. 4. 8	1903	チェブン簡易教育所開設(M37 智恵文簡易教育所、M41 智恵文尋常小学校、T7 智恵文尋常高等小学校、S16 智恵文国民学校、S22 智恵文小学校 と改称)
37. 7. *	1904	曙簡易教育所開設(M41 曙尋常小学校、S16 曙国民学校、S22 曙小学校 と改称)
38. 7. 1	1905	上名寄五線簡易教育所開設(M41 上名寄五線教育所、M43 上名寄五線尋常小学校、T9 中名寄尋常小学校、S16 日彰国民学校、S22 日彰小学校、S24 中名寄小学校 と改称)
39. 4. *	1906	有利里簡易教育所開設(M41 有利里教育所、T6 有利里尋常小学校、S16 瑞徳国民学校、S22 瑞穂小学校 と改称)
6. 20		十八線簡易教育所開設(M41 十八線教育所、T6 十八線尋常小学校、S16 共和国民学校、S22 共和小学校 と改称)
42. 1. 17	1909	曙尋常小学校所属ハッチャシナイ特別教授場開設(M43 初茶志内教育所、T6 初茶志内尋常小学校、S16 弥生国民学校、S22 弥生小学校 と改称)
5. 28		智南教育所開設(T6 智南尋常小学校、S16 智南国民学校、S22 智南小学校 と改称)
43. 12. 12	1910	智東教育所開設(T6 智東尋常小学校、S16 智東国民学校、S22 智東小学校 と改称)
大正 5. 4. 1	1916	智恵文尋常小学校所属智北特別教授場開設(T7 智恵文尋常高等小学校智北特別教授場、T13 智北尋常小学校、S16 智北国民学校、S22 智北小学校 と改称)
6. 1		名寄尋常高等小学校日進分教場開設(S16 名寄国民学校日進分教場、S22 名寄小学校日進分校、S32 日進小学校 と改称)
7. 4. 1	1918	名寄尋常高等小学校内淵特別教授場開設(T11 名寄尋常高等小学校内淵分教場、S16 名寄国民学校内淵分教場、S22 名寄小学校内淵分校 と改称)
4. 1		智東尋常小学校所属上智恵文特別教授場開設
8. 7. 15	1919	智恵文尋常高等小学校所属智西特別教授場開設(T13 智西尋常小学校、S16 智西国民学校、S22 智西小学校 と改称)
9. 6. 28	1920	名寄女子職業学校開校
11. 4. 1	1922	北海道庁立名寄中学校開校(S22 北海道立名寄中学校、S23 北海道立名寄高等学校、S25 北海道名寄高等学校 と改称)
7. *		名寄教会幼稚園開設(現 名寄幼稚園)
13. *. *	1924	智東尋常小学校所属上智恵文特別教授場廃止、本校に統合
9. 4		名寄南尋常小学校開校(S16 名寄国民学校、S22 名寄南小学校 と改称)
10. 16		智南尋常小学校校舎全焼
14. 11. 1	1925	智恵文女子実業補習学校開校(S3 智恵文実科女学校、S10 智恵文青年学校女子部 と改称)
11. 7		名寄町処女会発足
15. 4. 1	1926	青年訓練所令により各学校に青年訓練所併置
7. 1		智恵文尋常高等小学校所属北山特別教授場開設(S4 北山尋常小学校、S16 北山国民学校、S22 北山小学校 と改称)
昭和 2. 4. 26	1927	名寄町立名寄高等女学校開校(S5 北海道庁立名寄高等女学校、S22 北海道立名寄高等女学校、S23 北海道立名寄女子高等学校、S25 北海道名寄高等学校 と改称)

年 代	西 曆	特 記 事 項
昭和 3. *	1928	名寄女子連合青年団発足
5. 6. *	1930	智恵文女子青年団発足
6. 11. *	1931	曙尋常小学校新築移転
8. *. *	1933	東山シャンツェ完成
10. 4. 1	1935	青年学校令により各学校に青年学校併置（実業補習学校、青年訓練所を併合）
12. 10. 16	1937	北海道庁立名寄中学校全焼
14. 9. 7	1939	名寄鈴石、名寄高師小僧、国の天然記念物に指定
15. 11. 19	1940	曙尋常小学校全焼
16. 1. 20	1941	名寄町青年団発足（男女青年団解散）
4. 20		名寄町青少年団発足
4. 21		北海道庁立名寄農業学校開校（S23 北海道立名寄農業高等学校、S24 北海道名寄農業高等学校と改称）
6. 15		智恵文青少年団発足
20. 10. 1	1945	田辺服装塾、名寄衣料裁断研究会（後の名寄服飾専門学校）開校
21. 6. 12	1946	名寄洋裁学校開校
22. 3. *	1947	名寄文化協会設立
4. 1		名寄女子職業学校募集停止
5. 20		名寄中学校開校{本校(名寄小学校)、分校:大橋(旧制名寄中学校)、旭東(旧制名寄高等女学校)、日彰(日彰青年会館)、瑞穂(瑞穂小学校)}
6. 1		智恵文中学校開校（分校：旧制智南小学校）
23. 1. 10	1948	名寄町公民館設置（26年6月27日開館）
3. 31		名寄中学校大橋分校、旭東分校廃止
4. 1		名寄中学校北分校設置
4. 1		名寄文化服装女学校開校
10. 1		名寄農業高等学校定時制課程（普通科・農業科）設置
10. 5		飯塚洋裁学院（後の飯塚ドレスメーカー女学院）開校
24. *. *	1949	加藤学園（後の名寄服飾専門学校）開校
4. *		田辺服装塾閉鎖
5. 13		体育指導委員会発足
8. 15		名寄町公民館図書室開設
25. 1. 15	1950	名寄地方体育クラブ発足
4. *		名寄女子高等学校、名寄高等学校に統合
7. 3		名寄南小学校に養護教室設置
7. 13		名寄小学校が道教委の学校給食モデル校として指定
9. 13		名寄カトリック愛児園（後の名寄カトリック幼稚園）開園
10. 1		北海道洋裁専門女学校名寄分校（後の北海道文化服飾名寄専門学校）開校
26. 1. 1	1951	中名寄中学校として独立（名寄中学校日彰分校）
1. 25		名寄小学校御園分校設置
4. 1		北海道名寄農業高等学校智恵文分校設置（S27 北海道智恵文高等学校、S33 北海道名寄北高等学校と改称）
4. 1		名寄農業高等学校に酪農科増設
4. 1		名寄中学校旭東分校復活
4. 1		名寄中学校北分校廃止
7. 24		名寄農業高等学校定時制農業科、季節制に改組
27. 2. 22	1952	曙小学校校舎全焼
4. *		智恵文公民館開設
4. 1		智南中学校として独立（智恵文中学校智南分校）
4. 14		名寄文化服装学校開校
8. 20		名寄東中学校として分離（名寄中学校）
10. 1		名寄小学校東分校設置

年 代	西 暦	特 記 事 項
昭和28. 4. 1	1953	名寄町立家政高等学校開校（S35 名寄女子短期大学附属高等学校、S53 名寄恵陵高等学校と改称）
4. 1		瑞穂中学校として独立（名寄中学校瑞穂分校）
4. 1		名寄農業高等学校定時制課程普通科、名寄高等学校に移設
28. *.*	1953	名寄文化服装女学校廃校
8. 1		名寄町民学校開校
9. 18		名寄体育協会結成
11. 1		道立図書館分館開館
29. *.*	1954	名寄町体育館建設
6. 1		移動図書館あけぼの号巡回開始
8. 1		智恵文村と合併、新名寄町発足
12. 1		名寄小学校内測分校廃止、スクールバス通学開始
30. *.*	1955	名寄南小学校グラウンドにスケートリンク開設
4. 1		名寄高等学校に商業科設置
4. *		名寄小学校、視聴覚教室の研究指定校に指定
8. 1		名寄町営球場完成
31. 4. 1	1956	名寄市市制施行（全道21番目）
32. 4. 1	1957	日進小学校開校（名寄小学校日進分校と東分校が統合）
7. 24		智北小学校改築落成
11. 1		名寄市学校教育指導委員会発足（委員15名）
33. 1. 19	1958	名寄市文化団体連絡協議会設立（後の名寄市文化協会）
4. 1	1958	名寄市視聴覚教育センター発足
4. 1		名寄東小学校開校（名寄小学校御園分校を名寄東小学校御園分校と改称）
4. 10		光名幼稚園開園
5. 30		名寄家政高等学校寄宿舎落成
7. 15		名寄北高等学校校舎新築
8. 31		第1回市民レクリエーション大会開催
11. *		第1回市民文化祭開催
34. 4. 1	1959	名寄西小学校開校
4. 1		名寄小学校に知的障害児学級設置
4. 6		大谷幼稚園開園
35. 4. 1	1960	名寄女子短期大学開学（H2 市立名寄短期大学と改称。）
36. 4. 1	1961	市立名寄図書館設置
5. 15		名寄市体育協会設立
37. *.*	1962	緑丘シャンツェ開設
		名寄文化服装学校廃校
4. *		名寄小学校、名寄南小学校完全給食開始
6. 1		名寄市民会館新築落成
10. 1		青少年補導センター設置
38. 4. 1	1963	名寄高等学校に工業課程設置（電気科、機械各科1間口）
5. 5		第1回ピヤシリ子ども会大会・少年の日制定
10. 1		名寄西小学校肢体不自由児学級、マザーズホーム併設
10. 1		瑞穂中学校、名寄東中学校に統合
10. 1		名寄市青少年武道場開設
		菊山スキー場、市営となる
39. 9. 22	1964	名寄市教育研究所設立
11. 11		名寄市勤労青少年ホーム開所
40. *.*	1965	飯塚ドレスメーカー女学院廃校
10. 7	1965	名寄女子短期大学図書館落成
10. 20		名寄小学校校舎改築落成（市内で初めてのコンクリート造り）

年 代	西 暦	特 記 事 項
昭和41. 4. 1	1966	名寄農業高等学校に生活科設置
4. 1		名寄高等学校商業課程廃止
4. 1		社会科副読本「なよろ」発行
4.25		学校給食センター市内全小中学校に給食開始
42. 4. 1	1967	名寄高等学校に工業過程建築科増設
4. 1		名寄農業高等学校林業科募集停止
7. 1		新名寄市営球場竣工ならびに球場開き
7.15		名寄市営プール開設（現西プール）
12.15		青少年会館落成（43.1.5 開館）
43. 3.27	1968	名寄東小学校御園分校廃止
4. 1		智南中学校、名寄東中学校に統合
44. 3.31	1969	名寄北高等学校廃校
45. 4. 1	1970	名寄南小学校、共和小学校、曙小学校3校統合（新名寄南小学校開校）
4. 1		名寄南小学校共和分教室、曙分教室設置
7.31		名寄市プラネタリウム館完成
8. 1		市立名寄図書館落成開館
8. 1		市内辺地小中学校対象の巡回児童文庫開始
12.30		ピヤシリシャンツェ完成（70M級）
46. 3.28	1971	第1回ピヤシリジャンプ大会（笠谷優勝 80M）
4. 1		中名寄中学校、名寄中学校に統合
9. *		やまゆり号による市内巡回文庫開始
47. 1.20	1972	名寄南小学校統合新校舎
4. 1		智東小学校、名寄南小学校に統合
4. 1		名寄南小学校共和分教室、曙分教室廃止
9. 6		第21回全国僻地教育研究大会第6分科会開催（於日進小学校6～8日）
48. 1.20	1973	名寄市働く婦人の家開設
4. 1		視聴覚ライブラリー発足（名寄市視聴覚教育センターを吸収）
8.14		名寄市営南プール開設（ビニール屋根付25m）
12.23		国設ピヤシリスキー場開設
12. *		私設木原天文台開設
49. 1.28	1974	名寄西小学校（現豊西小学校）に言語治療教室開設
4. 1		豊西小学校開校
50. 2. 9	1975	第24回全国高等学校スキー選手権大会開催
4. 1		名寄スポーツセンター落成、開館
4. 1		名寄工業高等学校開校（名寄高等学校工業過程が分離）
51. 4. *	1976	豊西小学校言語治療教室に難聴教室併設
6.18		全日本軟式卓球選手権大会（18～20日）
6.30		智恵文簡易プール開設
52. 4. 1	1977	智西小学校、北山小学校、智恵文小学校に統合
5. 2		キマロキ編成名寄公園に展示
53. 4. 1	1978	弥生小学校、名寄南小学校に統合。瑞穂小学校、名寄西小学校に統合
12.15		名寄中学校校舎移転改築完成（52・53年度2ヵ年事業）
12.16		名寄スポーツセンター第2体育館開館
54. 1.21	1979	スキーを市技に指定
2.17		第34回国民体育大会冬季大会スキー競技会開催（17日～20日ピヤシリスキー場）
4. 1		名寄南小学校に情緒障害学級設置
4. 1		智南小学校、名寄西小学校に統合
7.16		天塩川右岸、左岸、埋蔵文化財発掘調査
10. 1		第1回スポーツフェスティバル（スポーツセンター）

年 代	西 暦	特 記 事 項
昭和54.12.26	1979	市立名寄図書館郷土資料室展示分室開設（旧消防署）
55. *. *	1980	名寄市社会教育推進協議会発足
2.16		スキー市技指定、国体開催記念第1回名寄市雪の祭典（16～17日）
4. 1		名寄恵陵高等学校家政科2間口を普通科に転換
5.13		「名寄ピヤシリ大学」開設
5.22		「友朋学級」開設
8. 1		「フーコーの振り子」開設
8.17		土俵場完成（スポーツセンター南庭）
56. 4. 1	1981	名寄女子短期大学家政科を家政専攻課程、栄養専攻課程に分離
4. 1		豊西小学校言語治療教室、南小学校情緒障害児学級に市幼児ことばの教室併設
5.30		名寄岩頭彰像除幕式
57. 3.20	1982	名寄東中学校校舎完成
3.21		智北小学校、智恵文小学校に統合
3.31		名寄農業高等学校定時制閉課
4. 1		小学校通学区域の一部変更（西町3区が豊西小に）
4. 1		智恵文地区公民館が智恵文公民館に独立
4. 1		名寄職業訓練校が高等職業訓練校に昇格
7. 3		天塩川河川サッカー場オープン
12.14		名寄工業高校校舎完成
58. 6. 1	1983	小中学校生徒指導協議会発足
6.27		名寄高等職業訓練校校舎落成記念式典
7.31		名寄市民文化センター完成（社会教育課、市民会館から移転）
11.22		郷土資料室移転（大通北1、旧消防署庁舎）
59. 3.24	1984	名寄恵陵高等学校校舎完成、移転
4. 1		日進小学校、名寄小学校に統合
4. 1		名寄女子短期大学、児童専攻課程設置
12. *		名寄農業高等学校校舎完成
60. 7. 1	1985	名寄スポーツセンターが道体協から名寄市に移管され「名寄市スポーツセンター」となる
7. 1		旧名寄恵陵高等学校体育館を一部改修し「北体育館」として一般に開放
8.20		移動図書館車「やまゆり号」購入
61. 3.25	1986	第64回全日本スキー大会（滑降競技大会 25～27日）
5.31		名寄市シニアリーダーサークル（NAC）発会
7.10		スーポロ碑建立
12.12		智恵文中学校改築
62. 9.26	1987	道立近代美術館所蔵秀作展（北海道を画く）（9/26～9/30）（文化センター）
10.20		理科副読本「郷土の自然なよろ」発行
12. 5		中名寄小学校改築
平成元. 2.19	1989	はまなす国体歩くスキー大会
6.25		札幌グリーンコンサート
7.28		体験王国ほっかいどう
9. 4		名寄東小学校起工式
2. 4. 1	1990	名寄女子短期大学、市立名寄短期大学に改称
4. 1		名寄農業高等学校生活科を生活科学科に学科転換
6. 9		名寄海洋センター（プール）完成
6.28		名寄市麻生ゲートボール場完成（3面）
7.25		第34回全道公民館大会開催
8.25		名寄市麻生テニスコート増設完成（オムニ式2面）
11.18		開基90周年記念 ベートーベン第9交響曲特別演奏会
11.25		名寄東小学校校舎落成・開校33年記念協賛会記念式典

年 代	西 暦	特 記 事 項
平成 3. 8. 4	1991	土俵移設記念土俵開き（入母屋造り、銅板ぶき）
12. 24		名寄市学校給食センター改築
4. 1. 19	1992	名寄市新学校給食センター供給開始
4. 1		名寄中学校に情緒学級開設
4. 20		児童センター開館
9. 11		名寄市立木原天文台開設（市へ寄贈）
9. 12		学校週5日制開始
11. 19		スポーツセンター大改修完了
5. 3. 31	1993	スポーツセンター第2体育館増築（302.4 m ² ）
4. 1		小学校社会科副読本「なよろ」全面改定版発行
6. 30		智恵文中学校水泳プール全面改修
7. 1		図書館日曜開館
9. 30		西小学校校舎改築落成
12. 15		名寄市民文化センター開館10周年記念事業“所蔵絵画展”開催
6. 4. 1	1994	名寄短期大学看護学科（入学定員50名）開設
4. 1		名寄恵陵高校家政科が生活文化科へ学科転換
8. 5～8		山形県藤島町へ少年少女の交流団訪問
8. 6		大関「名寄岩」生誕80周年記念事業開催
11. 30		ピヤシリシャンツェ・ミディウムヒル造成工事完成
7. 3. 31	1995	菊山スキー場閉鎖
4. 1		名寄工業高等学校、機械科募集停止、電子機械科新設
11. 16		名寄市営球場改修工事完成
8. * . *	1996	北海道文化服装名寄専門学校廃校
2. 10		北国博物館開館
4. 1		名寄農業高等学校生活科学科募集停止、農業科を農業・生活科に学科転換
4. 1		教育相談電話「ハートダイヤル」開設
5. 26		なよろ健康の森陸上競技場オープン
9. 4. 1	1997	(財)名寄市体育協会に管理委託（海洋センター、南・西・智恵文プール、市営球場、テニスコート、北体育館）
5. 13		名寄市学校給食センター衛生管理推進地域指定（文部省より3ヶ年）
6. 12		第36回全道博物館大会開催
8. 15		博物館大型資料収蔵庫開設
10. 26		名寄中学校開校50周年記念式典
11. 30		智恵文中学校開校50周年記念式典
10. * . *	1998	名寄服飾専門学校休校
2. 3		名寄図書館と北海道道立図書館間コンピュータオンライン化
4. 1		(財)名寄市体育協会に管理委託（スポーツセンター、ジャンプ台）
4. 11		南児童クラブ開設
6. 11		名寄南小学校に肢体不自由児学級設置
7. 1		名寄市教育振興協議会発足
10. 20		名寄小学校校舎竣工
11. 4. 1	1999	特認校制度スタート
6. 2		図書館水木夜間開館試行開始
10. 3		名寄西小学校40周年記念式典
10. 12		小学校7校にコンピュータ導入
12. 3. 1	2000	恵陵高校生徒募集停止
3. 24		名寄工業高等学校廃止
4. 12		名寄光凌高等学校新設
5. 16		なよろ健康の森あかげらパークゴルフ場オープン
8. 1		名寄市開拓 100年記念式典

年 代	西 暦	特 記 事 項
平成12. 10. 1	2000	恵陵高校創立80周年記念式典及び祝賀会
10. 20		中学校3校コンピュータ更新
10. 27		市立名寄短大開学40周年記念構成劇「明日を拓く名寄短大」
13. 9. 1	2001	市教委でリーダーバンク設置
14. 3. 1	2002	名寄光凌高等学校電気科、建築科閉科
3. 31		名寄恵陵高等学校閉校
4. 1		完全学校週5日制開始
6. 8		名寄公園パークゴルフ場オープン
7. 3		北国博物館入場者10万人達成
7. 18		学校評議員制度導入（名寄小・名寄中）
9. 1		名寄東中学校50周年記念式典
9. 22		名寄小学校100周年記念式典
10. 1		ピヤシリシャンツェノーマルヒル改修
10. 19		名寄高等学校80周年記念式典
15. 2. 22	2003	第58回国民体育大会冬季大会スキー競技会開催
5. 13		学校評議員制度拡大（名寄南小・名寄西小・名寄東中）
16. 3. 8	2004	図書館蔵書インターネット検索システム稼働
8. 7		中名寄小学校開校100周年記念式典
9. 1		市営テニスコート改修（オムコート2面、グリーンサントコート4面、夜間照明2基、観覧席）
10. 24		名寄南小学校開校80周年記念式典
11. 27		智恵文小学校開校100周年記念式典
17. 2. 10	2005	豊西小学校開校30周年記念集会
17. 12. 9		北海道大学大学院理学研究院と名寄市との相互協力協定締結

3 旧風連町教育の沿革

年 代	西 暦	特 記 事 項
明治35. 3. *	1902	20線基線の今川良策が、自宅に子どもを集めて教育を始める
9. 25		下多寄簡易教育所開設 (S38 下多寄尋常小学校、S16 下多寄国民学校、S18 高等科併置、S22 下多寄小学校と改称)
36. 11. *	1903	部落民の寄付により25線東7号に教場設置
37. 1. 20	1904	フーレバツ簡易教育所開設 (同年 風連簡易教育所、M39 風連尋常小学校と改称)
41. 10. 19	1908	西風連尋常小学校設置 (T5 高等科併置、T11 風連尋常高等小学校、S16 風連国民学校、S22 風連小学校と改称)
11. 3		フーレバツ特別教授所開設 (M45 風連尋常小学校、T11 風連旭尋常小学校、S16 風連旭国民学校、S18 高等科併置、S22 風連旭小学校と改称)
11. 24		風連教育所開設 (M43 風連御料尋常小学校、T13 日進尋常小学校、S4 日進尋常高等小学校、S16 日進国民学校、S22 日進小学校と改称)
42. 7. 30	1909	西風連尋常小学校校舎新築移転
10. 23		東風連尋常小学校設置 (S16 東風連国民学校、S18 高等科併置、S22 東風連小学校と改称)
44. 7. 12	1911	下多寄尋常小学校附属西特別教授所開設 (T5 西多寄尋常小学校、S16 西多寄国民学校、S17 高等科併置、S22 西多寄小学校、S27 中学校併置に伴い西多寄小中学校、S36 西風連小中学校、S59 中学校閉校に伴い西風連小学校と改称)
8. 27		東風連尋常小学校校舎移転新築
大正11. 9. 13	1922	多寄村連合青年団結成
15. *. *	1926	青年訓練所設置
昭和 3. 11. *	1928	風連家政女学校開設
4. 11. 1	1929	下多寄尋常小学校校舎改築
6. 10. 3	1931	風連尋常高等小学校校舎改築
7. 5. 22	1932	東風連尋常小学校忠烈布特別教授所開所 (S19 忠烈布国民学校、S22 忠烈布小学校、S27 中学校併置に伴い忠烈布小中学校と改称)
7. *		裁縫教授所開所 (後の加藤学園)
8. 11. *	1933	日進尋常高等小学校校舎改築
12. 17		風連旭尋常小学校校舎改築
10. *	1935	青年学校設置
11. 9. 11	1936	西多寄尋常小学校校舎新築移転
14. 7. *	1939	青年学校義務制となる
16. 4. 1	1941	尋常小学校が国民学校に改められる (初等科6年、高等科2年)
21. 8. *	1946	風連村連合青年団設立 岩見沢昭和洋裁女学院風連分院開設 (後の高橋洋裁女学院)
22. 4. 1	1947	国民学校が小学校に改められ高等科廃止 風連中学校設置、風連小学校に併設
5. 1		下多寄、風連旭、東風連、西多寄、日進の各小学校に風連中学校の分校を併置
23. 10. 28	1948	風連連合婦人会設立 風連中学校校舎新築
12. 15		
24. 4. 1	1949	各小学校に併置されていた風連中学校の分校が日進以外廃止 風連村公民館設置
11. 1		東生小学校設置
25. 8. 25	1950	忠烈布小学校に風連中学校分校併設
11. 1		日進中学校設置
26. 1. 15	1951	名寄農業高等学校風連分校開校 (S28 風連高等学校と改称)
12. *		日進中学校校舎新築移転

年 代	西 曆	特 記 事 項
昭和27. 4. 1	1952	忠烈布中学校設置（忠烈布小に併置）
11. 1		風連村教育委員会設置
28. 4. 1	1953	「風連町教育是」制定
5. 3		第1回名寄～風連間憲法発布記念マラソン大会（風連→名寄）
29. 5. 10	1954	風連幼稚園開設
30. 11. 26	1955	西多寄小中学校全焼
*		風連町父母と先生の会連合会設立
31. 10. 2		西多寄小中学校新築
*		風連町児童生徒校外補導協議会設立
34. 10. *	1959	第1回健民大運動会
11. 12		下多寄小学校新築落成
37. 1. 24	1962	風連町若妻会設立
9. *		忠烈布小学校開校30周年・同中学校開校10周年記念武典
39. 3. 31	1964	忠烈布小中学校閉校（小学校は東風連小学校、中学校は風連中学校に統合）
		風連高等学校道立移管
4. 11		風連中学校全焼
5. 29		風連町中核農民学校開校
10. 3		風連中学校校舎落成式
40. 4. *	1965	風連町連合青年会設立
7. *		町営プール完成
*		婦人学級・家庭教育学級開設
41. 1. 31	1966	風連町体育協会設立
42. 2. *	1967	町内初のスケートリンク造成
6. *		消防本部2階を公民館図書室として開設
43. 12. *	1968	風連町営スキー場開設
45. 3. *	1970	近藤育英基本条例制定
7. *		日進小学校に簡易プール完成
45. 11. *	1970	町営ヒュッテ建設
46. 3. 31	1971	東生小学校閉校（日進小学校に統合）
4. 1		風連中央小学校設置（風連小学校と風連旭小学校が統合）
7. *		風連町スポーツ少年団本部設立
		風連町子ども会育成連絡協議会設立
12. *		風連町新生活運動推進委員会設立
47. 6. 30	1972	風連町公民館講座「風連町老人大学」開講（S53 瑞生大学と改称）
7. *		町内7カ所史跡標示板を設置
9. *		全国へき地教育研究大会開催
9. 12		風連旭小学校及び風連中央小学校風連旭分教室閉校式
12. 7		風連小学校閉校式
12. 14		風連中央小学校校舎新築落成
48. 1. 20	1973	風連中央小学校開校式
7. *		初の屋根付き町営プール完成
9. 2		学校給食センター完成
10. 1		町内小中学校の学校給食スタート
10. 30		東風連小学校校舎完成
49. 4. 1	1974	米飯給食の開始（完全給食）
50. 5. *	1975	旭公民館に「愛の鐘」設置
10. *		風連町青少年研修センター及び風連町児童会館完成
52. 5. *	1977	風連町婦人団体連絡協議会設立
11. 8		日進小中学校校舎改築落成
53. 2. *	1978	風連町連合婦人会結成30周年記念式典

年 代	西 暦	特 記 事 項
昭和53.	* * 1978	日進小学校と日進中学校が併置校となる
	5. * *	教育委員会にマイクロバス導入
54.	7. * * 1979	町営球場完成
	* *	風連町陶芸センター完成
	9. * *	ノンプロ招待野球大会（開基80周年記念行事）
55.	10. * * 1980	風連の未来を築く会設立
		旧役場庁舎を武道場として改修
56.	9. * *	西風連小学校開校70周年及び中学校開校30周年記念式典
	12. * *	風連中央小学校グラウンドに333.3mの公認スケートリンク造成
		町営スキー場に20m級ジャンプ台新設
57.	8. * * 1982	第1回町民運動会
	10. * *	風連町生徒指導連絡協議会設立（平成4年に生徒指導推進協議会に改称）
59.	3. 31 1984	西風連中学校閉校（風連中学校に統合）
	10. * *	風連町連合青年会創立20周年記念式典
60.	11. * * 1985	町営第2球場完成
61.	4. * * 1986	風連町日進剣道スポーツ少年団設立
62.	6. * * 1987	風連町新生活運動推進会議設立
	9. 2	風連中学校に教育用コンピュータ導入（47台）
	10. * *	東地区ゲートボール場完成
	11. 7	風連高等学校校舎改築落成記念式典
	12. * *	風連町就学指導委員会設立
63.	5. * * 1988	東地区運動広場にテニスコートオープン
	6. * *	風連町教育委員会で42人乗り中型バス導入
	8. * *	初の外国人英語指導助手を招致
平成元.	5. * * 1989	B & G 風連海洋クラブ設立
	6. * *	B & G 財団風連海洋センター竣工式（7月からオープン）
	2. 2. * * 1990	B & G 財団風連海洋センタープール完成
	4. * *	風連町歴史民俗資料館開館
	6. * *	風連高等学校教育振興協議会設立
	8. * *	風連町・東京都港区中学生の初の自然体験交流会
	10. * *	風連中央小学校開校20周年記念を祝う集い
	3. 8. 24 1991	西風連小学校開校80周年記念式典
	9. * *	風連高等学校が4年度公立高校適正化配置計画（原案）で条件付き学級減対象校となる
	12. * *	初の杉並区・風連町子ども交流会
	4. 1. * * 1992	風連町若妻会創立30周年記念式典
	2. 27	「風連町瑞生大学校歌」制定
	6. * *	B & G 財団風連海洋センターが同財団から町に譲渡
	10. * *	風連町スポーツ少年団本部設立20周年記念式典
		日独青少年指導者セミナー（ドイツから11人来町）
	5. 2. 10 1993	下多寄小学校校舎完成
		下多寄小学校コミュニティスクール開設
	5. 1	小学校社会科副読本「ふうれん」全面改訂版発行
	6. 27	下多寄小学校校舎改築落成並びに開校90周年記念式典
	6. 2. * * 1994	東京都港区交流の「風港会」設立
		風連町サンシャインホール完成
		カンガルーのポケット事業の実施
	7. * *	日進小中学校に屋根付プール完成
		風の顔らんどふうれん北海道運営委員会設立
	12. 5	風連幼稚園新園舎完成

年 代	西 暦	特 記 事 項
平成 7. 9. *	1995	旧旭小学校記念碑建立除幕式
8. 4. *	1996	風連町青年会設立
8. *		風連高等学校1年生が初の海外研修（オーストラリア） 風連町教育委員会に新型バス導入
8. 10. *	1996	風連町体育協会創立30周年記念式典
9. 9. 20	1997	風連中学校開校50周年記念式典
10. 4. 1	1998	風連高等学校が道内初の英語標記の教育目標「EMOTION&POWER（感動と力）」施行
4. 1		風連町児童クラブの設置
4. 22		杉並区より移動図書館車「たびびと君」を寄贈
11. *. *	1999	教育用コンピュータ導入（風連中央小学校）
5. 1		公民館そよかぜ事業の実施
9. *		東風連小学校開校90周年記念式典
12. *		「風連町の石碑と史跡」発行
12. 4. 1	2000	小学校英会話活動推進モデル事業の実施
7. 1		学校評議員制度導入（風連中央小学校・風連中学校）
10. 27		福祉センター増築（研修室）
13. *. *	2001	東地区運動広場パークゴルフ場オープン
3. 7		風連町瑞生大学創立30周年記念式典
5. 16		心の教室相談員の配置（風連中学校）
5. 30		スポーツエキスパート事業の実施（風連中学校）2年間
6. 24		下多寄小学校開校100周年記念式典
9. 8		風連高等学校創立50周年記念式典
14. *. *	2002	教育用コンピュータ導入（日進中学校）
3. 31		小学校社会科副読本「ふうれん」全面改訂版発行
4. 1		教育相談員の配置
4. 1		文部科学省学力向上フロンティア事業指定校（風連中学校）
5. 2		民間指導者派遣事業の実施
9. 1		風連町地域教育推進協議会の設置
9. 1		風連町体験活動ボランティア活動支援センターの設置
9. 1		ふうれんっ子ひろばの実施
11. 8		小学校道徳非常勤講師配置事業の実施
15. *. *	2003	教育用コンピュータ導入（下多寄小学校・東風連小学校）
4. 1		ブックスタート事業の実施
4. 26		風連スポーツクラブ「ボボ」の設立
5. 1		文化部活動外部指導者派遣事業の実施（風連中学校吹奏楽部）2年間
10. 25		風連幼稚園設立50周年記念式典
16. 3. *	2004	「ふうれんちょうのはし」発行
17. *. *	2005	教育用コンピュータ導入（日進小学校）
4. 1		風連町子ども教室の実施
5. 24		教育相談支援事業の実施（風連中学校）

4 名寄市教育の沿革

年 代	西 暦	特 記 事 項
平成18.	3. 27	2006 風連町と名寄市が合併し新名寄市誕生
	4. 1	体育施設の指定管理者制度導入
	4. 7	名寄市立大学開学
	11. 11	「北海道立サンピラーパーク」開園 カーリング場オープン（日進、5シート）
	12. 1	図書館電算システム運用開始
19.	3. 1	2007 名寄光凌高等学校普通科閉科
	3. 31	西プール閉鎖
	4. 1	給食センター統合
	4. 24	全国学力・学習状況調査実施
	5. 19	市営南水泳プール改築・オープン
	8. 7	移動図書館「やまゆり号」更新
	8. 18	日進小学校開校100周年・中学校開校60周年記念式典
20.	3. *	2008 風連高等学校募集停止
	4. *	学校職員評価制度導入
	4. 1	学校栄養教諭配置（名寄小、風連中央小）
	6. 24	名寄市小学校陸上大会閉幕
	6. *	北海道体力・運動能力調査実施
21.	3. 24	2009 名寄光凌高等学校閉校
	3. *	名寄農業高等学校募集停止
	4. 9	名寄産業高等学校開校
	7. 4	名寄西小学校開校50周年記念「ふれあい」の集い
	7. 23	「九度山 クトゥンスプリ」国・名勝指定
	8. 23	東風連小学校開校100周年記念式典・祝賀会
	9. 23	名寄大谷幼稚園創立50周年記念祝賀会
	10. 4	名寄西小学校開校50周年式典
	10. 27	名寄ビヤシリ大学開学30周年記念式典
	11. 29	名寄市立木原天文台閉館・名寄市プラネタリウム館閉館
22.	3. 31	2010 風連高等学校閉校
	4. 12	ふうれん地域交流センター「風っ子ホール」オープン
	4. 17	なよろ市立天文台「きたすばる」オープン
	10. 21	キマロキ編成「JR北海道準鉄道記念物」指定
	11. 3	名寄市立大学創立4周年・短期大学部創立50周年記念式典
	12. 16	風連中学校「校舎移転開校式」
	12. 18	名寄農業高校閉校記念式典
23.	1. 11	2011 名寄東小学校屋内運動場改築
	4. 29	なよろ市立天文台「きたすばる」グランドオープン
	7. 3	風連下多寄小学校開校110周年記念式典・祝賀会
	9. 5	名寄市放課後子ども教室（試行）開設
24.	2. 1～4	2012 第49回全国中学校スキー大会開催
	5. 9	名寄市放課後子ども教室開設
	5. 18	名寄市教育改善プロジェクト委員会発足
	5. 22	名寄東中学校開校60周年記念親睦の集い
25.	2. 24	2013 日進スケートリンク終了
	3. 2	風連日進小中学校閉校式・惜別会
	3. 31	風連日進小中学校閉校
	4. 1	ふうれん地域交流センター「風っ子ホール」指定管理者制度導入
26.	2. 16	2014 なよろ市立天文台と国立天文台石垣島天文台と交流協定締結

年 代	西 暦	特 記 事 項
26. 7. 1	2014	名寄公園「北の造園遺産」に認定
27. 5. 9	2015	市民文化センター大ホール「EN-RAY」開館
28. 2. 2～5	2016	第53回全国中学校スキー大会（ノルディック）開催
2. 16		名寄西小学校校舎増築
2. 20		東風連小学校閉校式・惜別会
2. 27		豊西小学校閉校式・惜別会
2. 29		名寄南小学校校舎・屋内運動場改築
3. 31		豊西小学校閉校
3. 31		東風連小学校閉校
4. 1		南児童クラブ改築
12. 1		東児童クラブ開設